How to Read a Japanese Newspaper 2001

外国人のための新聞の見方・読み方 2001

KIT 教材開発グループ

はしがき

『外国人のための新聞の見方・読み方』用語編と文章編の初版を発行した1986年は、日本が驚異的な経済発展のさなかにありました。欧米からは日本市場に目を向けるビジネスマン達、アジアの国々からは日本を学ぼうと数多くの若い留学生が来日し、日本語ブームを巻き起こした時代でした。

それから10数年、日本も世界もかつてなかった激動の90年代を経験し、21世紀を迎えようとしています。毎日の新聞、テレビをにぎわすトップニュースはよりグローバルになり、世界共通の関心を集める記事が多く掲載されるようになりました。新聞の情報は断片的で論理の飛躍があり、教材として扱うには難しい面がありますが、ある程度日本語ができるようになった学習者にとっては、今の日本、世界を知るため魅力的なものです。

KIT教材開発グループは長年この情報の宝庫にスポットを当て、教材化に取り組んできました。この度出版の運びとなった『外国人のための新聞の見方・読み方2001』は中級レベル（既習漢字500字～800字、語彙数1,500～3,000、学習時間400時間の学習歴）を対象に、Ⅰは分野別にまとめ語彙、文型、言い回し、内容理解を中心とし、日本語の力がアップするよう構成されています。Ⅱは見出しとリードで過去2、3年の出来事のあらましがつかめるよう、短くまとめてあります。Ⅲは新聞の生記事をそのまま読んで、生きた日本語、日本人の考え方に直接触れることができるよう工夫され、各記事には理解確認のための練習もついています。なお巻末の、戦後の主な出来事、索引も参考にして下さい。

母国語ですでに知識として持っていても、日本語で表現できないという学習者は多くいると思われますが、新聞が読めるようになり、討論できるようになることで、本書が日本人との相互理解のお役に立てれば幸いです。

最後に記事を提供して下さった新聞社、署名入り記事の転載を快諾して下さった各分野の専門家の方々に厚く感謝いたします。

2001年1月

KIT教材開発グループ
代表　河野　喜美子

Preface

In 1986, the year of the first publication of the *How to Read a Japanese Newspaper* volumes covering newspaper terms and usage, Japan was in a period of extraordinary economic growth. This prosperity gave rise to a "Japanese language boom" in which U.S.and European businessmen targeting the Japanese market and young Asian students looking to learn from Japan arrived in large numbers.

Now, almost fifteen years later,Japan and the rest of the world have experienced the unprecedented upheavals of the 1990s, and are entering the 21st century. The top stories enlivening our newspapers and televisions daily have become increasingly global in scope, and many of these news stories are attracting interest worldwide. Newspaper information tends to be fragmentary and have logical gaps, and this can make it difficult to use in teaching materials, but for students who have reached a certain level of Japanese proficiency, newspaper articles are a very attractive medium for learning about today's Japan and today's world.

For many years, the KIT Teaching Materials Development Group has been utilizing this treasure house of information to create teaching materials. This book, *How to Read a Japanese Newspaper 2001*, is particularly appropriate for students who have reached the intermediate level, meaning those who have completed 400 hours of study and who know 500 to 800 kanji and 1,500 to 3,000 words. The first section is structured to improve the student's Japanese ability by focusing on content comprehension with vocabulary, sentence patterns, and idioms organized into specific categories. In the second section, headlines and article leads give a short overview and general understanding of events occuring in the past two to three years. Section three enables the student to directly encounter the Japanese language and Japanese ways of thinking in actual newspaper articles. Following each article, there are exercises to help students check their comprehension. Finally, at the end of the book there is a list of important events since World War II and an index.

Many students face the problem of having knowledge in their native language but being unable to express that knowledge in Japanese. It is our hope that, by helping the student read the newspaper and discuss the information contained in it, this book will increase the level of mutual understanding between students and the Japanese people they meet.

In closing, I would like to express my sincere appreciation to the newspaper companies which supplied the articles and the specialists in each field who gave permission for the signed articles to be reproduced here.

January, 2001

KIT Teaching Materials Development Group
Kono Kimiko, Director

目　次

Contents

1．政治・国際関係

民主政治

現代の民主政治は、国民が代表者を選び、代表者がつくる議会によって政治を運用するという議会制度のしくみをとっている。そして国によって多少の違いはあるが、三権（立法・行政・司法）は分立している。憲法は国の基本法で、法律は憲法に基づいてつくられる。日本国憲法は 1946 年 11 月 3 日に公布され、翌年の5月3日から施行された。日本国憲法の三つの柱は、国民主権・基本的人権の尊重・平和主義である。

民主政治	みんしゅせいじ	democratic politics
代表者	だいひょうしゃ	representative
運用する	うんようする	to use; apply; operate
議会制度	ぎかいせいど	parliamentary system
～という～をとっている		to adopt ～ which is called ～
・英国は立憲君主制という政治形態をとっている。		
多少	たしょう	some
三権	さんけん	the three types of authority
立法	りっぽう	legislative
行政	ぎょうせい	administrative
司法	しほう	judicial
分立する	ぶんりつする	to separate
基本法	きほんほう	fundamental law
基づく	もとづく	to be based upon
公布する	こうふする	to promulgate
翌年	よくねん	following year
施行する	しこうする	to enforce; put into effect
国民主権	こくみんしゅけん	sovereignty rests with the people
基本的人権の尊重	きほんてきじんけんのそんちょう	respect for fundamental human rights
平和主義	へいわしゅぎ	pacifism

国会（1）

日本の国会は衆議院と参議院とからなり、両院とも議員は普通選挙で選出される。国会の権限は、法律の制定、予算の議決、条約の承認、憲法改正の発議などの立法権である。議員数は現在衆議院480議席（小選挙区300、比例代表180）、参議院252議席である。

通常国会は、毎年1回1月に召集され、1年間の国の予算などが審議され、会期は150日間である。臨時国会は、内閣が必要とされた時、またはどちらかの議院の総議員の4分の1以上の要求があった場合召集される。特別国会は、解散による衆議院選挙の日から30日以内に召集される国会のことをいう。

国会	こっかい	the Diet
衆議院	しゅうぎいん	House of Representatives
参議院	さんぎいん	House of Councillors
～から成る	～からなる	to consist of ～
・アメリカの議会は、上院と下院とから成っている。		
権限	けんげん	power; authority; jurisdiction
法律	ほうりつ	law
議決　－する	ぎけつ	decision
承認　－する	しょうにん	approval
憲法	けんぽう	constitution
発議　－する	はつぎ	proposal
立法権	りっぽうけん	legislative power
小選挙区	しょうせんきょく	single-seat constituency and
比例代表制	ひれいだいひょうせい	proportional representation system
通常国会	つうじょうこっかい	ordinary Diet session
召集する	しょうしゅうする	to convene
審議する	しんぎする	to deliberate
解散　－する	かいさん	dissolution
～のことをいう		to be defined as ～
・被選挙権というのは、選挙される権利のことをいう。		

国会（2）

衆議院は議員の任期が4年である。ただし解散の場合は任期が残っていても資格を失う。これに対して参議院は任期が6年で解散がなく、3年ごとに半数が改選される。衆議院が解散になると、その日から40日以内に衆議院議員の総選挙を行わなければならない。選挙で過半数をとった政党の党首は、内閣を組織しその政策の実現に努める。内閣は総理大臣と国務大臣で構成する。総理大臣は国会で指名され、この指名を受けて憲法に基づき天皇が任命する。国務大臣は総理大臣が任命し、天皇が認証する。どの政党も過半数を得られない場合は、連立内閣となる。

任期	にんき	term of office
資格を失う	しかくをうしなう	to lose qualifications or rights
改選する	かいせんする	to re-elect
過半数	かはんすう	the majority
政党	せいとう	political party
党首	とうしゅ	party leader
組織する	そしきする	to organize
実現に努める	じつげんにつとめる	to work for the implementation of
総理大臣	そうりだいじん	Prime Minister
国務大臣	こくむだいじん	Minister of State
構成する	こうせいする	to consist of ～

・衆参両議院の常任委員会は、10数名の委員で構成する。

指名する	しめいする	to designate; nominate
基づく	もとづく	to be based upon

・地方政治は地方自治の原則に基づいて行われる。

天皇	てんのう	Emperor
任命する	にんめいする	to appoint
認証する	にんしょうする	to certify; attest
連立　－する	れんりつ	coalition

行政

国のさまざまな政務を進めることを行政といい、行政権は内閣にある。内閣は、内閣総理大臣つまり首相と国務大臣で組織され、首相が中心となって閣議を開き、一致した意見で方針を決め、実行に移す。立法・行政・司法など国の中央機関で働く人は国家公務員で、都道府県や市町村の地方機関で働く人は地方公務員である。

行政	ぎょうせい	administration
さまざま		various
政務	せいむ	official business/duties
〜にある		to exist in 〜

・情報を公開し、行政を民主化する責任は内閣にある。

内閣総理大臣	ないかくそうりだいじん	Prime Minister
つまり		in other words
国務大臣	こくむだいじん	Minister of State
組織する	そしきする	to organize
中心	ちゅうしん	center; leader
閣議を開く	かくぎをひらく	to hold a Cabinet meeting
一致する	いっちする	to unite
意見	いけん	opinion
方針	ほうしん	policy
実行に移す	じっこうにうつす	to put into practice
立法	りっぽう	legislative
司法	しほう	judicial
機関	きかん	organization; institution
国家公務員	こっかこうむいん	national public employee
都道府県	とどうふけん	the 47 prefectures (includes Tokyo, Osaka, Kyoto, & Hokkaido)
市町村	しちょうそん	cities, towns, and villages
地方公務員	ちほうこうむいん	local public employee

行政機構

国家の行政機構は、教育、労働、社会保障など多方面にわたって国民生活を支えている。それぞれの政策の実施は、各省庁の専門能力をもった行政官によって具体化される。日本の官僚機構は政権が交替しても変わらず、政策の継続性を維持するには適している。しかし、明治以来の行政優位の中央集権体制は21世紀には通用しない。高級官僚がその地位を利用して業界に幅をきかせたり、退官後に「天下り」したり、汚職事件をおこしたりする記事が新聞紙上をにぎわしている。また、政治家のなかにも「族議員」といわれ、行政の許認可や補助金の配分に圧力をかける議員もある。国民主体の民主的で能率的な行政を推進するためには、機構や政策の再点検が必要だ。国民の強い要望を背景に、1999年7月に中央省庁改革関連法が成立し、2001年1月より1府21省庁制に移行する。

機構	きこう	system
行政官	ぎょうせいかん	administrative official
官僚	かんりょう	bureaucrat
交替する	こうたいする	to change
継続　－する	けいぞく	continuation
維持する	いじする	to maintain
優位	ゆうい	predominance
中央集権	ちゅうおうしゅうけん	centralization of government
通用する	つうようする	to be accepted; in common use
幅をきかせる	はばをきかせる	to reign supreme
・各省庁では依然としてエリート官僚が幅をきかせている。		
退官　－する	たいかん	retirement from office
天下り　－する	あまくだり	employment of high-level bureaucrats after their retirement
汚職　－する	おしょく	corruption
許認可	きょにんか	permission and approval
補助金	ほじょきん	subsidy

裁判所

裁判所は司法権を行う機関である。

司法権というのは、法律によって国民の自由と権利を守り、もし法律を破る者があれば、刑罰を加えたり、損害を賠償させたりする国家の力をいう。裁判所には、ただ一つの最高裁判所とその下に高等裁判所、地方裁判所、簡易裁判所、家庭裁判所がある。裁判所による判決に対し当事者に不服があれば、事件は上訴によって上級裁判所に移る。

裁判所	さいばんしょ	court of law
司法権	しほうけん	jurisdiction
機関	きかん	institution
～によって		by ～

・私たちは、法を守ることによって、社会の秩序を維持している。

・国民ひとりひとりの人権は憲法によって保障されている。

権利を守る	けんりをまもる	to protect rights
法律を破る	ほうりつをやぶる	to violate a law
者	もの	person; some people
刑罰を加える	けいばつをくわえる	to inflict punishment
損害	そんがい	damage
賠償する	ばいしょうする	to compensate
国家	こっか	state; country
最高裁判所	さいこうさいばんしょ	Supreme Court
高等裁判所	こうとうさいばんしょ	high courts
地方裁判所	ちほうさいばんしょ	district courts
簡易裁判所	かんいさいばんしょ	summary courts
家庭裁判所	かていさいばんしょ	family courts
判決　－する	はんけつ	judgment
当事者	とうじしゃ	person concerned
不服	ふふく	objection
上訴　－する	じょうそ	appeal

男女雇用機会均等法

1986年4月から施行された男女雇用機会均等法は、問題点の改正を経て現在に至っているが、日本の男社会はどの程度改められたのか。ちょっと景気が後退すれば、パートや派遣労働者はもちろん、新規学卒者も含めて、すぐに女性の就職口が狭まってくる。働く女性からは社内保育制度や在宅勤務制度への要望が強い。しかし、それらを導入しようとする企業はまだ少ない。仕事が面白くないとすぐ辞めるとか、仕事に対して積極性がないなどという批判もあり、女性の側にも反省すべき点はある。国連では地球規模での女性の連帯が進んでいる折から、働く日本女性の地位、働く環境の整備、改善に注目したい。

男女雇用機会 均等法	だんじょこようきかい きんとうほう	Equal Employment Opportunity Law
施行する	しこうする	to enforce
～を経て	～をへて	through ～
改める	あらためる	to correct; revise
後退する	こうたいする	to retreat
パート		part-time worker
派遣　－する	はけん	dispatch
～はもちろん～も		not only ～ but also ～

・不況下、外国人労働者はもちろん、日本人も仕事を見つけるのが難しい。

新規学卒者	しんきがくそつしゃ	new graduate
就職口	しゅうしょくぐち	position; opening
狭まる	せばまる	to become narrow
社内保育制度	しゃないほいくせいど	company childcare system
在宅勤務制度	ざいたくきんむせいど	work-at-home system
辞める	やめる	to resign
反省する	はんせいする	to reflect upon; regret
連帯　－する	れんたい	solidarity
整備　－する	せいび	preparation; arrangement

児童買春処罰法

18歳未満の「児童」に金銭を払って性行為をすることなどを禁じた児童買春処罰法（児童買春、児童ポルノの行為処罰・児童保護法）が18日午後の衆院本会議で全会一致で可決、成立した（'99. 5 .18）。 売春防止法が売春の勧誘やあっせんなどを処罰対象としているのに対し、「買う側」の処罰を主な目的とした初めての法規制となる。同法は東南アジア各国で問題となっている日本人の買春行為のほか、インターネットなどを通じた児童ポルノの流出、社会問題化している「援助交際」などの歯止め策となり、年内にも施行される。

児童	じどう	children
買春　－する	かいしゅん	prostitution
処罰法	しょばつほう	punishment law
金銭	きんせん	money
払う	はらう	to pay
行為	こうい	action
ポルノ		pornography
保護　－する	ほご	protection
全会一致	ぜんかいいっち	unanimously consent
可決　－する	かけつ	approval
売春　－する	ばいしゅん	prostitution
防止　－する	ぼうし	prevention
勧誘　－する	かんゆう	invitation; inducement
あっせん　－する		act as go-between
対象	たいしょう	object of; subject of
流出　－する	りゅうしゅつ	outflow
援助交際	えんじょこうさい	dating for pay
歯止め	はどめ	brake

・改正男女雇用機会均等法で、ようやく企業のセクシュアルハラスメントに歯止めがかかりそうだ

日韓自由貿易構想

21年間続けられてきた韓国の日本製品輸入禁止措置が、99年６月末で完全に撤廃された。変化の波に乗るように、関税の相互撤廃を柱とする日韓自由貿易協定の締結も両国で提唱されている。だが、こうした動きが一直線に進むと考えるのは楽観に過ぎるだろう。韓国の日本に対する国民感情には厳しいものがあり、関係の緊密化に懐疑的な見方も少なくない。また両国間には中国を含めた３カ国自由貿易圏にまで展望すべきだという意見もある。つい最近まで夢物語だった日韓自由貿易の構想が、双方の長期的な視野に立って前向きに検討されることを願う。

日韓	にっかん	Japan and Korea
構想	こうそう	concept; plan
禁止　－する	きんし	prohibition
措置	そち	measure
撤廃する	てっぱいする	to abolish
波に乗る	なみにのる	to ride the wave

・通貨危機（1997年）から３年、アジア経済は回復の波に乗り始めた。

関税	かんぜい	customs duty
提唱する	ていしょうする	to advocate
一直線	いっちょくせん	straight line
楽観	らっかん	optimism
厳しい	きびしい	severe
緊密化　－する	きんみつか	becoming more closely connected
懐疑的	かいぎてき	skeptical
圏	けん	sphere
展望する	てんぼうする	to have a view of
夢物語	ゆめものがたり	fantastic story
双方	そうほう	both parties
視野	しや	field of vision
前向き	まえむき	positive

日中関係

日本と中国は1972年、戦争状態の終結をうたう共同声明に調印し、国交を正常化した。78年にはさらに日中平和友好条約が結ばれ、両国の経済関係も順調に拡大してきた。しかし、いまだに日本は中国を侵略したという「過去」を完全に清算したとは言い難い。歴史の負い目は容易に消せるものではないが、より健全な日中関係が今後のアジア、太平洋地域や世界の安定のために不可欠だ。

終結　－する	しゅうけつ	bringing ～ to an end
うたう		to declare
共同声明	きょうどうせいめい	joint communique
調印する	ちょういんする	to sign
正常化する	せいじょうかする	to normalize
平和友好条約	へいわゆうこう じょうやく	peace and friendship treaty
順調	じゅんちょう	smooth; favorable
いまだに		still now

・南アフリカのアパルトヘイトの問題はいまだに完全には解決されていない。

侵略する	しんりゃくする	to invade
過去	かこ	past
清算する	せいさんする	to clear away
～とは言い難い	～とはいいがたい	it is difficult to say that ～

・冷戦の終結で人類は破滅を避けることができたが、核の脅威から解放されたとは言い難い。

破滅　－する	はめつ	collapse; ruin
核	かく	nuclear
脅威	きょうい	threat
負い目	おいめ	debt
不可欠	ふかけつ	indispensable

日米航空交渉

日米間の民間航空輸送を自由化しようという日米航空交渉が、98年１月合意にこぎつけた。いまの日米航空協定は敗戦まもない1952年に結ばれたもので、日本にとっては不利な内容だ。乗り入れ地点や便数が自由に決められる航空会社は、米国が３社なのに対し日本は１社だけ。相手国を経由して別の国に旅客を運ぶ「以遠権」も日本に不利になっている。今回の合意では両国間の不平等は是正され、公平な条件のもとで競争を進める内容となっている。ただ、平等な競争といっても、実際はすでに強い競争力を持っている米国の航空会社に有利に働くことは否めない。日本の航空各社はリストラやコスト削減など、競争力を高める努力が必要だ。自由化は利用者にとっては運賃の値下がりや乗り継ぎの便利さなど期待が持てそうだ。

航空	こうくう	aviation
交渉　－する	こうしょう	negotiation
民間	みんかん	civil; private sector
合意　－する	ごうい	agreement
こぎつける		to arrive at
敗戦	はいせん	defeat
まもない		soon after
不利	ふり	disadvantage
相手国	あいてこく	the other country
不平等	ふびょうどう	unfair
是正する	ぜせいする	to revise
～のもとで		under ～
～といっても		even though ～

・航空会社は収益が大切だといっても、安全輸送に手抜きがあってはならない。

否めない	いなめない	cannot deny
コスト削減	コストさくげん	cost reduction
乗り継ぎ	のりつぎ	connection

農産物輸入

日本は食料の自給率が年々低下し、今や世界最大の農産物輸入国となった。日本人の食生活に欠かせない、みそ、しょう油、とうふなどの原料となる大豆は90%以上が輸入である。食料輸入について国内世論は、推進派と慎重派とに大きく分かれている。推進派はコストの高い国内での生産を進めるより、外国から安い農産物を輸入し、工業製品を輸出する方が有利だとし、慎重派は主要な食料は安全保障を考える上でも自給すべきだとする。伝統を重んじる人々の中には、日本人が主食である米を作らなくなれば水田はなくなり農村風景が一変し、子孫に受け継ぐ美しい景観が失われると危惧する人もある。輸入農産物は遺伝子組み換え、残留農薬の安全性などでも慎重に対処しなくてはならない問題がある。

農産物	のうさんぶつ	agricultural products
自給率	じきゅうりつ	rate of self-sufficiency
欠く	かく	to lack

・イタリア料理に欠かせないオリーブ油は、日本ではほとんど輸入品だ。

大豆	だいず	soybean
推進派	すいしんは	group desiring to promote
慎重派	しんちょうは	group desiring to move slowly
安全保障	あんぜんほしょう	security
主食	しゅしょく	staple food
水田	すいでん	rice paddy
一変する	いっぺんする	to change completely
子孫	しそん	descendant
受け継ぐ	うけつぐ	to inherit
景観	けいかん	landscape
危惧する	きぐする	to fear
遺伝子組み換え	いでんしくみかえ	gene recombination
残留　－する	ざんりゅう	residue; leavings
対処する	たいしょする	to deal with

基軸通貨、基軸言語

なぜドルと英語が世界中で大きな存在となっているのか。地域別には欧州連合(EU)や東南アジア諸国連合(ASEAN)のような共同体への動きがあっても、世界中の人が貨幣として受け入れるのは米国のドルであり、共通の言語として認めるのは英語だ。近年米国は、自国の貿易赤字を改善するためドル価値の意図的な引き下げを試み始めている。しかし基軸通貨国米国が、単なる一資本主義国として振るまえば世界の経済に与える影響は小さくない。21世紀に向かって非基軸通貨、非基軸言語を持つ国々はどう対処するか。世界経済の安定、国際協調のバランスを保つため米国の責任は重い。

基軸通貨	きじくつうか	key currency
存在　－する	そんざい	existance
共同体	きょうどうたい	community
貨幣	かへい	currency; money
受け入れる	うけいれる	to receive
認める	みとめる	to recognize
改善する	かいぜんする	to improve
意図的	いとてき	intentional

・EUにはEU全体の言語を意図的に統合しようという試みがある。

試みる	こころみる	to try
単なる	たんなる	mere; only
資本主義国	しほんしゅぎこく	capitalist country
振るまう	ふるまう	to act; behave
～に向かって	～にむかって	toward ～; for ～
非～	ひ～	non-; un-
対処する	たいしょする	to cope with

・アジアの通貨危機に対処するため、関係諸国は協議を重ねた。

協調　－する	きょうちょう	cooperation
責任	せきにん	responsibility

世界人口

80年代前半にいったん増加率が1.7％を下回り、このまま下降線をたどるかと思われた世界の人口は、80年代後半から再び上昇に転じ、20世紀末には60億に達した。増加が著しいのはアフリカをはじめ開発途上国だ。それらの国では、想像を越える飢餓や環境破壊が進んでいる。先進国が豊かな生活を享受している一方で、最低の生活水準にある貧困者が11億5,600万人、未就学児童は6,000万人、読み書きの出来ない非識字者は6,500万人、栄養不足者が5,000万人もいる。

いったん　　　　once

・地球の自然環境はいったん汚染されると、なかなかもとに戻すことがむずかしい。

下降線	かこうせん	downward curve
たどる		follow; trace
〜に転じる	〜にてんじる	to change to〜

・70年代の石油ショックでA社の経営は赤字に転じた。

著しい	いちじるしい	remarkable
開発途上国	かいはつとじょうこく	developing countries
想像を越える	そうぞうをこえる	beyond imagination
飢餓	きが	starvation
環境破壊	かんきょうはかい	environmental destruction
享受する	きょうじゅする	to enjoy
〜一方で	〜いっぽうで	on the other hand

・開発途上国では経済発展が進んでいる一方で、環境汚染が深刻化している。

生活水準	せいかつすいじゅん	standard of living
貧困	ひんこん	poverty
未就学児童	みしゅうがくじどう	children who don't go to school
非識字者	ひしきじしゃ	illiterate person
栄養不足者	えいようぶそくしゃ	underfed/ill-fed person

主要国首脳会議 —— サミット

1975年、第1次石油危機後の世界不況のさなか、西側諸国の協調を図るために始まったサミットは、2000年の沖縄サミットで26回を数えた。パリ郊外ランブイエで開かれた第1回会合にはアメリカ・イギリス・フランス・西ドイツ・イタリア・日本の6カ国首脳が集まり、経済政策、貿易、通貨、エネルギー問題などについて討議した。その後、カナダ、ＥＣ委員長が参加し、97年以降はロシア大統領も部分的に加わるようになった。最近のサミットでは経済だけでなく安全保障や環境、開発など、よりグローバルな問題が大きく取り上げられる。サミットに対する評価には賛否両論あるが、21世紀に世界最大の経済規模に達するといわれる中国の参加も真剣に考えられるべきだ。

主要国首脳会議	しゅようこくしゅのうかいぎ	summit conference
石油危機	せきゆきき	oil crisis
不況	ふきょう	recession; depression
さなか		midst

・中東和平首脳会談のさなか、沖縄では主要国首脳会議が開催された。

西側諸国	にしがわしょこく	Western countries
協調　－する	きょうちょう	cooperation
図る	はかる	to plan; strive for
郊外	こうがい	suburbs
通貨	つうか	currency
討議する	とうぎする	to discuss
以降	いこう	on and after
より		more
取り上げる	とりあげる	to take up
評価　－する	ひょうか	valuation; assessment
賛否両論	さんぴりょうろん	pros and cons
規模	きぼ	scale
真剣	しんけん	serious

国際連合 —— 国連

国際連合は、人類と世界の平和を守るという理想の下に1945年10月に発足した。国際連合の目的は、国際間の紛争を平和的に解決し、国家間の友好、協力関係を進めることにある。国連加盟国の数は185（1997年）である。国際連合は総会と五つの主要機関（安全保障理事会、経済社会理事会、信託統治理事会、国際司法裁判所、事務局）及び16の専門機関と二つの自治機関（IAEA,WTO）などによって構成されている。

国際連合（国連）	こくさいれんごう（こくれん）	United Nations
理想	りそう	ideal
～の下に	～のもとに	under ～; based on ～

・近代民主制は「人は生まれながらにして自由で平等の権利を持つ」という考えの下に発展した。

紛争	ふんそう	dispute
平和的	へいわてき	peaceful
解決する	かいけつする	to solve
～ことにある		to be achieved by ～

・開発途上国への援助の目的は、その国の経済の発展の基礎を築くことにある。

主要機関	しゅようきかん	major organization
安全保障理事会	あんぜんほしょうりじかい	the Security Council
経済社会理事会	けいざいしゃかいりじかい	the Economic and Social Council (ECOSOC)
信託統治理事会	しんたくとうちりじかい	the Trusteeship Council
国際司法裁判所	こくさいしほうさいばんしょ	the International Court of Justice (ICJ)
専門機関	せんもんきかん	special organization
自治機関	じちきかん	independent organization

地雷廃絶

国連は、世界68カ国に1億個以上の地雷が敷設されたままになっているという調査結果を発表した。カンボジア、アンゴラ、ソマリア、アフガニスタンなど冷戦期に激しい内戦のあった地域では今も残留地雷に囲まれ、住民はおびえながら毎日の生活を送っている。1975年以来、地雷による死傷者の数は100万人以上と推定される。地雷は紛争当事国の生産物であることはまれで、ほとんどが外国から持ち込まれたものだ。地雷輸出国は少なくとも29カ国、年間取引額は2億ドルとも言われている。国際世論は地雷の全面規制に向かって徐々に高まりを見せてはいるが、輸出国の反対など前途はなお楽観を許さない。アメリカ、ロシア、中国など主要国は加盟していないが、1999年3月に対人地雷全面禁止条約が発効し、日本は主導的な役割を果たした。

地雷	じらい	landmine
廃絶　－する	はいぜつ	abolition
敷設する	ふせつする	to lay
激しい	はげしい	violent
内戦	ないせん	civil war
残留　－する	ざんりゅう	remaining
おびえる		to become frightened
死傷者	ししょうしゃ	the killed and injured
当事国	とうじこく	the country concerned
額	がく	amount
国際世論	こくさいよろん	international consensus
徐々に	じょじょに	gradually
前途	ぜんと	prospects
楽観を許さない	らっかんをゆるさない	to not warrant any optimism

・米国は武器査察を拒否したイラクに対し武力行使の可能性を示唆し、中東情勢は依然として楽観を許さない。

発効する	はっこうする	to become effective

非政府組織（NGO）

Non-Governmental Organization 、略して NGO は非営利の民間団体で、国際的なひろがりを持った組織のことを指す。民族紛争による難民の救済、地震などの災害の救援、医療、教育面などで自立的、自発的な活動をしている。国連でも1999年以降、経済社会理事会は特定のNGOと取り決めを結び、永続的な協力関係を保っている。国連NGOといわれる団体は現在800余りあり、人権、開発、環境、難民などの問題分野で際立った活動をしている。NGOが非政府という立場を協調しているのに対し、NPOはより非営利を掲げ、ともにボランティア精神を活動の中軸としている。日本では市民の海外協力の伝統が浅いが、政府は100億円近い資金をODA予算に盛り込み、NGOを資金援助している。

非営利	ひえいり	nonprofit
民族紛争	みんぞくふんそう	dispute among ethnic groups
難民	なんみん	refugees
救済　－する	きゅうさい	relief
地震	じしん	earthquake
災害	さいがい	calamity
救援　－する	きゅうえん	rescue
医療	いりょう	medical treatment
取り決め	とりきめ	arrangement; agreement
永続的	えいぞくてき	lasting
人権	じんけん	human rights
際立つ	きわだつ	to be conspicuous
～に対し	～にたいし	while ～; as compared with ～

・国連NGOが国連と協議関係にあるのに対し、独自の立場を持って活動するNGO団体もある。

掲げる	かかげる	to put up
中軸	ちゅうじく	axis
盛り込む	もりこむ	to incorporate; include

歴史の転換点

89年の東西冷戦の終結、90年のベルリンの壁崩壊、91年の湾岸戦争、ソ連邦の消滅と世界は歴史の転換点とも言うべき大ニュースの連続だ。経済面でも世界経済のボーダーレス化が進み、先進各国は自国の利益のみならず、協調して世界経済の持続的な発展を図らなければならない時代になった。日本も戦後政治を総決算し、内政重視から新たに国際貢献に向かって決断を迫られている。

歴史	れきし	history
転換点	てんかんてん	turning point
冷戦	れいせん	cold war
終結　－する	しゅうけつ	bringing ～ to an end
崩壊　－する	ほうかい	destruction
湾岸戦争	わんがんせんそう	Persian Gulf War
ソ連邦	ソれんぽう	Soviet Union
消滅　－する	しょうめつ	disappearance
～とも言うべき	～ともいうべき	which can be said to be ～

・戦後の日本経済は、統制経済とも言うべき行政指導のもとに発展した。

ボーダーレス化	ボーダーレスか	to become borderless
利益	りえき	merit
～のみならず		not only ～

・環境汚染は周辺地域のみならず、地球規模で考えねばならない事態に直面している。

協調する	きょうちょうする	to cooperate
持続的	じぞくてき	continuous
図る	はかる	to plan
戦後政治	せんごせいじ	postwar politics
総決算する	そうけっさんする	to bring to a conclusion
内政	ないせい	domestic administration
重視　－する	じゅうし	serious consideration
国際貢献	こくさいこうけん	international contribution
迫る	せまる	to urge

世界人権宣言

「すべての人間は生まれながらにして自由であり、平等な尊厳と権利を持つ」とうたった世界人権宣言が国連で採択されてから50年。至る所で人々は、人権尊重を訴えて立ち上がり、人権宣言は人類共通のルールとして次第に認知されてきた。しかし、日常生活に目を向ければ、いまだに様々な差別があることに気付く。部落差別、性による差別、民族・人種差別、障害者差別、思想・信条による差別など社会的に不公平な事象が数多くある。

記念すべき満50年の日、国際的な人権擁護団体、アムネスティ・インターナショナル日本支部などの呼びかけで、留学生から滞在ビザの切れた人たちまで、20以上の民族、団体の人たちが東京に集い、プラカードを持って繁華街を歩いた。

生まれながらにして	うまれながらにして	inherently; by nature
・人は生まれながらにして、それぞれ才能を持っている。		
尊厳	そんげん	dignity
うたう		to declare; state
採択する	さいたくする	to adopt for
至る所	いたるところ	everywhere
訴える	うったえる	to appeal for
いまだに		still
差別 －する	さべつ	discrimination
部落	ぶらく	community; village
人種	じんしゅ	race
障害者	しょうがいしゃ	handicapped person
思想	しそう	thought; idea
信条	しんじょう	principle; creed
不公平	ふこうへい	unfairness
事象	じしょう	matter; phenomenon
擁護 －する	ようご	protection
繁華街	はんかがい	business district

2．経済・産業

財政・予算

財政とは国や地方公共団体の経済行為を指し、中央財政、地方財政とに区分される。国も地方公共団体も政治や行政サービスにはばく大な費用がかかる。それを賄っているのは租税や印紙収入などの財源である。経済の発展につれて財政規模は拡大し、福祉国家を目指す国家の予算は膨張し、歳出は歳入を大きく上回る。

予算は国や地方公共団体の1会計年度の歳入（収入）と歳出（支出）の見積もりを指す。予算編成の具体的な作業が終わると予算案は国会に提出され、審議議決される。予算は一般会計と特別会計に大別されるが、そのほかに政府関係機関予算がある。

財政	ざいせい	government finances
予算	よさん	budget
地方公共団体	ちほうこうきょうだんたい	local public entity
区分する	くぶんする	to classify
ばく大	ばくだい	vast
賄う	まかなう	to cover
租税	そぜい	taxes
印紙	いんし	stamp
財源	ざいげん	source of revenue
福祉	ふくし	welfare
膨脹する	ぼうちょうする	to expand
歳出	さいしゅつ	annual expenditures
歳入	さいにゅう	annual revenue
見積もり	みつもり	estimation
編成　－する	へんせい	formation
具体的	ぐたいてき	concrete
審議　－する	しんぎ	deliberation
議決する	ぎけつする	to decide
大別する	たいべつする	to roughly classify

国内総生産（GDP）

経済企画庁は四半期ごとにGDPの総額を推計し、3月、6月、9月、12月に発表する。GDPは外国資本の企業も含め、国内に住んでいる生産者によって生み出された付加価値の統計を指す。つまり企業であれば、総売上げから原材料や部品などの買い付け金額を差し引いたものの合計。したがって国内での生産活動を正確に反映するこの指標は、景気動向を見る大切なもので、経済成長のいかんを判断する資料となる。GDPの増減を示す経済成長率が景気判断の材料となり、為替や株式市場に影響を与える。日本の現在のGDPは約503兆円。ちなみに、日本経済全体に占める公共投資のGDP比率は8～9％。

国内総生産	こくないそうせいさん	Gross Domestic Product
経済企画庁	けいざいきかくちょう	Economic Planning Agency
四半期	しはんき	quarter
～ごと		every ～
推計する	すいけいする	to estimate
含める	ふくめる	to include
付加価値	ふかかち	added value
指す	さす	to point to ～
つまり		in a word
原材料	げんざいりょう	raw material
買い付け	かいつけ	buying; purchasing
差し引く	さしひく	to take away; deduct
したがって		accordingly

・個人消費が伸びてきた。したがって日本経済も成長軌道に乗るだろう。

反映する	はんえいする	to reflect
指標	しひょう	index
景気動向	けいきどうこう	business trends
いかん		prospects
ちなみに		by the way; in this connection

アジアで起こった通貨危機 —— 97年

「アジアの奇跡」ともてはやされ急速な経済成長を遂げたアジアの国々の経済は誰も予想しなかった通貨暴落でたちまち失速してしまった。97年7月、タイのバーツは変動相場制移行で一気に暴落、通貨危機は同じような事情を抱えた近隣諸国にまたたく間に広がり、フィリピン、インドネシア、マレーシアが相次いで通貨の切下げを余儀なくされた。世界11位の経済規模を持つ韓国も金融危機を回避するためIMFに緊急支援を要請するに至った。一連の通貨危機の一因は、日本の低金利政策にあったという分析がある。日本で調達された資金が、アジア各国の経済を実力以上に膨らませたというわけだ。

通貨危機	つうかきき	currency crisis
奇跡	きせき	miracle
もてはやす		to praise
遂げる	とげる	to attain
暴落 －する	ぼうらく	sudden fall
失速する	しっそくする	to stall
変動相場制	へんどうそうばせい	floating exchange rate system
またたく間に	またたくまに	in a moment
・東欧諸国では、またたく間に社会主義体制が崩壊した。		
～を余儀なくされる	～をよぎなくされる	to unavoidably ～
回避する	かいひする	to avoid
緊急支援	きんきゅうしえん	emergency support
要請する	ようせいする	to request
至る	いたる	to result in; lead to
一連	いちれん	chain
一因	いちいん	a cause
低金利	ていきんり	low interest rate
分析 －する	ぶんせき	analysis
膨らむ	ふくらむ	to expand

貿易黒字、48%増

大蔵省がまとめた97年の貿易統計によると、97年の貿易黒字額（輸出から輸入を差し引いた額）は、前年に比べて48.5%増の10兆83億円となった。前年比での増加は92年以来5年ぶりで、3年ぶりに10兆円台に乗った。円安ドル高傾向が効いて輸出が堅調だったのに対し、国内景気の低迷で内需が落ち込み、輸入も輸出に比べ伸び悩んだ結果だ。対米黒字は5兆245億円で、41.7%増と3年ぶりに増加に転じた。日本の景気回復がアジアの経済不安を解消するとの観点から、海外から日本の内需拡大への要求がいっそう高まりそうだ。大蔵省は「中長期的には、黒字が大幅に拡大することはない」と強調しているが、今のところ拡大基調に変化の兆しは見えず、黒字減らしに対策が望まれる。

貿易黒字	ぼうえきくろじ	trade surplus
統計	とうけい	statistics
額	がく	amount of money
傾向	けいこう	tendency
効く	きく	to work; be effective
堅調	けんちょう	bullish tone
～に対し	～にたいし	while

・国内の需要に対し、供給が上回っていると貿易黒字が発生する。

低迷　－する	ていめい	stagnate at low level
伸び悩む	のびなやむ	to be unable to rise
転じる	てんじる	to turn
景気回復	けいきかいふく	business recovery
解消する	かいしょうする	to dissolve; get rid of
～との観点から	～とのかんてんから	from this point of view
内需拡大	ないじゅかくだい	expansion of domestic demand
いっそう		more
拡大基調	かくだいきちょう	expansion conditions
兆し	きざし	indication

景気停滞

97年4月、消費税が3％から5％に引き上げられて以来、日本経済はかつてない様々な要因が重なり、景気は後退している。2月6日（'98）閣僚会議に提出された月例経済報告によると、経済企画庁長官は、停滞という表題で厳しい景気の現状を表現している。金融システム不安の影響による個人消費の低迷や設備投資の鈍化が鮮明になって、景気は後退局面に入っている。長官は、「経済活性化や不良債権処理をさらに進めることが重要」と追加景気対策の策定に意欲を示した。

景気	けいき	business conditions
停滞　－する	ていたい	stagnation
消費税率	しょうひぜいりつ	consumption tax rate
かつて		once; before
後退する	こうたいする	to recede; retreat
経済企画庁	けいざいきかくちょう	Economic Planning Agency
金融システム	きんゆうシステム	financial system
個人消費	こじんしょうひ	individual consumption
低迷　－する	ていめい	stagnate at a low level
・日本経済の低迷によるアジア経済への影響は深刻化している。		
設備投資	せつびとうし	capital investment
鈍化　－する	どんか	dullness
鮮明	せんめい	clearness
局面	きょくめん	situation
活性化　－する	かっせいか	activation; stimulation
不良債権	ふりょうさいけん	bad debt
処理　－する	しょり	handling of; settlement of
対策	たいさく	measures
策定　－する	さくてい	drawing up
意欲	いよく	will

日本型経営

戦後の日本経済を支えた日本特有の企業システムに「終身雇用」と「年功制」がある。企業は新規学卒者を正規従業員として採用し、特別の事情のない限り定年まで雇用し、賃金は勤続年数や年齢に応じて上昇する。経済が持続的に成長していく段階でプラスに機能したこのシステムは、調整期に入った現在、能力主義など新たな仕組みの導入が必要となった。経済企画庁が98年に発表した企業アンケートの結果によれば、現状の雇用方針では依然として長期継続的な雇用が95%で「日本型経営システム」が支配的だ。しかし今後5年間の方向性を見ると、処遇面では「能力主義的」が91%を占める。

終身雇用	しゅうしんこよう	lifetime employment
年功制	ねんこうせい	seniority system
新規学卒者	しんきがくそつしゃ	new university graduate
正規従業員	せいきじゅうぎょういん	new employee
採用する	さいようする	to hire
定年	ていねん	retirement age
～に応じて	～におうじて	according to ～
機能する	きのうする	to work; function
調整　－する	ちょうせい	adjustment
能力主義	のうりょくしゅぎ	meritocracy
仕組み	しくみ	arrangement

・米国社会はベンチャービジネスが盛んで、アメリカンドリームを体現しやすい仕組みになっている。

導入　－する	どうにゅう	introduction
経済企画庁	けいざいきかくちょう	the Economic Planning Agency
雇用方針	こようほうしん	employment policy
依然として	いぜんとして	still
支配的	しはいてき	dominant
処遇面	しょぐうめん	treatment; pay

消費トレンド —— 21世紀に向けて

21世紀に向けて消費トレンドの動きはどう予測できるか。大手広告社によると大きな潮流は三つ。一つは情報通信分野で、インターネットに接続が可能な携帯情報端末、ミニノートパソコンなどを企業や消費者が採用する。二つ目は美容と健康。医薬、食品、化粧品などの垣根がなくなり、総合的に対応するところに需要がありそうだ。三つ目は環境・リサイクル素材を使った衣料やカーテン、家具など地球に負荷をかけない人にも環境にもやさしい商品がもてはやされそうだ。

消費トレンド	しょうひトレンド	consumption trend
どう〜するか		how 〜?
予測する	よそくする	to estimate; predict
広告社	こうこくしゃ	advertising agency
潮流	ちょうりゅう	current
通信　－する	つうしん	communication
分野	ぶんや	field
接続　－する	せつぞく	connection
携帯情報端末	けいたいじょうほうたんまつ	personal digital assistant
採用する	さいようする	to adopt
美容	びよう	beauty
健康	けんこう	health
医薬	いやく	medicine
化粧品	けしょうひん	cosmetics
垣根	かきね	fence
需要	じゅよう	demand
環境	かんきょう	environment
負荷	ふか	burden
もてはやす		to admire; make a fuss over

・最近、子供向けのキャラクター商品が大人にもてはやされている。

失業率4.9%

先進国で際立って低い失業率を誇ってきた日本の「完全雇用神話」が崩れ、2000年7月の完全失業率は4.9%と1999年7月に続き過去最悪となった。2月の失業者319万人のうち人員整理や倒産、定年などの自発的でない離職は115万人、うち45歳から59歳が37万人を占める。企業は不景気だからとひたすら人員削減に走る。しかし雇用が過剰であるにしても、まず新しいビジネスを開拓して人員を生かすことが経営者の役割であり、安易に首切りに走る発想は見直すべきだ。だが、日本的慣行である終身雇用制度の修正もやむを得ないとする意見も多い。

失業率	しつぎょうりつ	unemployment rate
際立つ	きわだつ	to be conspicuous
完全雇用	かんぜんこよう	full employment
神話	しんわ	myth; mythology
崩れる	くずれる	to collapse
人員整理	じんいんせいり	personnel cut
自発的	じはつてき	voluntary
離職　－する	りしょく	loss of employment
～からと		simply because

・社長はこの不況には太刀打ちできないからと工場を閉鎖した。

ひたすら		solely
走る	はしる	to turn to ～; run
過剰	かじょう	excess
～にしても		even if ～

・資金が不足しているにしても、設備投資は必要だ。

開拓する	かいたくする	to cultivate; open up
生かす	いかす	to make the most use of
安易	あんい	easy
首切り	くびきり	discharge; dismissal
発想　－する	はっそう	way of thinking; concept

派遣社員

企業がリストラで正社員を減らす一方で、その穴埋めとなる派遣社員の需要が高まっている。労働省のまとめ（'98. 2）では、96年度の派遣労働者数は72万人と前年度比で18%増え、初の70万人を突破した。97年度はさらに百万人を超えたのではないかと見られており、雇用の多様化は一段と進みそうだ。人材派遣会社の売上高も軒並み最高を更新し、最大手の今年度の売上高は1,260億円で需要の高かったバブル期の売上高を上回るという。

派遣　－する	はけん	dispatch
リストラ		restructuring
正社員	せいしゃいん	regular employee
～一方で	～いっぽうで	on the other hand
穴埋め	あなうめ	fill a hole; cover a deficit
需要	じゅよう	demand
労働省	ろうどうしょう	Ministry of Labor
まとめ		data
突破する	とっぱする	to pass; break through
さらに		still more
～と見られている	～とみられている	to be seen as ～
雇用　－する	こよう	employment
多様化　－する	たようか	diversification
一段と	いちだんと	further
人材派遣会社	じんざいはけんがいしゃ	temporary employment agency
売上高	うりあげだか	sales
軒並み	のきなみ	at every door; everywhere

・中小企業は日本経済の停滞の影響を受け、軒並み収益が悪化している。

更新する	こうしんする	to renew; update
最大手	さいおおて	biggest companies
上回る	うわまわる	to exceed

消費動向調査

不況の中、経済企画庁は全国の約5,000世帯を対象に1998年6月中旬に消費動向調査を実施した。それによるとレストランなどの外食費がマイナス22.8%、遊園地やカラオケ、パチンコなどの娯楽費がマイナス15.1%と消費を抑える傾向がはっきり出た。これに対して、学習塾や家庭教師など補習教育費はプラス5.3%と支出を増やす方向。不況下でも教育への出費は惜しまないということか。

消費　－する	しょうひ	consumption
動向	どうこう	tendency; trend
不況	ふきょう	recession
世帯	せたい	household
外食費	がいしょくひ	expense of eating out
遊園地	ゆうえんち	amusement park
カラオケ		karaoke
パチンコ		pinball game
娯楽費	ごらくひ	recreation costs
抑える	おさえる	to hold down; control
傾向	けいこう	tendency
学習塾	がくしゅうじゅく	cramschool for entrance examinations
家庭教師	かていきょうし	private tutor
補習　－する	ほしゅう	supplementary lesson
出費　－する	しゅっぴ	expenses
惜しむ	おしむ	to spare
～ということか		it may be that ～

・大手デパートの閉店売り出しには長蛇の列。不況でも消費者の購買意欲は衰えていないということか。

長蛇の列	ちょうだのれつ	long line
購買意欲	こうばいいよく	desire to buy
衰える	おとろえる	to fail

総合電機回生なるか

戦後日本の高度経済成長を支えてきた名門企業H製作所が、創業以来の危機に陥っている。原子力発電から家電製品までつくるこれまでの総合電機という業態が原因であるだけでなく、巨大企業ならではの意思決定の遅さや官僚的な社風も作用して、1999年3月期の決算は戦後最悪2,500億円の赤字になる見通しだ。社内では「大企業病」の克服への意識改革を急ぐ一方、幹部の間では不採算部門を分離して「総合電機」をやめようと示唆する声も上がっている。

回生　－する	かいせい	revival
～なるか		Will ～?
・"政府の無駄な公共事業への見直しなるか"		
名門	めいもん	distinguished family
創業　－する	そうぎょう	establishment; founding
陥る	おちいる	to fall into
原子力発電	げんしりょくはつでん	nuclear power
～だけでなく		not only ～
～ならでは		only ～; particular to ～
・研究開発への大型投資は、大企業ならではの計画だ。		
意思決定	いしけってい	decision-making
官僚的	かんりょうてき	bureaucratic
社風	しゃふう	corporate culture
作用する	さようする	to act on; affect
決算　－する	けっさん	settlement
克服　－する	こくふく	conquest
意識改革	いしきかいかく	consciousness reform
～一方	～いっぽう	on the other hand
幹部	かんぶ	executives
採算	さいさん	profit
示唆する	しさする	to suggest

国際通信、再編進む

外資系通信会社が、日本の通信会社との提携を求めて水面下の動きを活発化させている。国内の通信業界は長距離、国際通信のたび重なる値下げ、割引で、従来型の電話事業のうまみが消えており、新たな事業を切り開く必要に迫られている。外資と手を組んで、多国籍企業の通信需要を取り込むことは重要な課題だ。しかし「経営を支配するのでなければ、出資する意味はない」とする外資系と従来の日本企業の間に意識の溝は大きく、提携の大きな壁になっている。

再編　－する	さいへん	reorganization
外資系	がいしけい	foreign capital
提携　－する	ていけい	cooperation; alliance
水面下	すいめんか	below the surface; in secret
活発化する	かっぱつかする	to activate
長距離	ちょうきょり	long distance
たび重なる	たびかさなる	to occur several times
・たび重なる生産調整でパート従業員の大半が解雇された。		
値下げ	ねさげ	price reduction
従来型	じゅうらいがた	heretofore in use
うまみ		taste; profit
新たな	あらたな	new
切り開く	きりひらく	to cut down; create
迫る	せまる	to press; pressure
手を組む	てをくむ	to join hands
多国籍企業	たこくせききぎょう	multinational corporation
取り込む	とりこむ	to bring in; co-opt
出資する	しゅっしする	to invest
意識　－する	いしき	conciousness; senses
溝	みぞ	gap
壁	かべ	wall; barrier

バブル経済の崩壊

日本経済は1986年末から91年2月までの長期景気拡大で、好景気になり、増大した資金は設備投資に、それでも余った資金は株、債券、土地への投資にもまわり、いわゆるバブル景気を形成した。しかし、株価は89年12月にピークをつけたあと（38,915円)、90年末に大幅下落が始まり、バブルは崩壊した。92年8月には東証平均株価はピーク時のほぼ4割に相当する14,309円まで下がり、不動産向け融資を大幅に伸ばしてきた金融機関は多額の不良債権を抱えた。97年には北海道拓殖銀行が倒産。山一証券も廃業に追い込まれ、金融システムの不安が表面化した。1998年秋、小渕内閣は預金者保護、銀行の健全化のために60兆円の公的資金を用意する金融関連法案を成立させた。

バブル経済	バブルけいざい	"bubble economy"
崩壊　－する	ほうかい	collapse
設備投資	せつびとうし	capital investment
株	かぶ	stock
債券	さいけん	bond
いわゆる		so-called
ピーク		peak
東証	とうしょう	Tokyo Stock Exchange
相当する	そうとうする	to be equal to

・日本車メーカーは東南アジアでの生産が回復し、今年1月～8月の月間生産台数は前年同月の2～4倍に相当するという。

不動産	ふどうさん	real estate
融資　－する	ゆうし	financing
不良債権	ふりょうさいけん	bad debt
抱える	かかえる	to hold
廃業　－する	はいぎょう	discontinuance of business
追い込む	おいこむ	to drive into
表面化する	ひょうめんかする	to come into the open
健全	けんぜん	soundness

ｉモード加入1,000万人に迫る

1995年加入者数が600万台だった普通携帯電話は5年間で6,000万台に急増した。そのなかでも、にわかに人気を集めているのがインターネットに接続可能な"ｉモード"だ。サービス開始から1年余り、2000年7月には加入者は当初の予想を大きく上回る978万人を突破した。ｉモードはパソコンにつながなくても、メールのやりとりや銀行振込み、チケットの予約などができる。2001年には高速通信が可能で、動画など大容量通信ができる次世代携帯電話も世界に先駆けて導入されるだけに、企業の熱い視線が情報端末の開発に注がれている。

加入　－する	かにゅう	subscription
携帯電話	けいたいでんわ	portable telephone
急増する	きゅうぞうする	to increase rapidly
にわかに		suddenly
接続　－する	せつぞく	connection
当初	とうしょ	beginning
予想　－する	よそう	forecast
突破する	とっぱする	to break through
やりとり		exchanges
振込み	ふりこみ	transfer
動画	どうが	animation
容量	ようりょう	capacity
次世代	じせだい	next-generation
先駆ける	さきがける	to take the lead
～だけに		as may be expected of～

・プロバイダー各社はパソコンからのネット接続収入を大きな柱としているだけに、携帯電話によるネット接続が普及すると、大きな打撃を受ける。

視線	しせん	one's gaze
端末	たんまつ	terminal
注ぐ	そそぐ	to focus on

少子高齢化

日本は、子供の数が減り高齢者が増える少子高齢化社会が急速に進んでいる。1人の女性が産む子供の数は98年には1.38人まで下がった。1億2,600万人（2000年3月末）の総人口は2007年をピークに減りはじめ、21世紀末には6,700万人まで落ち込むと予測されている。平均寿命が世界一である日本は、高齢人口が年少人口を上回る高齢社会になる。経済の側面から見れば、労働人口の不足で経済全体が縮小し、税金、社会保険など国民1人当たりの負担は大きくなる。社会保障制度が不十分で将来に不安感を持つ日本人は、現在個人の金融資産が1,200兆円と騒がれても、低金利の貯蓄をなかなか消費にまわそうとはしない。21世紀に活力ある社会を創生するため、日本は正念場に立たされている。

少子	しょうし	few children
高齢化	こうれいか	aging population
落ち込む	おちこむ	to fall into; sink
予測する	よそくする	to estimate; predict
寿命	じゅみょう	life span
側面	そくめん	the side
縮小する	しゅくしょうする	to reduce
税金	ぜいきん	tax
保険	ほけん	insurance
負担　－する	ふたん	burden
社会保障	しゃかいほしょう	social security
金融　－する	きんゆう	financial
騒ぐ	さわぐ	to make noise
貯蓄　－する	ちょちく	savings
まわす		to transfer; shift
創生する	そうせいする	to create
正念場	しょうねんば	the crucial moment

・介護保険の実施をめぐり、政府は正念場を迎えようとしている。

これからの経済は……

近代の経済はアダム・スミスの有名な言葉「個人が自分の生活をよくするために努力すれば、見えざる手によって社会全体が豊かになる」から産業革命、資本主義経済の確立へと進んだ。その一方では、ロシア革命(1917)、ソ連の誕生(1922)と社会主義経済、社会主義国家の成立も進み、世界は発展と変容のなかで21世紀を迎えようとしている。資本主義経済であれ、社会主義経済であれ、そのいかんを問わず世界の経済は高度に発達と分業が進み、世界中の人々のニーズを満足させるためには、一国中心の閉鎖的な経済活動では賄いきれなくなった。21世紀には、金融、生産、流通など、あらゆる点でグローバル化に対処できる開放的な経済システムや情報通信の技術革新へと急速にシフトしなければ、経済成長はおろか生き残るのもむずかしいだろう。

見えざる	みえざる	invisible
豊か	ゆたか	abundant
産業革命	さんぎょうかくめい	Industrial Revolution
資本主義	しほんしゅぎ	capitalism
確立　－する	かくりつ	establishment
変容　－する	へんよう	transformation
～であれ～であれ		whether ～ or ～

・農業であれ水産業であれ、新しい経営手段の導入が成長のカギだ。

～のいかんを問わず	～のいかんをとわず	regardless of ～
分業　－する	ぶんぎょう	division of labor
閉鎖的	へいさてき	closed
賄う	まかなう	to cover
～きれない		cannot completely ～
あらゆる		all
対処する	たいしょする	to cope with
技術革新	ぎじゅつかくしん	technical innovation
～はおろか		not only ～
生き残る	いきのこる	to survive

電子商取引（Eコマース）

インターネットを利用する電子商取引は世界的規模で拡大している。企業間はもちろん、消費者と販売業者の間でもインターネットを利用すれば24時間いつでも瞬時に情報をつかみ、取引が可能になった。工場は部品の調達にネットを利用すれば、在庫を減らしコストも削減できる。一般消費者は金融商品、航空券、書籍などホームページで商品を選択して、いながらにして安く、早く、自分の欲しいものを手に入れることができる。電子商取引とともに注目されているのが支払いを簡素化する電子マネーだ。電子商取引は従来のビジネスの常識を変える画期的な流通網を21世紀に提供する。

電子商取引	でんししょうとりひき	electric commerce
規模	きぼ	scale
～はもちろん～も		not only ～ but also ～

・インターネットの商取引はもちろん、携帯電話にも決済機能を加えることが試みられている。

瞬時	しゅんじ	a second; an instant
つかむ		to get
調達　－する	ちょうたつ	supply
在庫	ざいこ	stock; inventory
削減する	さくげんする	to curtail; reduce
金融　－する	きんゆう	financial
航空券	こうくうけん	air ticket
書籍	しょせき	books
選択する	せんたくする	to choose
いながらにして		at one's home
簡素化する	かんそかする	to simplify
従来	じゅうらい	former
常識	じょうしき	common sense
画期的	かっきてき	epoch-making
提供する	ていきょうする	to offer; provide

経済白書（年次経済報告）

1947年7月、当時の経済安定本部にいた都留重人（つるしげと）は経済白書の第1号「経済実相報告」を執筆した。その第1号から数え、2000年7月に出た白書は54号にあたる。数表やグラフが詰まりデータがあふれる白書は年々分厚くなっている。2000年の白書は、情報技術（IT）が経済に与える影響を予測している。

発表年	表題（副題）
1947	経済実相報告書（付・経済緊急対策）
1948	経済情勢報告書（回顧と展望）
1949	経済現況の分析（付・経済安定の原則）
1950	経済現況報告（安定計画下の日本経済）
1951	年次経済報告（以下同様）
1952	（独立日本の経済力）
1953	（自立経済達成の諸条件）
1954	（地固めの時）
1955	（前進への道）
1956	（日本経済の成長と近代化）
1957	（速すぎた拡大とその反省）
1958	（景気循環の復活）
1959	（速やかな景気回復と今後の課題）
1960	（日本経済の成長と競争力）
1961	（成長経済の課題）
1962	（景気循環の変貌）
1963	（先進国への道）
1964	（開放体制下の日本経済）
1965	（安定成長の課題）
1966	（持続的成長への道）
1967	（能率と福祉の向上）
1968	（国際化のなかの日本経済）

1969　(豊かさへの挑戦)
1970　(日本経済の新しい次元)
1971　(内外均衡達成への道)
1972　(新しい福祉社会の建設)
1973　(インフレなき福祉をめざして)
1974　(成長経済を超えて)
1975　(新しい安定軌道をめざして)
1976　(新たな発展への基礎がため)
1977　(安定成長への適応を進める日本経済)
1978　(構造転換を進めつつある日本経済)
1979　(すぐれた適応力と新たな出発)
1980　(先進国日本の試練と課題)
1981　(日本経済の創造的活力を求めて)
1982　(経済効率性を活かす道)
1983　(持続的成長への足固め)
1984　(新たな国際化に対応する日本経済)
1985　(新しい成長とその課題)
1986　(国家的調和をめざす日本経済)
1987　(進む構造転換と今後の課題)
1988　(内需型成長の持続と国際社会への貢献)
1989　(平成経済の門出と日本経済の新しい潮流)
1990　(持続的拡大への道)
1991　(長期拡大の条件と国際社会における役割)
1992　(調整をこえて新たな展開をめざす日本経済)
1993　(バブルの教訓と新たな発展への課題)
1994　(厳しい調整を越えて新たなフロンティアへ)
1995　(日本経済のダイナミズムの復活をめざして)
1996　(改革が展望を切り開く)
1997　(改革へ本格機動する日本経済)
1998　(創造的発展への基礎固め)
1999　(経済再生への挑戦)
2000　(新しい世の中が始まる)

3．環境・科学・技術

エコロジーの時代

19世紀後半からクローズアップされてきた環境問題の歴史を振り返ると、大きく分けて三つの段階を経て現在に至っている。19世紀後半から1960年代初期までは自然保護の時代で、美しい景観、弱い野生動物の保護が主眼だった。次いで60年代初期から70年代初期までは環境保護の時代と言える。景観や生き物から大気、水、土壌など物理的な要素へ人々の意識が広がった。さらにそのあとエコロジーの時代は、人類も含めて地球を一つのシステムと捉え、その破壊は人類の生存を左右するという考えに発展した。環境保護と経済活動をどう調和させて地球を守るか、それが21世紀の大きな課題になる。

振り返る	ふりかえる	to look back
段階	だんかい	stage; step
経る	へる	to pass
至る	いたる	to come to
自然保護	しぜんほご	preservation of nature
景観	けいかん	scene; view
野生動物	やせいどうぶつ	wild animal
主眼	しゅがん	primary objective
土壌	どじょう	soil
物理的	ぶつりてき	physical
要素	ようそ	element
意識　－する	いしき	consciousness
含める	ふくめる	to include
捉える	とらえる	to grasp

・90年代に入って、環境問題を地球全体の問題として捉えるようになった。

破壊　－する	はかい	destruction
生存　－する	せいぞん	existence
左右する	さゆうする	to influence; control
どう～か		how ～
調和する	ちょうわする	to harmonize

地球温暖化現象

世界の気温がじりじり上昇している。その原因は、車や火力発電所から出る二酸化炭素（CO_2）、メタン、亜酸化窒素といったガスの増加だといわれる。熱が地表から宇宙へ放出されるのをガスが邪魔して、気温が上がる。気温が上がれば海水の体積が膨脹したり、氷河が溶けたりする。そうすれば海面の水位は上がり、低地は海になってしまう。熱帯・亜熱帯の地域では食糧生産が減少し、飢饉、難民が増加するおそれがある。洪水・干ばつが激しくなったり、台風の発生が増えたり、熱帯性の伝染病（マラリアなど）が広がるという健康への悪影響も心配される。この地球規模の大問題を解決するために、私たちは今何をすべきだろうか。

地球温暖化現象	ちきゅうおんだんかげんしょう	global warming
気温	きおん	temperature
じりじり		little by little
メタン		methane
亜酸化窒素	あさんかちっそ	nitrous oxide
宇宙	うちゅう	space
放出する	ほうしゅつする	to discharge
体積	たいせき	cubic volume
膨脹する	ぼうちょうする	to expand
氷河	ひょうが	glacier
熱帯	ねったい	tropical zone
飢饉	ききん	famine
難民	なんみん	refugees
～おそれがある		to be in danger of～

・石油をエネルギー源とする産業開発は、環境に悪影響を与えるおそれがある。

洪水	こうずい	flood
干ばつ	かんばつ	drought
伝染病	でんせんびょう	contagious disease
地球規模	ちきゅうきぼ	global scale

土壌と文明

世界の七不思議のひとつモアイ像で知られるイースター島にポリネシア人がたどり着いたのは5世紀頃。火山島で土壌はよかったが、川はなく植物はわずか30種類で動物も少なかった。家畜として持ってきた動物は鶏、ポリネシアラット。気候的な条件で栽培できる作物はサツマイモだけだったが、栄養的には十分だった。その栽培にはほとんど手が掛からず、祭礼や記念碑の建造などに多くの時間を費やした。丸太を多く消費するため木は伐採され、深刻な環境破壊がもたらされた。18世紀にヨーロッパ人が訪れた時、島にはほとんど木が見つからなかったが、その後の研究から、移住が始まったころは豊かな自然があったことがわかってきた。限りある資源を使い尽くし、その環境が回復不能までに破壊された時に何が起こるかを示す衝撃的な例だろう。

文明	ぶんめい	civilization
七不思議	ななふしぎ	the seven wonders
家畜	かちく	domestic animal; cattle
鶏	にわとり	chicken
栽培する	さいばいする	to cultivate
サツマイモ		sweet potato
栄養	えいよう	nutrition
祭礼	さいれい	festival
記念碑	きねんひ	monument
丸太	まるた	log
伐採する	ばっさいする	to cut down
もたらす		to bring; cause

・海外投資や援助は受け入れ国の産業発展に役に立つ一方、環境破壊をもたらす危険性がある。

移住　－する	いじゅう	immigration
尽くす	つくす	to use up
衝撃的	しょうげきてき	shocking

猛毒物質ダイオキシン

ダイオキシンは「人類が作り出した最悪・最強の毒物」と言われる。ダイオキシンは工業的に生産される化学物質の中に微量に含まれ、その物質が燃える際に発生する。毒性が強く、産業廃棄物処理場などの焼却炉から発生することが問題になっている。人体に取り込まれるダイオキシンは魚介類や乳製品、肉類など食物経路が97%を占め、呼吸により直接吸収する割合は3%以下と低い。人体に吸収された場合、皮膚や内臓の障害、癌の発病や奇形児が生まれることがわかっている。またダイオキシンは脂肪に蓄積することから、母乳の汚染や乳児への影響も懸念されている。

猛毒	もうどく	deadly poison
ダイオキシン		dioxin
化学物質	かがくぶっしつ	chemicals
微量	びりょう	very small amount
産業廃棄物	さんぎょうはいきぶつ	industrial waste
処理場	しょりじょう	processing site
焼却炉	しょうきゃくろ	incinerator; trash burner
魚介類	ぎょかいるい	fish and shellfish
食物経路	しょくもつけいろ	food route
呼吸　－する	こきゅう	breath
内臓	ないぞう	internal organs
障害	しょうがい	disorder
奇形児	きけいじ	deformed child
脂肪	しぼう	fat
蓄積する	ちくせきする	to accumulate
～ことから		by reason of ～

・日本のダイオキシン総排出量は、ドイツやオランダの10～100倍も多いことから食品汚染の危険性が懸念される。

乳児	にゅうじ	infant
懸念する	けねんする	to fear

環境の値段

自然や環境の大切さに異議を唱える人はいないだろう。それにもかかわらず、開発や生活の利便性が優先され、自然を犠牲にした経済発展が図られてきた。戦後日本の経済成長はその典型と言える。そんななか、かけがえのない自然にあえて値段をつけ、その経済的価値を明確にして環境保護に役立てる取り組みが注目を集めている。「仮想評価法」などと訳されるCVM（Contingent Valuation Method）で、アンケートに基づき、市民の意識から海や森、川などの価値を推計するものだ。公害企業の賠償額の算定基準や、環境改善事業などに利用する動きもあるが、調査に客観性を持たせつつ、自然や環境を守る目的意識を明らかにすることが重要だ。

異議	いぎ	objection; dissent
唱える	となえる	to raise; recite
～にもかかわらず		in spite of ～

・世論の反対にもかかわらず、エネルギー産業では規制緩和が進んでいる。

利便性	りべんせい	convenience
優先する	ゆうせんする	to give priority to
犠牲	ぎせい	sacrifice
図る	はかる	to plan
典型	てんけい	type; model
かけがえのない		irreplaceable
あえて		daringly; positively

・環境投資のため、行政はあえて市民の負担を強いることもある。

取り組み	とりくみ	wrestling with; measures
訳す	やくす	to translate
賠償　－する	ばいしょう	reparation; compensation
算定　－する	さんてい	computation
改善　－する	かいぜん	improvement
客観性	きゃっかんせい	objectivity
～つつ		～ ing

オゾンホール

気象庁から入った情報によると、南極上空に4年連続でオゾンホールが発生し、その大きさは観測史上最大ということだ。またオゾンがほとんどなくなっている層も拡大しているとのことだ。オゾンホールは有害な紫外線から生物を守るオゾン層がフロンによって破壊されてできる「オゾン層の穴」で、通常南極で春に当たる10月前半には衰え始めるが、今年はそういった観測データがなく、同庁はいつ衰退傾向になるかわからないと見ている。オゾン層は大気の20～30キロの高さにある。

オゾンホール		hole in the ozone
気象庁	きしょうちょう	Meteorological Agency
南極	なんきょく	Antarctica
連続　－する	れんぞく	successively; consecutively
観測史上	かんそくしじょう	in the history of observation
層	そう	stratum
拡大する	かくだいする	to expand
有害	ゆうがい	harmful
紫外線	しがいせん	ultraviolet rays
フロン		chlorofluorocarbon
～によって		by ～

・地球全体の環境を守るため、国連によって大規模な地球サミットが開催された。

破壊する	はかいする	to destroy
通常	つうじょう	usually
衰える	おとろえる	to weaken
衰退　－する	すいたい	atrophy
傾向	けいこう	tendency
～と見ている	～とみている	to suppose; believe; estimate

・気象庁はオゾン層が1％破壊されると、地上に到達する有害紫外線は2％程度増えると見ている。

熱帯林とウイルス

熱帯林は、恐竜の時代から氷河期を越えて生き残ってきた地球最古の森林だ。時の流れの中で、熱帯林は針葉樹林や温帯林とは異なる複雑な生態系をつくった。そして無数の未知のウイルスも、この中に潜んでいる。ウイルスは動植物の細胞に寄生し増殖する。増殖し過ぎると、生き延びるために動物や昆虫の体を渡り歩いたり、潜伏したりして野生の動植物と共存する。むやみに人間が熱帯林を荒らすと、未知のウイルスが飛び出し人間がウイルス病に感染する。はるか昔に森林を離れた人間には、そんなウイルスと共存する能力はもうない。エイズなどのウイルス病の発生は、60年代以降の熱帯林破壊が加速した時期と一致している。1995年5月、アフリカ・ザイールの南西部で大流行したエボラ出血熱のウイルスも熱帯林の奥深くに感染源の生物がいるにちがいない。

熱帯林	ねったいりん	tropical forest
ウイルス		virus
恐竜	きょうりゅう	dinosaur
氷河期	ひょうがき	the glacial period
針葉樹林	しんようじゅりん	coniferous forest
温帯林	おんたいりん	forest of the temperate zone
生態系	せいたいけい	ecosystem
潜む	ひそむ	to lurk; lie behind
細胞	さいぼう	cell
寄生する	きせいする	to be parasitic on
増殖する	ぞうしょくする	to multiply;propagate
潜伏する	せんぷくする	to be dormant
むやみに		thoughtlessly
感染する	かんせんする	to be infected
エボラ出血熱	エボラしゅっけつねつ	Ebola hemorrhagic fever
～にちがいない		must

・熱帯林の減少は地球の生態系に大きな影響を及ぼしているにちがいない。

グローバルスタンダード

例えば、今我々が使っている電気冷蔵庫やクーラーは、ハイテク技術を駆使し、消費電力は以前と比べ3分の1ぐらい、炭酸ガスの排出量も少なくなっている。しかし我々は快適な生活環境を求めるあまり、冷蔵庫は大型、クーラーは各部屋にと考える。そうすれば快適さを追及するためのエネルギーの消費はどんどんエスカレートし、地球環境を破壊する方向へ進む可能性がある。地球全体つまりグローバルな基準で環境破壊につながらないよう、一人一人が自分の行動を厳しくチェックすべきだ。

我々	われわれ	we
電気冷蔵庫	でんきれいぞうこ	electric refrigerator
クーラー		air conditioner
ハイテク		high technology
駆使する	くしする	to use freely

・インターネットを駆使して、世界中の情報が手に入るようになった。

消費電力	しょうひでんりょく	consumption of electricity
炭酸ガス	たんさんガス	carbon dioxide gas
排出量	はいしゅつりょう	discharge quantity
快適	かいてき	comfortable
求める	もとめる	to look for
～あまり		in excess of ～

・国は経済の発展を急ぐあまり、環境問題をおろそかにしがちだ。

追及する	ついきゅうする	to pursue
エスカレートする		to escalate
破壊する	はかいする	to destroy
可能性	かのうせい	possibility
基準	きじゅん	standard
～べき		should

・日常生活の中で、我々は出来るだけエネルギー消費を少なくすべきだ。

都市空間

建築というのは、境界をつくって「内部」と「外部」を区別する技術だ。この「内」と「外」の意識が欧米人と日本人とでは大きく違う。日本人にとっては、靴をはいている空間が「外」であり靴を脱いでいる空間つまり家の中が「内」だ。ところが、家の中でも靴をはく西欧人にとって「内」といえるのは個室のみで、居間や食堂は「外」の延長だといえる。西欧では家の中にも外の要素が入り込んでいる。このことが都市景観の違いとして現れている。街路は美しく舗装され、ベランダもきれいに花などを飾り、広場でさえも家庭の延長になっている。それに対し日本は、家の中はきれいに掃除し、花を生けたり置物などで飾るが、都市空間は自分に関係ない外部の空間だ。日本の街並みは都市の景観やアメニティー、つまり快適的な住環境という点で多くの問題を抱えている。

空間	くうかん	space
建築　－する	けんちく	building
境界	きょうかい	boundary
意識　－する	いしき	consciousness
個室	こしつ	one's room
延長　－する	えんちょう	extension
要素	ようそ	element
景観	けいかん	view
街路	がいろ	street
舗装する	ほそうする	to pave
～でさえ		even ～

・粗大ゴミはもちろん、家庭ゴミでさえ有料化が考えられている。

花を生ける	はなをいける	to arrange flowers in a vase
街並み	まちなみ	the streets and the houses
アメニティー		amenity
抱える	かかえる	to have; carry

・副都心の開発は交通システム、環境などで多くの問題を抱えている。

クリーンエネルギー

1973年の石油ショックで石油価格の高騰と枯渇に危機感を抱いた先進国は、代替エネルギーの研究開発に着手した。最近では二酸化炭素（CO_2）やメタン、フロンなど熱を吸収する温室効果ガスが大気中に増え、地球温暖化現象が発生している。こういった環境面から、石油や石炭に比べ二酸化炭素の発生量が少ない液化天然ガス（LNG）の需要が世界的に増加している。日本はアメリカ、ブルネイ、UEA（アブダビ）、インドネシア、オーストラリア、マレーシアの6カ国から年間約4,650万トン輸入し、世界のLNG貿易量の64%を買っている。国内の主な需要先は電力が約8割、都市ガスが約2割となっている。

高騰　－する	こうとう	sudden jump; steep rise
枯渇　－する	こかつ	exhaustion; running dry
危機感	ききかん	sense of crisis
～を抱く	～をいだく	to feel

・民間のウラン加工施設に対し、地元の人々は不信感を抱いている。

代替エネルギー	だいたいエネルギー	alternative energy source
着手する	ちゃくしゅする	to start; set about
二酸化炭素	にさんかたんそ	carbon dioxide
メタン		methane
フロン		chlorofluorocarbon
吸収する	きゅうしゅうする	to absorb
温室効果ガス	おんしつこうかガス	gases causing the greenhouse effect
大気中	たいきちゅう	in the air
地球温暖化	ちきゅうおんだんか	global warming
現象	げんしょう	phenomenon
発生する	はっせいする	to occur
石炭	せきたん	coal
液化天然ガス	えきかてんねんガス	liquefied natural gas
～先	～さき	the other party

ライフサイクルアセスメント（LCA）

省エネといえば、冷暖房を節約したり、照明をこまめに消すことを考えるのが普通だ。しかし直接的な消費だけでなく、見えない形で使うエネルギーも大きい。例えばハウス栽培の野菜を作るには、露地栽培の数10倍ものエネルギーが必要になるそうだ。一つの製品を考えても加工、組み立て、運搬の時、使用中、廃棄の時と、何らかの形でエネルギーを使う。エネルギーを使えば二酸化炭素（CO_2）を出し、地球温暖化や様々な廃棄物や汚染物質を出すことにつながる。このような目に見えない環境影響まで計算するのがライフサイクルアセスメントである。LCAが可能になれば、生活を見直す指標になる。案外いいと思っていたことが、環境を汚しているかも知れない。

省エネ	しょうエネ	energy-saving
～といえば		speaking of ～

・ハイブリッドカーといえば、環境対策車として注目されているが、採算性に問題がある。

冷暖房	れいだんぼう	air conditioning
節約する	せつやくする	to save; economize
照明	しょうめい	light
こまめに		often; diligently
ハウス栽培	ハウスさいばい	indoor cultivation
露地栽培	ろじさいばい	outdoor cultivation
運搬　－する	うんぱん	transport
廃棄　－する	はいき	disuse; disposal
何らかの形で	なんらかのかたちで	in some way or other
汚染物質	おせんぶっしつ	pollutant
～につながる		to lead to ～

・河川の汚染は結果的には海洋汚染につながる。

見直す	みなおす	to reconsider
指標	しひょう	index; indicator
案外	あんがい	unexpectedly

有機農産物に規格を

有機農業という言葉が日本で初めて使われてから20年、この言葉から消費者が連想するのは土のにおいと農薬を使わない安全な農産物だ。しかしその実情はほとんど知られていない。国際的には「有機農産物」の表示は化学物質を一切使わないものだけが対象だが、日本では有機農業を行っている農家のうち農薬、化学肥料をまったく使わないで生産している農家は全体の３割に過ぎない。多くは農薬の削減に取り組んでいるといった段階だ。新しい規格づくりに動き出した農水省は、さしあたって1997年４月から有機農産物の表示ガイドラインを決め、消費者にとってもわかりやすい情報の提供を図ることになった。

有機農産物	ゆうきのうさんぶつ	organically grown produce
規格	きかく	standard
消費者	しょうひしゃ	consumer
連想する	れんそうする	to suggest; associate with
土のにおい	つちのにおい	smell of the soil
農薬	のうやく	agricultural chemicals
実情	じつじょう	actual condition
化学物質	かがくぶっしつ	chemicals
一切〜ない	いっさい〜ない	to not 〜 at all
肥料	ひりょう	fertilizer
〜に過ぎない	〜にすぎない	to be no more than 〜

・日本の農業総生産の比率は、GDP の1.8 %に過ぎない。

農水省（農林水産省）	のうすいしょう（のうりんすいさんしょう）	Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
さしあたって		for the time being

・日本は1993年の不作による米不足を、さしあたっては外国からの緊急輸入でしのいだ。

しのぐ		to endure; tide over

オフィスビルに光回線網

日本テレコムと米投資信託大手の通信会社、KVHテレコムは、オフィスビル群に直通する地域冷暖房配管用の地下トンネルを利用して、自前の光ファイバー網を構築し、高速データ通信が可能な新しい市内回線網とする。市内回線網は現在、日本電信電話（NTT）がほぼ独占しているが、新たに構築する場合、これまでは土木工事による重いコスト負担がネックになっていた。冷暖房網を利用すると土木工事を減らせるうえ、大口顧客のビルへ回線を直接引き込める利点もある。NTTに依存しない市内回線網ができれば、価格競争が加速し、顧客にとっては通信コスト削減につながる。

光回線	ひかりかいせん	optical fiber
～網	～もう	network
投資信託	とうししんたく	investment trust; mutual fund
冷暖房	れいだんぼう	air cooling and heating
配管	はいかん	pipes; plumbing
自前	じまえ	independent
独占する	どくせんする	to make a monopoly of
構築する	こうちくする	to construct
土木	どぼく	public works
負担　－する	ふたん	burden
ネック		hindrance
～うえ		besides

・太陽エネルギーを利用すると、資源の節約になるうえ、電気料金も安くすむ。

大口	おおぐち	large
顧客	こきゃく	customer
引き込む	ひきこむ	to lay in; install
利点	りてん	advantage
依存する	いぞんする	to depend on

第2世代のインターネット

大手企業が出資している宇宙通信サービスを利用すれば、これまで接続しにくい、通信に時間がかかるというインターネット利用者の悩みが解消される。インターネットの情報をオペレーションセンターを通じて通信衛星に送り、宇宙から降らせる仕組みでプロバイダーにも貸し出す。通信衛星を利用することによって、一定時間に情報を大量に処理でき、時間のかかる動画、写真も早く転送できる。利用者は通信サービスを経由して通信衛星にアクセスすればよく、待つこともなく常時パラボラアンテナから情報をキャッチ、パソコンに取り入れることができる。

第2世代	だいにせだい	the second generation
出資する	しゅっしする	to invest
宇宙	うちゅう	space
通信　－する	つうしん	communication
接続する	せつぞくする	to connect
悩み	なやみ	troubles
解消する	かいしょうする	to solve
～を通じて	～をつうじて	through; by means of

・インターネットを通じて、遠隔医療が可能になる日も近い。

通信衛星	つうしんえいせい	communication satellite
仕組み	しくみ	mechanism
貸し出す	かしだす	to lend
処理する	しょりする	to deal with; process
動画	どうが	animation; video images
転送する	てんそうする	to send on; forward
～を経由して	～をけいゆして	via ～
～すればよい		to just ～ is enough

・資料はわざわざ調べに行かなくても、インターネットにアクセスすればよい。

常時	じょうじ	at all times

スーパーハイウェイ構想

1990年は劇的な冷戦の終結で幕を開け、世界は変革の時代に入った。高度情報社会に突入し、おびただしい量の情報がたえまなく流れている。地球規模に広がったマルチメディア技術の普及は、私たちをいやおうなく「ボーダーレスワールド」に参入させた。米国は2010年を目標に、インターネットやマルチメディアによるスーパーハイウェイ構想を実現しつつある。日本は言語文化、その他の要因でインターネットの普及率が世界の水準に比べ遅れている。すべての情報が画一的に英語で発信、受信されることによるハンディキャップはすでに現実のものになろうとしている。

構想　－する	こうそう	concept; idea
劇的	げきてき	dramatic
冷戦	れいせん	cold war
終結　－する	しゅうけつ	bringing ~ to an end
幕	まく	curtain
変革	へんかく	change; reform
高度情報社会	こうどじょうほうしゃかい	highly advanced information society
突入する	とつにゅうする	to rush in
おびただしい		great many; tremendous
たえまなく		continually
地球規模	ちきゅうきぼ	global scale
いやおうなく		whether one likes it or not

・日本語の話しことば、書きことばの違いはパソコンの普及で、いやおうなく一致していく傾向が見られる。

参入する	さんにゅうする	to enter
要因	よういん	factor
普及率	ふきゅうりつ	diffusion; usage ratio
画一的	かくいつてき	uniformly

科学で夢と希望を

国や民間の研究機関が集結する茨城県・筑波学園研究都市は、規模としては世界最大級の研究拠点で、約1万2,000人の研究者が暮らしている。ここで初の本格的なコンベンション施設となる「つくば国際会議場」（愛称・エポカルつくば）が99年6月1日にオープンした。会議場の館長を務めるノーベル物理学賞受賞者、江崎玲於奈氏は開館にあたって、「この会議場が、日本の知識を世界中に送り出す新たな情報発信基地となり、日本の科学技術全体にも大きな刺激を与えるでしょう。これからは会議の運営者として、参加者が議論しやすい環境づくりに取り組み、科学で夢や希望を与えていきたい。」と、抱負を語った。

夢	ゆめ	dream
集結する	しゅうけつする	to concentrate; gather
規模	きぼ	scale
・政府は現在1兆円規模のバイオ市場を、2010年には25兆円にまで発展させる意向を示した。		
～として		as ～
・一般市民も生活者の知恵として、科学の新しい分野に目を向けるべきだ。		
最大級	さいだいきゅう	the highest level
拠点	きょてん	site; base
暮らす	くらす	to live
愛称	あいしょう	term of endearment
務める	つとめる	to discharge one's duty
ノーベル物理学賞	ノーベルぶつりがくしょう	the Nobel prize for physics
受賞	じゅしょう	receiving a prize
～にあたって		at the time of ～
基地	きち	base
刺激　－する	しげき	stimulus
抱負	ほうふ	ambition

テレビ使いネット接続

放送がデジタル化すると、多チャンネルで高画質の番組が楽しめるほか、インターネットと連動した双方向通信サービスが可能になる。たとえばテレビの音楽番組を見て気に入れば、配信販売で購入することができるようになる。郵政省の計画では、すでにデジタル化されているCS（通信衛星）放送に続き、BS（放送衛星）、地上波も2010年までにアナログからデジタルに置き換わる。主要なケーブルテレビ（CATV）局も2005年までにデジタル化を完了する。日本では、インターネットに接続したくてもパソコンを使いこなせない人が多いが、これによりデジタル放送とインターネットの普及を促し、情報通信基盤の整備が一気に進むことになる。

ネット		Internet
接続　－する	せつぞく	connection
デジタル化	デジタルか	digitalization
高画質	こうがしつ	high resolution
番組	ばんぐみ	program
～ほか		besides ～; in addition to ～

・インターネットを使えば様々な情報が得られるほか、メール交換、電子商取引などに利用できる。

連動する	れんどうする	to link with
双方向	そうほうこう	both directions
通信衛星	つうしんえいせい	communication satellite
地上波	ちじょうは	terrestrial broadcast signal
アナログ		analog
置き換わる	おきかわる	to replace
完了する	かんりょうする	to complete
使いこなす	つかいこなす	to manage; master
促す	うながす	to urge; accelerate
基盤	きばん	base; foundation

パソコン部品　リユース拡大

大手情報機器メーカー各社が中古パソコン部品のリユース（再利用）を大幅に拡大する。早ければ来年にも施行される改正リサイクル法は、使用済みの製品を原料に戻すリサイクル（再資源化）だけでなく、部品の再利用の促進をメーカーに義務づけるものである。各メーカーはこれに対応して、中古パソコンのハードディスクの駆動装置や回路基盤、液晶パネルなどを取り出す保守、修理部品を2000年度に４倍強の５万点に増やしたり、中古部品を扱う米国の専門会社を通じて輸出を始めるなどのリユース体制の構築を急いでいる。

部品	ぶひん	parts
機器	きき	equipment
大幅	おおはば	substantial
早ければ	はやければ	at the earliest date

・M電器産業は早ければ来月にも、省資源やゴミ削減を目指す専門のプロジェクトチームを設置する。

施行する	しこうする	to enforce; put into effect
改正　－する	かいせい	amendment
使用済み	しようずみ	used
戻す	もどす	to return
促進　－する	そくしん	promotion
義務づける	ぎむづける	to assign a duty
～に対応して	～にたいおうして	to handle ～

・産業界は循環型社会に対応して、経営戦略を立て直す必要がある。

駆動装置	くどうそうち	driver
回路基盤	かいろきばん	circuit board
液晶パネル	えきしょうパネル	liquid crystal display
保守　－する	ほしゅ	maintenance
修理　－する	しゅうり	repair
扱う	あつかう	to deal with
構築　－する	こうちく	construction

米デュポンが新素材

米国の化学大手、デュポンは1938年に「クモの糸よりも細く、鉄よりも強い」を標語にナイロン繊維を発表し、それとともに合成繊維の時代が幕を開けた。だが、21世紀の飛躍のカギはライフサイエンス（生命科学）が握る。こうした時代の転換が、同社をクモの糸の研究に立ち戻らせた。クモの糸とそっくりな繊維を開発するためにクモの遺伝子の配列を解明し、コンピューターを使ってこれとそっくりな遺伝子を合成し、クモの糸のたんぱく質に似た物質（バイオシルク）を生成した。この物質を溶剤で溶かし、糸を紡いで繊維にする仕組みだ。新素材は社内で「スパイダーシルク」と呼ばれ、衣料品や宇宙・航空機分野での実用化を研究している。実物はまだ公開されていないが、デュポン関係者は「光沢が驚くほどそっくり」という。

素材	そざい	material
標語	ひょうご	slogan
繊維	せんい	fiber
合成　－する	ごうせい	synthesis
幕	まく	curtain
飛躍　－する	ひやく	leap; jump
カギを握る	カギをにぎる	to hold the key

・21世紀はクリーンエネルギーの開発が、環境問題解決のカギを握っている。

立ち戻る	たちもどる	to return
遺伝子	いでんし	gene
配列	はいれつ	arrangement
たんぱく質	たんぱくしつ	protein
生成する	せいせいする	to create; form
溶剤	ようざい	solvent
溶かす	とかす	to melt
紡ぐ	つむぐ	to spin
光沢	こうたく	luster
驚くほど	おどろくほど	surprisingly

森林浴、科学で実証

森林浴には昔から気分を落ち着かせる効果があると言われてきたが、最近の研究でこうした効果が科学的に裏付けられた。農水省森林総合研究所の研究によると、スギやヒノキなどの香りをかぐと血圧が下がり、脳を流れる血液量が減り、気分が落ち着く状態になることがわかった。屋久島（やくしま）の森林で行った試験でも、森林浴がストレスを減らすことを示すデータが得られた。森林浴といっても、必ずしもうっそうとした森に入る必要はない。並木道を歩いたり樹木が多い公園を散歩するだけでそう快な気分が味わえる。

森林浴	しんりんよく	experiencing a forest environment
実証　－する	じっしょう	actual proof
落ち着く	おちつく	to become calm
裏付ける	うらづける	to back up; to substantiate
農水省	のうすいしょう	Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
スギ		Japanese cedar
ヒノキ		Japanese cypress
香り	かおり	scent
血圧	けつあつ	blood pressure
脳	のう	brain
血液	けつえき	blood
状態	じょうたい	condition
～といっても		even if we say ～
必ずしも～ない	かならずしも～ない	not necessarily ～

・自然を復元したからといって、必ずしも生態系にいい影響を与えるとは限らない。

うっそうとした		thick; dense
並木道	なみきみち	tree-lined street
樹木	じゅもく	tree
そう快	そうかい	refreshing

4. 社　会

比較広告

比較広告は自社製品が競争相手の製品より優れている点を強調するのがねらいだ。米国では優位性が示されたデータをもとに競争相手をたたき、過激な広告を出す。しかし日本では自社製品の優位性ばかり強調すると、逆に消費者の反感を買う恐れがある。日本でのCMは自社製品を印象づけながらも、競争相手をあまり刺激しないよう穏やかなものにならざるを得ない。

比較広告	ひかくこうこく	comparative advertising
競争相手	きょうそうあいて	a competitor
優れる	すぐれる	to be superior
ねらい		aim
優位性	ゆういせい	superiority
～をもとに		based on ～
たたく		to attack; criticize
過激	かげき	extreme; radical
～ばかり		only ～
逆に	ぎゃくに	conversely
反感を買う	はんかんをかう	to arouse antipathy

・外国の市場に日本製品があふれると反感を買う恐れがある。

～恐れがある	～おそれがある	to be in danger of ～
印象づける	いんしょうづける	to impress
～ながらも		even while ～

・社長は積極的な経営方針を打ち出しながらも、従来の日本的経営のよさも強調した。

刺激する	しげきする	to stimulate
穏やか	おだやか	moderate
～ざるを得ない		must ～; cannot help but

・新聞や週刊誌の見出しは、人々の目を引くために大げさにならざるを得ない場合がある。

大げさ	おおげさ	exaggerated; overdone

阪神・淡路大震災

戦後たまたま大地震が起こらなかったため、地震の少ない地域とみられていた兵庫県南部を中心に、1月17日（1995年）午前5時46分ごろ直下型の強い地震が発生した。最も被害の大きかった神戸と淡路島の洲本では震度7（烈震）以上を記録し、建物が倒壊して住民が生き埋めになり、各地で火災が発生するなどの被害が続出した。この地震は死者3,769人を出した福井地震を上回り、戦後最大の震災となった。これを機に国や自治体の危機管理体制の不備が指摘され、政府は体制強化に本腰を入れ始めた。

震災	しんさい	earthquake disaster
直下型	ちょっかがた	earthquake directly above its epicenter
被害	ひがい	injury; damage; suffering
烈震	れっしん	violent earthquake
倒壊する	とうかいする	to fall down
生き埋めになる	いきうめになる	to be buried alive
死者	ししゃ	dead person
危機	きき	crisis
不備	ふび	deficiency
指摘する	してきする	to point out
本腰を入れる	ほんごしをいれる	to make a strenuous effort

・ウラン燃料施設の事故を機に、科学技術庁は全国の施設の調査に本腰を入れ始めた。

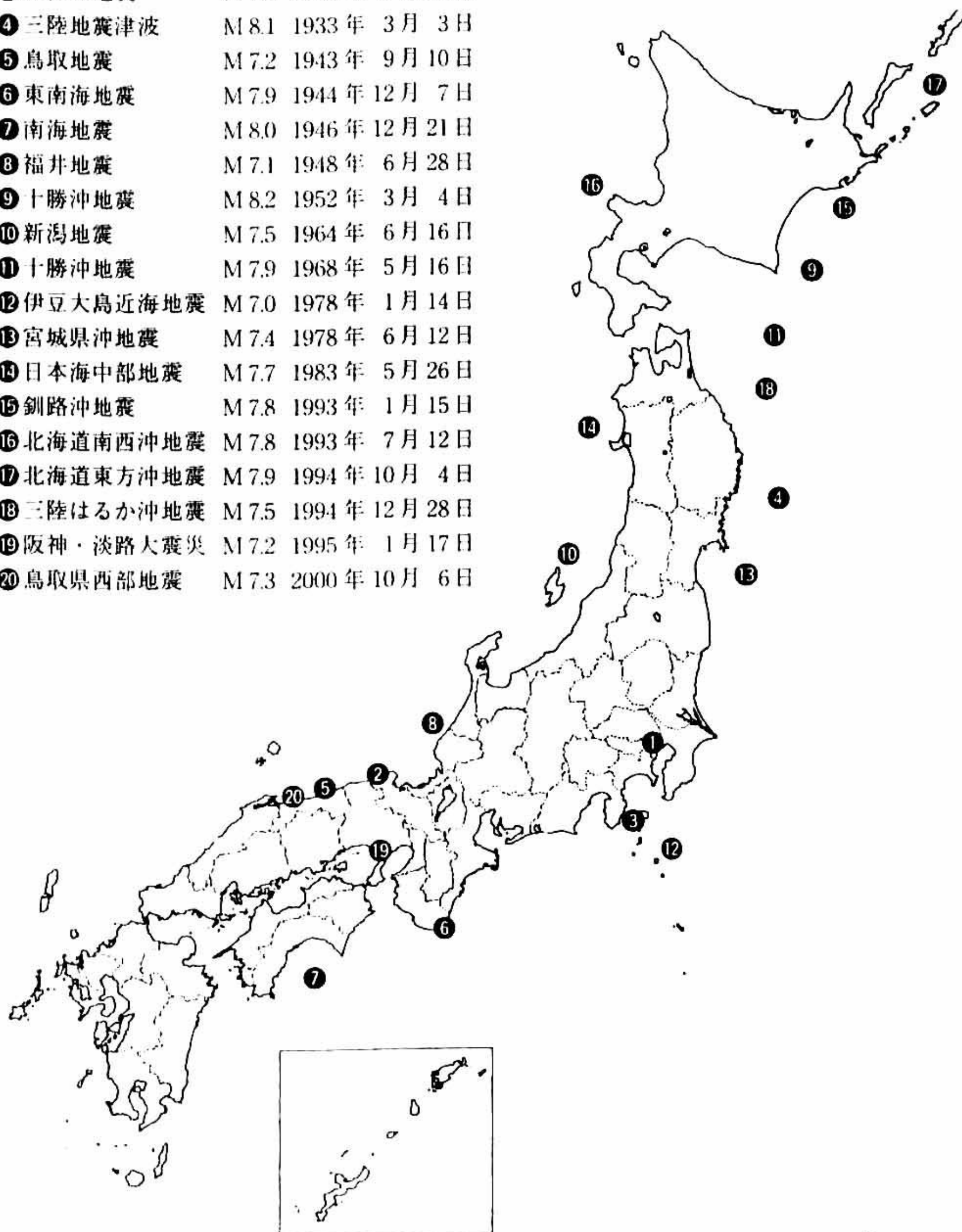
地震による被害

	兵庫	大阪	その他	合計
死者（人）	5,258	14	1	5,273
行方不明（人）	6	0	0	6
負傷者（人）	24,580	2,126	109	26,815
家屋損壊（棟）	87,557	20,521	1,386	109,464

（1995年2月7日午前0時45分現在、警察庁調べ）

行方不明	ゆくえふめい	missing
負傷者	ふしょうしゃ	injured person
家屋損壊	かおくそんかい	damaged houses
警察庁	けいさつちょう	the National Police Agency

関東大震災以降
M7.0 以上の地震被害

No.	地震名	規模	発生日
❶	関東大震災	M 7.9	1923年 9月 1日
❷	北丹後地震	M 7.3	1927年 3月 7日
❸	北伊豆地震	M 7.3	1930年 11月 26日
❹	三陸地震津波	M 8.1	1933年 3月 3日
❺	鳥取地震	M 7.2	1943年 9月 10日
❻	東南海地震	M 7.9	1944年 12月 7日
❼	南海地震	M 8.0	1946年 12月 21日
❽	福井地震	M 7.1	1948年 6月 28日
❾	十勝沖地震	M 8.2	1952年 3月 4日
❿	新潟地震	M 7.5	1964年 6月 16日
⓫	十勝沖地震	M 7.9	1968年 5月 16日
⓬	伊豆大島近海地震	M 7.0	1978年 1月 14日
⓭	宮城県沖地震	M 7.4	1978年 6月 12日
⓮	日本海中部地震	M 7.7	1983年 5月 26日
⓯	釧路沖地震	M 7.8	1993年 1月 15日
⓰	北海道南西沖地震	M 7.8	1993年 7月 12日
⓱	北海道東方沖地震	M 7.9	1994年 10月 4日
⓲	三陸はるか沖地震	M 7.5	1994年 12月 28日
⓳	阪神・淡路大震災	M 7.2	1995年 1月 17日
⓴	鳥取県西部地震	M 7.3	2000年 10月 6日

選手の肖像権

プロスポーツ界で肖像権をめぐるせめぎ合いが活発になっている。スポーツ漫画、テレビ番組などビデオの二次使用、テレビゲームソフトなどの肖像権のあり方、そこから生まれる報酬をどう分配するのか、など論議のタネは尽きない。なかでもゲームソフトに関しては球団名、ユニホームなどの使用料として、3億6千万円を球界にもたらした例もあり、肖像権は新たな権利ビジネスになっている。本来個人に属するはずの肖像権を所属団体にすべて預けることに、疑問を感じる選手もいる。ユニホームを着ている場合は個人ではないが、私服の場合は肖像権は自分に帰属するはずと団体に訴えたそうだ。

選手	せんしゅ	player
肖像権	しょうぞうけん	one's portrait rights
～をめぐる		to concern with ～

・オリンピックの招致活動疑惑をめぐって、IOC委員が来日することになった。

招致　－する	しょうち	inviting; attracting
疑惑	ぎわく	suspicion

せめぎ合い	せめぎあい	dispute; attacking each other
二次	にじ	secondary
あり方	ありかた	the way that it should be
報酬	ほうしゅう	remuneration
分配する	ぶんぱいする	to divide
タネ		topic
尽きる	つきる	to be exhausted; end
球界	きゅうかい	baseball world
もたらす		to bring
属する	ぞくする	to belong to
私服	しふく	plain clothes
帰属する	きぞくする	to revert to; belong to
訴える	うったえる	to complain

左利き「個性」と考え楽しもう

多勢に無勢―例えば右利きと左利き。日本では右利きが圧倒的に多いため、はさみ、缶切り、オフィス機器、パソコンのマウス、駅の改札口など専ら右利き用にできている。その分左利きは不便な暮らしを強いられているわけだ。しかし最近は、はさみや包丁はもちろん、左回しのコルク抜き、左手用きゅうす等、様々な左利きグッズが市販されている。右手を使うように親に矯正された経験を持つ人も多いだろうが、無理に利き手を変えようとすると子供に強いストレスを与えるという指摘もある。利き手は脳の高い機能の反映で、人間らしさと結びついた個性なのだ。

左利き	ひだりきき	left-handedness
個性	こせい	one's personality
多勢に無勢	たぜいにぶぜい	outnumbered
圧倒的	あっとうてき	overwhelmingly
缶切り	かんきり	can opener
機器	きき	apparatus; equipment
改札口	かいさつぐち	ticket gate
専ら	もっぱら	wholly
その分	そのぶん	to that extent

・左手が右手と同じように使えれば、その分いろいろな面で有利になる。

強いる	しいる	to force
～わけだ		～ is the case
包丁	ほうちょう	kitchen knife
コルク抜き	コルクぬき	corkscrew
きゅうす		teapot
市販する	しはんする	to market
矯正する	きょうせいする	to reform; correct
指摘　－する	してき	indication
利き手	ききて	one's dominant hand
脳	のう	brain

回転寿司、低価格に拍車

手軽に遊び感覚で食べられる回転寿司が、不況下でも好調に売上を伸ばしている。今までネタによって価格を設定しているのが普通だったが、ここにきて、ネタの種類を問わず、価格体系を一本化したチェーン店が現れ始めている。ウニなど高級品も冷凍食材を使用することで、値下げが実現した。高価なイメージがつきまとう食材も一段と手ごろな価格で食べられるとあって、家族連れやサラリーマンらに受けているようだ。

回転寿司	かいてんずし	sushi served via a conveyor belt
低価格	ていかかく	low price
拍車	はくしゃ	spur
・海外でも健康志向から、日本食レストランの進出に拍車がかかっている。		
手軽	てがる	reasonable
感覚	かんかく	sense; feeling
不況	ふきょう	depression; recession
好調	こうちょう	good condition
ネタ		item
設定する	せっていする	to define; set
ここにきて		at this point
～を問わず	～をとわず	without regard to ～
・寿司は年齢、性別を問わず、日本人に人気がある。		
体系	たいけい	system
ウニ		sea urchin
冷凍　－する	れいとう	freezing
食材	しょくざい	food materials
一段と	いちだんと	more
～とあって		in that ～
・駅前の中華料理店のランチは1,000円で食べ放題とあって、連日にぎわっている。		
家族連れ	かぞくづれ	family party

国際化の波

国境を越えた人の流れは、その時代の国力を反映するといわれる。現在、日本にはさまざまな目的で年間400万人近い人が入国してくる。観光など短期滞在が約350万人でその大半を占めてはいるものの、ビジネスや就労目的の入国者が3万8,000人、投資、経営3万人、企業内転勤2万7,000人、教育1万7,000人、技術2万9,000人となっている（'98 1.31 現在）。観光ビザで入国した人々の中には資格外活動を行う不法就労者も増加し、1997年末時点で約30万人を超えている。いずれにしても国際交流が進めば日本で就労する外国人、留学生の受け入れは日本にとって大きな課題となる。

国際化　－する	こくさいか	internationalization
波	なみ	wave
国境	こっきょう	national borders
流れ	ながれ	flow; current
反映する	はんえいする	to reflect
短期滞在	たんきたいざい	short-term stay
大半	たいはん	majority
占める	しめる	to occupy
～ものの		although

・日本への留学生は年々増えているものの、受け入れ態勢はまだ整っていない。

就労　－する	しゅうろう	engaging in work
転勤　－する	てんきん	transfer
資格	しかく	status; qualification
不法	ふほう	illegal
いずれにしても		either way; in any case

・いずれにしても日本の大学は、21世紀に向けて世界共通の基準に合った内容に改めるべきだ。

受け入れ	うけいれ	acceptance
課題	かだい	problem to be solved

買売春は認められるか

性産業が多様化し、市場を広げるなか、「売春は女性への暴力である」という考えは根強いが、一方では「売春を労働として認めた方が人権を守れるのではないか」という論議まで出てきた。風俗関連営業の登録店舗数はここ数年微減しているが、テレクラ、ホテトルなどはその実態がつかめないほど多様化し拡大している。売春防止法（1956年公布、57年4月施行） 施行から41年、性を巡る新たな問いかけである。ちなみに男性を対象にしたある調査によると、25歳以上で買春経験者は52%。うち70%がソープランドで経験している。81%が買売春とカネの介在しない関係の違いを認め、55%が買春経験をパートナーには隠すとしている。

買売春	かいばいしゅん	prostitution
認める	みとめる	to recognize
性産業	せいさんぎょう	sex industry
暴力	ぼうりょく	violence
根強い	ねづよい	deeply rooted

・日本の社会では依然として男性優位の考えが根強い。

論議	ろんぎ	discussion
風俗	ふうぞく	entertainment and sex business
登録 －する	とうろく	registration
微減する	びげんする	to go down a little
テレクラ		telephone club
ホテトル		engaging in prostitution at a hotel
防止法	ぼうしほう	prevention law
～を巡る	～をめぐる	concerning ～
ちなみに		by the way; incidentally
ソープランド		"soap land"; massage parlor
介在する	かいざいする	to lie between
隠す	かくす	to hide

「自国に誇り」日本人は6位

「国民は自国に誇りを感じているかどうか」1995年、シカゴ大学が米国、ロシア、日本、ニュージーランドなど世界23カ国の計2万8,000人余りを対象に実施した調査によると、次のようなことが明らかになった。質問は政治、スポーツ、芸術など個別分野について尋ねるものと、全般的な感じ方を探るものの2種類。双方の結果を平均すると、トップは米国、オーストラリア、カナダ、アイルランド、ニュージーランドが続き、日本は6位。「ほかのどの国より自国の国民でありたい」と考える人は米国が90%で1位、日本は88%で2位だった。

自国	じこく	one's country
誇り	ほこり	pride
～余り	～あまり	over ～
～を対象に	～をたいしょうに	convering ～
実施する	じっしする	to put into effect
調査　－する	ちょうさ	investigation; study
～によると		according to ～
明らか	あきらか	clear
政治	せいじ	politics
芸術	げいじゅつ	art
個別	こべつ	individual
分野	ぶんや	field
尋ねる	たずねる	to ask
全般的	ぜんぱんてき	overall; general
探る	さぐる	to investigate
双方	そうほう	both sides
結果	けっか	result
平均する	へいきんする	to average
～でありたい		to want to be ～

・暗い話題が多い時代だといっても、夢と情熱を忘れない日本人でありたい。

みんなにやさしい駅づくり

ここ数年、だれにもやさしい駅づくりを目指し、エレベーター、スロープ、車椅子用トイレなどの設置を進める駅が増えている。そんななか、いち早く「やさしい駅」に生まれ変わったのが、阪急電鉄の伊丹駅。エレベーターの設置、車椅子を考慮した低い位置の券売機、普通より幅の広い自動改札、磁気シールで触れると音声案内が流れる点字誘導タイルなど、地元の障害者の意見を取り入れて、つくりかえたという。ちなみに運輸省の1998年3月の調査によると、JR、地下鉄、大手私鉄の計6,948駅のうち、エレベーターがあるのは625駅の9％、エスカレーターがあるのは1,128駅の16％。

目指す　めざす　to aim
車椅子　くるまいす　wheelchair
いち早く　いちはやく　quickly

- 阪神大震災の際、いち早く現場にかけつけたのはボランティアネットワークの人々だった。

考慮する　こうりょする　to consider
券売機　けんばいき　automatic ticket vending machine
幅　はば　width
改札　かいさつ　ticket gate
磁気シール　じきシール　magnetic seal
触れる　ふれる　to touch
音声案内　おんせいあんない　voice instructions
点字　てんじ　braille
誘導　－する　ゆうどう　instruction
地元　じもと　local
障害者　しょうがいしゃ　physically handicapped
ちなみに　by the way; incidently

- NPOの活動が日本でもクローズアップされるようになった。ちなみにNPO法人の中で一番多いのは保健・医療または福祉の活動だ。

運輸省　うんゆしょう　Ministry of Transport

NIE とは

NIE は NEWSPAPERS IN EDUCATION の略称で 1950 年代に始まった運動。日本でも「教育に新聞を」と訳され、教育界と新聞界が一体となって運動を展開している。ある小学校 6 年の教室。その朝届いた複数の新聞からトップニュースを探す。子供たちが選ぶトップニュースは必ずしも新聞社のトップニュースと同じではない。子供たちは選んだ記事の要旨や感想を述べたり、むずかしい内容は『知恵蔵』や『イミダス』で調べたりして記事について討論する。児童のディベート授業に対する評価は「とても楽しい」などの肯定派が圧倒的に多い。新聞は教材の宝庫だ。

略称	りゃくしょう	abbreviation
訳す	やくす	to translate
～界	～かい	～ world
展開する	てんかいする	to develop
届く	とどく	to arrive: be received
複数	ふくすう	plural
探す	さがす	to look for
必ずしも～ない	かならずしも～ない	not necessarily ～

・各新聞社が一面のトップで扱う大ニュースは必ずしも同じではない。

要旨	ようし	outline
感想	かんそう	one's impression
『知恵蔵』	ちえぞう	annual almanac-type
『イミダス』	イミダス	reference books
討論する	とうろんする	to discuss
児童	じどう	children
評価　－する	ひょうか	evaluation
肯定派	こうていは	affirmative group
圧倒的	あっとうてき	overwhelming
教材	きょうざい	teaching materials
宝庫	ほうこ	treasure house

ジャーナリストとは

「21世紀のアジア」を語る国際シンポジウムで、ある日本の新聞社の論説顧問は「日本での報道の自由」についての質問に対して「日本の新聞は米国と並んでおそらく世界で最も自由だと思う。情報を取りやすいという点では米国以上かもしれない。例えば首相が朝から夜までだれに会ったかということは全部紙上に公開されるし、記者は重要な政治家、役人の自宅に夜回りし、情報交換ができる。そして権力者を自由に批判することも出来る。」と答えた。ある外人記者は「報道は伝え方によっては誤解を与える場合もある。記者はどうしても取材しやすい記事を回数多く載せ、評論しがちだ。あくまでも読者の側にたって客観的で公正な報道をするよう心がけなければならない。」と述べた。

論説顧問	ろんせつこもん	editorial
報道　－する	ほうどう	news; reports (via media)
～と並んで	～とならんで	equal to ～

・サッカーは野球と並んで、人気スポーツ番組になった。

～という点では	～というてんでは	from the viewpoint of
公開する	こうかいする	to open to the public
夜回りする	よまわりする	to go on one's rounds at night
交換　－する	こうかん	exchange
権力者	けんりょくしゃ	person of power
批判する	ひはんする	to criticize
誤解　－する	ごかい	misunderstanding
論評する	ろんぴょうする	to review; comment
～がち		to tend to ～

・世界のトップニュースでも10日もすると、人々の関心はうすれがちだ。

客観的	きゃっかんてき	objective
公正	こうせい	fair
心がける	こころがける	to endeavor to

新聞記事は……

新聞の記事は、読み手に一定の知識の蓄積がないとよく理解することが出来ないことが多い。特に政治や経済面や金融関係の記事は、企業サイドからの情報が中心であったり、新聞によってはかたよっている場合がある。もっと一般読者にもわかりやすい中立の立場の解説があれば経済の動向が身近に感じられるのだが……。また新聞はその日その日のニュースを追うのが使命とされるため、たまたまトップを飾るような大ニュースが同じ日に三つあると、限られたスペースに押し込むために重大ニュースなのに小さく扱われる場合もある。

記事	きじ	article
一定	いってい	certain; uniform; standard
知識	ちしき	knowledge
蓄積　－する	ちくせき	accumulation
金融　－する	きんゆう	finance
一般	いっぱん	ordinary
中立	ちゅうりつ	neutrality
解説　－する	かいせつ	commentary
動向	どうこう	movement; trend
身近	みぢか	familiar
追う	おう	to pursue
使命	しめい	mission
たまたま		by chance
トップ		top; headline
飾る	かざる	to be displayed
・ノーベル賞受賞決定のニュースが新聞の第1面を飾った。		
押し込む	おしこむ	to squeeze in
重大	じゅうだい	important
扱う	あつかう	to deal with; handle

スクープ

新聞をはじめとするマスメディアが産業として発達するにつれて、特ダネを追う一匹狼的な記者が少なくなった。その分紙面をにぎわすスクープものが減り、発表ものの記事が増えた。しかしそんな現状に危機感を持つジャーナリストもある。スクープが価値を持つのは政治や企業が隠したがる情報をすっぱ抜いて、その秘密の真の意味を読者に考えさせ、ひいては世論を動かすからだ。実際、ウォーターゲートやリクルート事件は特ダネとして大きな意義を持った。

スクープ		scoop
マスメディア		mass media
～につれて		along with ～
・衛星テレビの普及につれて、ジャーナリズムが変わっていく。		
特ダネ	とくダネ	a scoop; exclusive news
一匹狼	いっぴきおおかみ	lone wolf
記者	きしゃ	journalist
その分	そのぶん	to that extent
にぎわす		to enliven
～もの		～ type
危機感	ききかん	sense of crisis
価値	かち	value
隠す	かくす	to hide
すっぱ抜く	すっぱぬく	to expose; uncover; reveal
秘密	ひみつ	secret
真の	しんの	true
ひいては		in turn
・政治献金を規制することは、ひいては政治腐敗を防止することになる。		
政治献金	せいじけんきん	political contributions
腐敗　－する	ふはい	corruption
世論	せろん	public opinion

危うし東京の商店街

東京都内の小売店の3割以上が、後継者がいないため廃業を余儀なくされていることが、都が2000年6月に発表した今年度版の「都中小企業経営白書」でわかった。後継者が決まらず困っている店まで含めると、4割が廃業の瀬戸際にあることになる。廃業予定の割合が高いのは生鮮食品店43.5%や衣料品店38.9%。創業の時期を見ると昭和30年代（1955～1964）が最も多く、経営者の平均年齢は61.3歳と高齢に達している。価格破壊が進み、大規模スーパーやコンビニも参入して地域の商店は収益が上がらない。このまま身近な小売店が衰退すると、お年寄をはじめ都民生活に大きな影響が出そうだ。

危うい	あやうい	unsafe
商店街	しょうてんがい	shopping street
小売店	こうりてん	retail store
後継者	こうけいしゃ	successor
廃業　－する	はいぎょう	going out of business
～を余儀なくされる	～をよぎなくされる	to be forced to～

・事業を拡大し過ぎた大手百貨店は、赤字店舗の閉店を余儀なくされた。

～版	～ばん	～edition
含める	ふくめる	to include
瀬戸際	せとぎわ	critical moment

・親会社の業績不振で、駅前のスポーツクラブは閉鎖の瀬戸際にある。

生鮮食品	せいせんしょくひん	perishable foods
衣料品	いりょうひん	clothing
創業　－する	そうぎょう	inauguration of an enterprise
高齢	こうれい	advanced age
破壊　－する	はかい	destruction
大規模	だいきぼ	large scale
身近	みぢか	familiar
衰退する	すいたいする	to be on the decline

5．文　化

異文化間コミュニケーション

文化の異なる人々の行動や価値観にはそれぞれ固有なパターンがある。異文化間コミュニケーションのむずかしさは実はそこにある。外国語を学ぶ時、正しい発音、文法の習得だけでなく、その言語を話す人々の文化的背景も学ぶべきだ。そうしないと思わぬ誤解をまねいたり、相手を不愉快にさせたりする。言葉と文化が国境を越えるのは生やさしいことではない。日本語は論理的な思考に向かない言語なのではないかという指摘を耳にするが、長い歴史と文化の中で育まれた言葉にはそれなりのむずかしさ、奥の深さがある。

異文化	いぶんか	different culture
行動　－する	こうどう	behavior
価値観	かちかん	sense of values
固有	こゆう	characteristic
実は	じつは	in fact

・日本人は無宗教だと言われているが、実はそう単純ではない。

背景	はいけい	background
思わぬ	おもわぬ	unexpected
誤解　－する	ごかい	misunderstanding
～をまねく		to cause ～

・意見を述べる時は、誤解をまねかないよう正確に話す努力が必要だ。

不愉快	ふゆかい	displeasure; unpleasantness
国境	こっきょう	border
生やさしい	なまやさしい	easy
論理的	ろんりてき	logical
向く	むく	to be fit for
指摘　－する	してき	indication
～を耳にする	～をみみにする	to hear
育む	はぐくむ	to develop
それなり		its own

・外国に住みその社会に溶け込むには、それなりの努力が必要だ。

マンガ「サザエさん」海外へ

これまで日本語でしか読めなかった「サザエさん」が「対訳サザエさん」全12巻としてK社インターナショナルから刊行された（1997年）。「サザエさん」は、日本で最も有名な新聞連載マンガで朝日新聞社刊の文庫本はすでに発行部数6,200万部という国民的マンガだ。主人公であるサザエさんは超能力者でもなければ天才でもない、ごく普通のサラリーマンと結婚した平凡な主婦。そんなサザエさんが繰りひろげるユーモアあふれる庶民のくらしは、生きた日本社会や戦後の日本人の生活を知る絶好のテキストだ。翻訳者は在日37年のイギリス生まれのジュールス・ヤング氏。欄外にはお正月、こいのぼり、忘年会など日本独特の行事・習慣の英語解説もついている。

マンガ		cartoon; comic
対訳　－する	たいやく	translation
連載　－する	れんさい	serialization
文庫本	ぶんこぼん	pocket paperback edition
主人公	しゅじんこう	hero; main character
超能力	ちょうのうりょく	supernatural power
～でもなければ～でもない		neither ～ nor ～

・郷土の詩人を育てたのは、親でもなければ学校でもなかった。故郷の豊かな自然だった。

平凡	へいぼん	commonplace; ordinary
繰りひろげる	くりひろげる	to show; unfold
ユーモア		humor
あふれる		to overflow
庶民	しょみん	common people
絶好	ぜっこう	best
翻訳者	ほんやくしゃ	translator
欄外	らんがい	margin
忘年会	ぼうねんかい	year-end party

擬声語・擬態語

外国人が日本語を習う時、理解しにくい表現に擬声語、擬態語がある。例えば「かんかんに怒る」を英語に訳すと、very angryでいいのだが、『かんかん』という語感を的確に英語に移そうと思うと難しい。「にこにこ笑う」はsmileでいいが、「げらげら笑う」は同じ「笑う」でもsmileは使えない。「世界の人口は1950年頃までは横ばいだったのが、このころからぐんぐん爆発的に増えだした。このまま『どんどん』増えていくとどうなるか」――この『ぐんぐん』とか『どんどん』はともに増加する様相を気分で表そうとする表現だが、英語にするとrapidlyあるいはsteadilyと具体的な副詞の表現になってしまう。こんなところにも、感覚に頼りがちな日本語と具体的な英語の違いが表れているようでおもしろい。

擬声語	ぎせいご	onomatopoeic word
擬態語	ぎたいご	mimetic word
表現　－する	ひょうげん	expression
訳す	やくす	to translate
語感	ごかん	linguistic sense
的確	てきかく	precise
げらげら笑う	げらげらわらう	to have a horselaugh
横ばい	よこばい	leveled off; stable
爆発的	ばくはつてき	explosive
様相	ようそう	situation
気分	きぶん	feeling; sentiment
具体的	ぐたいてき	concrete
副詞	ふくし	adverb
感覚	かんかく	sense
頼る	たよる	to depend on
～がち		to be apt to～

・日本人は外国語を学ぶ時、文法が一番大切だと考えがちだ。

同じ漢字でも違う意味

中国と日本は古くから交流があり、漢字文化という点で共通点も多く中国人と日本人は同文同種だと思っている人が多い。しかし、注意しなければならないのは、同じ漢字を並べた熟語でも全く意味の違う場合が少なくないことだ。例えば「手紙」は中国語ではトイレットペーパーの意味だ。同様に「出世」は日本語では地位が上がることに使われるが、中国語ではこの世に生まれることだ。「前年」は日本語ではある時点を基準としてすぐ前の年だが、中国語では一昨年の意味になる。この意味の違いは、相手に通じないならまだしも、相手の感情を害することにもなりかねない。

交流　－する	こうりゅう	exchange; interchange
～という点で	～というてんで	with respect to the point ～
・日本語は漢字の読み方の多さという点で、中国語よりやっかいだ。		
共通点	きょうつうてん	point in common
同文同種	どうぶんどうしゅ	same script, same race
熟語	じゅくご	word written with more than one kanji
少なくない	すくなくない	not a few
同様	どうよう	the same way
出世　－する	しゅっせ	promotion
地位	ちい	position; status
基準	きじゅん	standard
一昨年	いっさくねん	the year before last
相手	あいて	person one is speaking to
通じる	つうじる	to be understood
～ならまだしも		not only ～
・最近は、子供ならまだしも、大人でもはしの使い方が悪い日本人が増えている。		
感情	かんじょう	feelings
害する	がいする	to hurt
～かねない		to be possible to ～

漢字圏

漢字は象形文字から発達して4,000年の歴史を持つ世界でも数少ない表意文字だ。中国だけでなく日本、韓国、台湾、シンガポールなど経済が急成長したアジアの地域はすべて漢字圏に属している。現在、中国、朝鮮半島からベトナムまで漢字圏の人口は15億近い。世界がインターネットで結ばれる時代、英語と並行してコンピューターで漢字が簡単に処理できるようになり、漢字圏も相互理解・文化交流の手段や材料として漢字を活用しないでおく手はない。

漢字圏	かんじけん	area in which Chinese characters are used
象形文字	しょうけいもじ	hieroglyph
歴史	れきし	history
表意文字	ひょういもじ	ideogram; ideograph
～だけでなく		not only ～
地域	ちいき	area; region
属す	ぞくす	to belong to
朝鮮半島	ちょうせんはんとう	Korean Peninsula
億	おく	one hundred million
並行する	へいこうする	to be parallel with

・日本の外国語教育は英語と並行して中国語、韓国語などを加え、多様化する必要がある。

処理する	しょりする	to process
相互理解	そうごりかい	mutual understanding
文化交流	ぶんかこうりゅう	cultural exchange
手段	しゅだん	means
材料	ざいりょう	material
活用する	かつようする	to make the most of
～ないでおく手はない	～ないでおくてはない	should definitely ～

・日本語の学習に新聞を活用しないでおく手はない。

外国の和食

ヒューストンでの昼食時、店内は大混雑。標準的なところでカツ丼にしよう。出てきたカツ丼からは、あの甘いにおいがプーン。が、待てよ。見慣れない色がカツの表面に見える。グリーンピースの緑はわかる。だが、赤は何だ。ニンジンの角切りだ。黄色はスイートコーン、空豆もある。冷凍食品でおなじみの「ミックスベジタブル」がカツ丼と共に卵でとじてあったのだ。御飯にとっかかって、またはしが止まる。カツの下から姿を現したのはチャーハンであった！せめて、下は白い御飯だったらよかったのに……。

和食	わしょく	Japanese food
昼食	ちゅうしょく	lunch
混雑　－する	こんざつ	crowded
カツ丼	カツどん	a bowl of rice with a breaded and fried pork cutlet on top
見慣れる	みなれる	to be familiar
だが		but
角切り	かくぎり	cut into cubes
空豆	そらまめ	kidney bean
冷凍食品	れいとうしょくひん	frozen food
おなじみ		familiar
卵でとじる	たまごでとじる	to cook with eggs
とっかかる		to begin; to start
姿	すがた	figure
現す	あらわす	to appear
チャーハン		Chinese fried rice
せめて		at least

・朝食をとる暇がなければ、せめて野菜ジュースだけでも飲んだほうがいい。

～たらよかったのに……　　I wish ～.

・駅前でばったり旧友に会ったが、時間がなくてそのまま別れた。せめてお茶ぐらい飲めたらよかったのに……。

個の時代

繁華街の人込みの中を歩くと、人と人がぶつかったりかばんが引っかかったり、足を踏んだり踏まれたりする。こんな時お互いに一言「失礼」とか「ごめんなさい」とか言えば気持ちが和む。なのに最近は一言のわびもないことが多い。都市化、情報化、ハイテク化が進むにつれて人間関係は希薄になり、見知らぬ人への思いやりが薄れてきたのだろうか。家庭内でも家族がそれぞれ自分の時間帯に合わせて生活するようになり、食事時間もばらばらで一家団らんはテレビのホームドラマの中だけという時代になっては寂しい。

繁華街	はんかがい	busy section of the city
人込み	ひとごみ	crowd of people
ぶつかる		to hit against; collide
引っかかる	ひっかかる	to be caught on
踏む	ふむ	to step on
一言	ひとこと	a word
「失礼」	「しつれい」	“Excuse me.”
～とか～とか		～, ～, and so on

・テレビゲームとかビデオとか、余暇を画面の前で過ごす人が増えている。

和む	なごむ	to calm down; be softened
なのに		however
わび		apology
～化　-する	～か	tendency to ～; growth of ～
希薄	きはく	thin; rare
思いやり	おもいやり	sympathy; mutual consideration
薄れる	うすれる	to lessen; diminish
時間帯	じかんたい	time zone
ばらばら		separated; scattered
一家団らん	いっかだんらん	happy family group
ホームドラマ		home drama; domestic drama
寂しい	さびしい	lonely

2カ国語教育

お互いに文化に違いがあっても理解はできるはず。そのきっかけをつくるのが相手の言葉を学ぶことだ。米国の首都ワシントン近郊のバージニア州には日本語と英語の2カ国語教育(イマージョン・プログラム)を導入している小学校がある。算数と理科、保健の3教科を、アメリカに定住して教師の資格を得た日本人や、文部省が派遣した日本の教師が日本語で担当する。外国語コーディネーターのマーサさんは「日本語のような、英語とはかなり異なる言語を幼い時から学ぶことで、集中力や言葉を聞きとる力、広い心がつちかわれる」と強調する。

～はず		ought to ～
きっかけ		chance

・タイとの技術交流がきっかけで、タイ語を学んだ。

導入する	どうにゅうする	to introduce
算数	さんすう	arithmetic; mathmatics
理科	りか	science
保健	ほけん	health education
定住する	ていじゅうする	to settle down
資格	しかく	qualification
文部省	もんぶしょう	Ministry of Education
派遣する	はけんする	to dispatch
担当する	たんとうする	to take charge
異なる	ことなる	to differ
幼い	おさない	very young
～ことで		by ～

・外国に留学することで、その国に対する理解が一層深まる。

集中力	しゅうちゅうりょく	concentration ability
つちかう		to cultivate; foster

米を食べる米国人

米国コメ協議会が、2,700世帯を対象に実施した調査結果によると、米国で、週に少なくとも１回はコメを食べる家庭が、15年前の46%から約75%に増えた。米国では、コメは栄養分はあるが、カロリーが低いので太らないとされ、健康志向の高まりで人気を集めている。同調査によると、85%以上の家庭がコメを購入している、という。料理の多様性や値段が安いことから、レストランでもよく見かけるようになり、回答者の75%が「エスニック料理として興味を持ち、食べたことがある」という。

協議会　きょうぎかい　council
世帯　せたい　household
対象　たいしょう　object; subject
実施する　じっしする　to implement
少なくとも　すくなくとも　at least
栄養分　えいようぶん　nutriment
〜とされる　it is thought that 〜
・有機野菜は体に良いとされ、割高でも健康に関心のある人々の間で人気を呼んでいる。
健康志向　けんこうしこう　health orientation
高まり　たかまり　rise
購入する　こうにゅうする　to purchase
多様性　たようせい　diversity
〜ことから　because 〜
・回転ずしは、味はともかくアイデアがおもしろいことから人気を集めている。
見かける　みかける　to catch sight of; find
・最近は外国でも日本食のレストランをよく見かけるようになった。
回答者　かいとうしゃ　answerer; respondent
エスニック料理　エスニックりょうり　ethnic cuisine
興味　きょうみ　interest

ラテン化する？日本

今、日本には中南米から日系２世、３世を中心に20万人前後が入国して働いている。この人たちは情が厚く楽天家で、日本人が忘れかけている大事なものを持ち込んでくる。日本人とは違うラテン系の人々のおおらかな生き方が、若い人に共感を持たれている。都内のブラジルレストランは不況下でも連日若者が列をなす。ブラジル人のバンドが入り、カーニバル音楽に合わせて、客も一緒に踊る。わいわいがやがや見知らぬ隣り同士もすぐ打ちとける。もともと日本人は、合理主義のアングロサクソンよりむしろラテンに近いのかもしれない。

ラテン化する	ラテンかする	to be Latinized
中南米	ちゅうなんべい	Central and South America
日系	にっけい	of Japanese descent
情が厚い	じょうがあつい	warmhearted
楽天家	らくてんか	optimist
忘れかける	わすれかける	to be on the point of forgetting
持ち込む	もちこむ	to bring into
おおらか		broad-minded
共感	きょうかん	sympathy
不況下	ふきょうか	in a recession
連日	れんじつ	every day
列をなす	れつをなす	to be in a line
わいわいがやがや		noisily; boisterously
見知らぬ	みしらぬ	strange; unknown
打ちとける	うちとける	to become friendly to each other
もともと		originally; by nature
合理主義	ごうりしゅぎ	rationalism
～よりむしろ		more than ～

・日本人でも外国に長く住んでいると、日本料理よりむしろその土地のもののほうが好きになる。

日本に魅せられ若女将に

ロサンゼルス生まれのアンナさんは、英語指導助手として来日し、宮城県に赴任した。その時スキーのコーチで温泉旅館7代目の御主人と知り合い結婚し、温泉旅館の若女将になった。この温泉街は江戸時代から続く、ひなびた小さな湯治場だ。アンナさんは「この風土こそ古くて美しい日本文化の姿そのもの」と、その魅力のとりこになった。初めは言葉やしきたりの違いから失敗やとまどいもあったが、持ち前の明るさと行動力で今では面倒な和服の着付けも10分で仕上げ、予約電話の応対から掃除、料理、布団の上げ下げにいたるまですっかり身に付いた。アンナさんは街全体についても「旅館の人たちとお客様が力を合わせて美しい環境を守っていければ」とさわやかなファイトを燃やしている。

魅せられる	みせられる	to be charmed; captivated

・山に魅せられたワンダーフォーゲル部OBのグループが、史上最年長でチョモランマ登頂に成功した。

若女将	わかおかみ	young proprietress
指導助手	しどうじょしゅ	teaching assistant
赴任する	ふにんする	to leave for a new post
ひなびた		rustic
湯治場	とうじば	resort for hot-spring cure spot
風土	ふうど	climate
そのもの		the very thing

・初めて茶道を経験する留学生たちは、真剣そのものだった。

とりこ		slave
しきたり		tradition
とまどい		puzzlement
持ち前	もちまえ	natural; inate
行動力	こうどうりょく	energy; vitality
面倒	めんどう	troublesome
身に付く	みにつく	to master

垣間見たコメの源流　中国・雲南省

ラオス、ミャンマーとの国境に接する中国・雲南省の西双版納(シーサンパンナ)タイ族自治州には、広大な水田地帯が広がる。両足を踏ん張り、腰をかがめて苗を一本一本植える田植えのポーズは、日本と少しも変わらない。市場には、日本の赤飯に似た食感と味わいの紫米(ズーミー)、粉にしたもち米から作った「ちまき」、日本で食べる平べったい「あんもち」のようなもの、葉菜類や豆腐、キノコ、白米などが所狭しと並べられている。大陸から日本へ伝わった稲作の起源をめぐっては諸説あるが、その一つに挙げられるこの地には、日本とよく似たコメ食文化が色濃く残る。

垣間見る	かいまみる	to catch a glimpse of
源流	げんりゅう	source; origin
自治州	じちしゅう	self-governing province
水田	すいでん	rice paddy
踏ん張る	ふんばる	to brace one's legs
かがめる		to bend
苗	なえ	seedling
味わい	あじわい	taste
粉	こな	powder
もち米	もちごめ	glutinous rice
平べったい	ひらべったい	flat
あん		bean paste
所狭しと	ところせましと	in a crowded fashon
・農村の朝市には、とれたての野菜や果物が、所狭しと並んでいる。		
稲作	いなさく	rice crop
起源	きげん	beginning; origin
～をめぐって		concerning ～
・食品メーカーは、新商品をめぐって販売合戦が盛んだ。		
諸説	しょせつ	various views
色濃く	いろこく	deeply

揺れる日本の漢字

日本の漢字は使用の目安として、戦後まもない1946年11月に内閣告示で1,850字が公布された。その後1981年には改めて1,945字が告示され、常用漢字として現在一般社会生活に広く使用され、義務教育もこれに準拠して行われている。漢字は中国から日本に伝来し、数や、字体や、読み方など長い歴史と文化を背景に持つ複雑なものだ。その漢字がワープロやパソコンの普及で揺れている。1978年日本工業規格は、JIS漢字としてワープロやパソコンなどで使用できるよう漢字をコード化した。その後の改正を経て現在約6,400字が印字可能だ。しかし難しい漢字の復活に拍車をかける恐れもあり、野放しにするわけにはいかない。

揺れる	ゆれる	to shake; be unstable
目安	めやす	standard
内閣告示	ないかくこくじ	cabinet notification
公布する	こうふする	to proclaim
常用漢字	じょうようかんじ	Chinese characters in common use
準拠する	じゅんきょする	to be based upon
伝来する	でんらいする	to be introduced
複雑	ふくざつ	complicated
規格	きかく	standard
経る	へる	to pass
印字	いんじ	printing
復活 -する	ふっかつ	revival
拍車をかける	はくしゃをかける	to spur
恐れ	おそれ	anxiety
野放し	のばなし	noninterference; leaving alone

・日本人が名前に使う漢字の制限はなく、野放しになっている。

〜わけにはいかない　cannot 〜

・漢字を使用する日本では、アルファベットのように単語を簡単に検索するわけにはいかない。

むかしむかし……

「むかしむかし……」で始まる昔話は、英国のナーサリーライムと同様、日本人ならだれもが親しんできた口承文芸だ。日本の昔話の中には、朝鮮民族や漢民族の昔話ときわめて似たものが多いことはよく知られている。その理由は、これらの民族が地理的に近いという事情だけではなく、日本、朝鮮、漢の3民族が無文字時代から同じ水稲文化圏に属していたことに由来すると思われる。また、昔話が遠く離れた地方や民族でしばしば類似していることがある。初めどこかの村でその地の話として誕生したものが、後々旅人たちによって運ばれたり、文献によって伝播したりして、異国の地に根付くこともある。昔話は旅する口承文芸であり、特異性と普遍性を併せ持っているのだ。

昔話	むかしばなし	folktale
ナーサリーライム		nursery rhyme
親しむ	したしむ	to be fond of
口承文芸	こうしょうぶんげい	oral literature
隣国	りんこく	neighboring country
朝鮮民族	ちょうせんみんぞく	the Korean people
漢民族	かんみんぞく	the Han people
きわめて		very
地理	ちり	geographical features
無～	む～	no ～
水稲	すいとう	paddy-rice plant
由来する	ゆらいする	to originate
類似する	るいじする	to be similar
文献	ぶんけん	written documents
伝播する	でんぱする	to be propagated; transmitted
特異性	とくいせい	uniqueness
普遍性	ふへんせい	universality
併せ持つ	あわせもつ	to combine both ～ and ～

97年度　実質1.9%成長——過去最低の伸び

政府は20日開かれた臨時閣議で97年度の国内総生産（GDP）の実質成長率を1.9%、名目成長率を3.1%と想定した経済見通しを決定した。（'98.1.20）

知る権利

情報公開法案が今月中に政府から国会に提出される。米国に遅れること32年。アジアでも一昨年、韓国に先を越された。（'98.3）

4年間の自社さ体制に幕

自民、社民、さきがけの3党首会談が開かれ、社民党の土井たか子党首は自民党総裁の橋本首相とさきがけの武村代表に与党離脱を正式に伝えた。（'98.5）

インド・パキスタンが地下核実験

インドのバジパイ首相は5月11日、13日に計5回、西部ラジャスタン州ポカラン砂漠で地下核実験を実施したことを発表した。1974年5月18日に同地で初の地下核実験をして以来24年ぶりとなる。

パキスタンは5月28日、西部バルチスタン州チャガイ丘陵で初の地下核実験を実施した。先に計5回の核実験をし、「核保有国」宣言をしたインドに対抗するものだ。カシミール紛争などで対立を深めている両国が、核開発競争に突入したことで、核戦争の危険が南アジアで現実味を帯びてきた。（'98.5）

省庁改革基本法案

政治改革、財政構造改革に続いて、2001年からの1府12省庁体制のスタートを目標とする中央省庁改革基本法案が11日、衆院行政改革特別委員会で自民、社民両党の賛成多数で可決された。省庁再編は戦後50年余を経て国の意志決定の仕組みを官主導から脱却するのがねらい。('98.6)

小渕内閣スタート　経済再生へ正念場

自民党の小渕恵三総裁は7月30日召集された第143臨時国会で第84代、54人目の首相に選出された。小渕氏は首相指名後、直ちに組閣に入り、新内閣を発足させた。('98.7.30)

わいせつビデオ押収、過去最高に

警視庁が今年に入ってから押収したわいせつビデオの本数は、7月末までに 約12万本と早くも昨年1年分の押収本数を超えた。('98.8)

人口、大都市へ集中――都市部の地価下落で

人口が大都市圏に再び集中する傾向が鮮明になっている。自治省によると東京都の人口が2年連続で増加したほか、福岡、仙台など地方ブロックの中核都市の伸びが目立っている。('98.8)

世界“同時”異常気象

この夏、日本の北部では梅雨が終わらず、東日本を中心に降り続いた集中豪雨は大きな被害をもたらした。韓国、中国でも大雨が大きなつめ跡を残した。対照的に米国では猛暑の日々と世界各地で異常気象が続いた。その背景に海面温度の上昇や地球温暖化があると専門家は指摘する。('98.9)

文化財に台風の痛手

台風7号の影響で、平安時代初期を代表する仏教建築である奈良県の室生寺五重の塔（国宝）などに大きな被害が出た。室生寺では22日午後4時ごろ、樹齢約650年の杉が根こそぎ倒れて五重の塔にあたった。('98.9)

独　16年ぶりに社民政権へ

ドイツの連邦議会が27日行われ、最大野党の社会民主党（SDP）がコール首相のキリスト教民主・社会同盟（CDU・CSU）に圧勝、第一党になった。英ブレア、仏ジョスパン両内閣に続きドイツにも社会民主内閣が誕生し、冷戦後の欧州政治は大きな転換点を迎えた。('98.9.28)

長寿化ぐんぐん　100歳以上1万人突破

厚生省によると100歳以上のお年寄が1万158人となり、初めて1万人を突破した。その内訳は女性が8,346人で82.2%を占め、男性は1,812人だった。('98.9)

都の税収、4,400億円不足

景気低迷で財政難に陥っている東京都の1998年度の税収不足は、最悪の場合4,400億円に達することが明らかになった。都税収入は今年度の当初予算で4兆6,200億円を見込んでいたが、法人事業税などの落ち込みが激しい。('98.9)

性感染症の若者じわり増加

淋病やクラミジアなど、性行為で感染する性感染症（STD）の患者数がここ2年、じわりと増加していることが厚生省の全国調査で分かった。92年までは4万人台で推移していたSTD患者数はいったん減少したが、97年には3万4,868人と増加に転じた。('98.9)

捜査員に福建語講座——集団密航急増

警察庁は10月から都道府県の捜査員や通訳担当職員を対象に、中国南部の福建省周辺で使われている「福建語」の講座をスタートさせる。集団密航などで摘発されたり、事件の被害者となる同省出身者が急増する一方、福建語で通訳ができる職員が全国でもほとんどいないためだ。('98.9)

抗生物質　次々と耐性菌出現

20世紀前半にはペニシリン、ストレプトマイシンなどの抗生物質が次々に発見、開発され、人類は細菌や微生物との戦いに勝つかに見えた。しかし残念ながら耐性菌の出現速度のほうが、薬の開発のスピードを上回っている。('98.10)

日韓共同宣言

戦後53年、日韓国交正常化から33年。国賓として訪日した4人目の韓国大統領金大中氏は小渕首相との首脳会談に臨んだ。今後、両国は互いに協力関係を深める事で一致し、共同宣言に署名した。('98.10)

向井さん、グレンさん　2度目の宇宙

米航空宇宙局（NASA）は10月29日午後2時29分（米東部標準時、日本時間30日午前4時19分)、向井千秋さん（46）やジョン・グレン上院議員（77）ら7人が乗り組むスペースシャトル·ディスカバリーをケネディ宇宙センターから打ち上げた。向井さんは日本人初の再飛行に旅立ち、史上最高齢の宇宙飛行士グレン氏は、36年ぶりの再飛行の夢を果たした。('98.10)

衛星中継で結び遠隔手術

信州大学医学部付属病院は、衛星中継によるテレビ会議システムを使って、約8,000キロ離れたベラルーシ共和国のゴメリ州立病院の骨髄移植手術を支援することになった。患者は、チェルノブイリ原発事故の影響とみられる白血病の子供で、リアルタイムで手術の映像や心電図などの情報を受け取り、急変に備えて、現地の医師に即座にアドバイスできる態勢をとる。('98.11)

業務の外部委託——アウトソーシング

景気低迷と企業のコスト削減意欲の高まりを追い風に、アウトソーシング市場が順調に拡大している。企業外のリソース（能力）を活用し生産、販売アフターサービスなどの分野を外部に委託する企業が増え、89年に26兆6,000億だった市場は、98年には40兆7,000億円まで拡大する見込みという。('98.11)

欧州　通貨統合へ

欧州経済の復権を目指してEU（欧州連合）の通貨統合がいよいよ本格化してきた。1999年1月から、フランス・ドイツなど11カ国は資本取引などに単一通貨ユーロを使用する。為替の変動の危険や通貨の交換手数料はなくなるが、反面、価格競争は激しくなる。英国、デンマーク、スウェーデンの3カ国は99年1月からの参加は見送るが、統合参加には前向きの姿勢を見せている。('99.1.1)

ものづくり技術復権を

金型、鋳造、機械加工など、製造業を支える技術の進行と人材育成をねらった基本法案が、今通常国会に提出される。('99.2.4)

米の失業率4.3%——前月と同水準

おう盛な労働需要を背景に、米国の月間失業率は1970年2月以来の歴史的な低さを記録している。雇用面の堅調さが示されたことで、先行きへの楽観的な見方も広がりそうだ。('99.2.6)

今世紀の100大ニュース

米国の博物館が1999年2月にまとめたジャーナリストの投票によると、広島と長崎への原爆投下は今世紀100大ニュースに選ばれた。しかし、原爆投下に至った経緯については、多くのなぞが残されたままだ。('99.2)

元気出して　日本経済

世界銀行総裁のウォルフェンソン氏は1日、東京でアジア経済を回復軌道に乗せるためには、日本がエンジンの役を果たすべきだと語った。好況の米国や単一通貨ユーロが順調にスタートした欧州に比べ、日本は自信喪失気味になっていると述べ、日本経済の停滞が再生に向かうよう強い期待感を表明した。('99.3)

ローマ字表記の日本人名

文化庁の国語に関する世論調査によると、英語での人名表記を姓－名の順にすべきだと答えた人が34.9%で、名－姓がよいと答えた人30.6%を初めて上回った。欧米式に名－姓で書く習慣は日本では明治の初めから続いているが、中国、韓国は英語でも姓－名の順で書く。('99.4.29)

放射性廃棄物　予定通り積み下ろし

フランスから返還された高レベル放射性廃棄物を積んだ輸送船が15日午前、青森県六ヶ所村むつ小川港に入港、積み下ろし作業が始まった。('99.4)

自動車国内生産　500万台割る

日本自動車工業会が27日発表した1999年上半期の自動車メーカー11社の国内生産台数は493万1,940台で、上半期としては79年以来20年ぶりに500万台を下回った。軽自動車の生産は過去最高の水準だったにもかかわらず、不振続きのトラックなどが足を引っ張った。('99.7)

とにかくよく売れるベンツ

世の不景気をしりめに、バブル期の90年に3万9,000台だったベンツの売り上げが98年には4万2,000台、今年に入ってさらに好調が加速して99年1月～6月の登録台数が前年比で37%伸びた。主な客層は医者、弁護士、企業の社長、個人事業主など。('99.8)

第145通常国会閉幕

通常国会は政府・与党が今国会中の成立を目指した「日の丸・君が代を国旗・国歌とする法」など重要法案が成立、8月13日閉幕した('99.8)

自動車メーカー「環境」に力

地球温暖化など世界的に環境意識が高まるなかで、車メーカーの環境問題への対応が直接販売に影響を与え始めている。大手メーカーは環境汚染につながる物質の管理や、環境保全のコストの公表など、消費者の厳しい目を意識せざるを得なくなった。('99.9)

広がる書店サービス

大手Ｓ書店は、このほど東京駅前に「ブックス＆カフェ」をオープンし、未購入の本、雑誌もカフェに持ち込み自由のサービスを提供する。('99.9)

世界の人口　60億人に

国連人口基金（UNFPA）は22日、世界の人口が10月12日にも60億人に達するとの「世界人口白書」を発表した。人口増加率は下り坂になり日本、欧州、北米では歯止めがかかっているものの、アフリカや南西アジアでは増え続け、世界全体ではいまだに年間7,800万人規模で増加している。('99.9.23)

中国建国50周年祝賀大会

中華人民共和国の成立から50周年の10月1日午前、中国の首都・北京で50万人規模の祝賀大会が開かれ、江沢民・国家首席が記念演説をし、半世紀にわたる発展と党の功績を強調するとともに、21世紀中ごろに近代化を実現し富強の大国としての地位を確立するため、奮闘するよう国民に呼びかけた。('99.10)

ノーベル平和賞「国境なき医師団」に

ノルウェーのノーベル賞委員会は15日、今年のノーベル平和賞を緊急援助団体「国境なき医師団」に贈ると発表した。「国境なき医師団」は戦争や天災など医療が必要な地域に、ボランティアの医師や看護婦たちを派遣する非政府組織(NGO)。('99.10)

仮装外国人ら電車で大騒ぎ

キリスト教の祝日「万聖節」の前夜祭「ハロウィーン」にあたる10月31日に、仮装した外国人らがJR山手線の車内で酒を飲んで騒ぐトラブルが、ここ数年相次いでいる。ハロウィーンを1週間後に控え、JRでは当日の駅間連絡を密にして警戒する構えだ。('99.10)

ベルリンの壁　崩壊から10年

東西冷戦の象徴「ベルリンの壁」が崩壊して10年。ドイツ連邦議会でコール元首相、ブッシュ前米大統領、ゴルバチョフ元ソ連大統領らが記念演説をした。('99.11.8)

ノートPC　台湾首位に

30日付の台湾各紙によると、台湾の今年のノートブック型パソコンの出荷台数は前年より53.7%増の935万5,000台になると見られ、全世界の49%を占め世界一になることが確実になった。('99.12)

留学生が史上最多

日本の大学や大学院などで学ぶ留学生が5万5,755人と、前年より8.7%（4,457人）増えて史上最多になっていたことが12日、文部省の調査でわかった。1996年~97年に連続して前年割れするなど最近は低迷していたが、アジア各国の経済危機が一段落したことなどによって再び活発になったと見られる。('00.1.13)

2000年度政府予算　通常国会提出

政府は景気刺激策として84兆9,800億円の積極予算を組み、国会に提出した。史上最大規模の予算だが、税収は48兆6,000億円、税外収入をプラスしても歳入は52兆円。33兆円に近い国債発行で不足分を補うことになる。('00.2.4)

日経平均終値一時2万円台

4日の東京株式市場は個人投資家や株式投資信託からの資金流入を背景に、日経株価が2年半ぶりに一時2万円台の大台を回復した。('00.2.4)

1億2,668万人——人口増戦後最低

総務庁は1999年10月1日現在の日本の推計人口を発表した。それによると総人口は1億2,668万人で、1年間で20万人の増加にとどまった。出生児数から死亡者数を引いた「自然増加」は21万2,000人で戦後最低となった。65歳以上の老年人口は2,118万人で14歳以下の年少人口（1,874万人）を初めて上回った。15歳以上64歳以下の生産年齢人口は、前年より減り8,675万人となった。('00.3)

「介護のプロ」10年で7.5倍

1987年に介護福祉士の制度が始まって10年余り、毎年1回行われる国家試験を受ける人は当初の約3.5倍、合格者の数は約7.5倍に増えた。お年寄や障害のある人の入浴や食事の手助けをしたり介護の指導にあたるこの職業についている人は、全国で1999年12月で16万7,000人。('00.3)

国民党惨敗　半世紀の政権に幕

3月18日台湾総統選挙が行われ、即日開票の結果、最大野党・民主進歩党の陳水扁氏（前台北市長）が当選した。与党国民党の連戦氏（副総統）は惨敗し、半世紀以上にわたる国民党政権に幕が引かれた。('00.3.19)

ロシア大統領プーチン氏

ロシアの大統領選挙が3月26日実施され、前大統領が後継者に指名したウラジミル・プーチン大統領代行兼首相（47）が当選を決めた。任期は4年。5月上旬に大統領に就任する。ロシアの最高指導者が国民による選挙で平和的に交代するのは、旧ソ連時代を通じて初めて。('00.3.27)

森連立政権きょう発足

脳こうそくで緊急入院した小渕恵三首相（62）の回復の見込みが立たないことを受けて自民党は5日、森喜朗幹事長（62）を後継の総裁に選出し、公明党と、自民党から別れて結党した保守党とともに森氏を首相に指名、自民、公明、保守3党による森連立政権が発足する。('00.4.5)

憲法きょう53歳

日本国憲法は2000年5月3日、施行から53年を迎えた。今年1月、衆参両院に憲法問題を専門に議論する憲法調査会が初めて設置され、議案提出権はないものの、5年をめどに報告書を作成することになった。('00.5.3)

インドの人口　10億人突破

インド国家統計委員会によると世界第2位の同国の人口が2000年5月11日、予測より2カ月早く10億人を超えた。インドでは毎分52人の赤ちゃんが生まれており、毎年オーストラリアの人口とほぼ同じ約1,700万人が増え続けている。ちなみに第1位の中国は約12億6,000万人。('00.5.11)

海外旅行やや回復　1,636万人

1999年度版の観光白書によると、日本人の海外旅行者は前年よりも55万人増え1,636万人で、やや回復した格好だ。海外旅行先の人気上位は、米国が484万人でトップ。続いて韓国211万人、中国123万人、タイ82万人、台湾76万人の順。特にアジア地域の伸び率が高い。('00.5)

"健康寿命"最長の74.5年

国連の世界保健機関(WHO)は4日、日本人が健康的に過ごすことができる期間は平均74.5年(女性77.2年、男性71.9年)で、加盟191カ国の中で最長という調査結果を発表した。肺がんや心臓病の罹患率が他の国に比べ低いことをその要因に挙げている。('00.6)

携帯電話　主導権争い

ビジネスチャンスをうかがう世界の大手通信会社は、世界中で同じ端末が使える次世代携帯サービスに向けて、激しい買収合戦を展開している。('00.6)

フリーター150万人超す

2000年版労働白書によると、定職を持たずにアルバイトなどで暮らす若年層のいわゆるフリーターが急増し、150万人('97)に達したことが明らかになった。卒業後に進学せず定職もない人の割合は99年の新卒者では高卒で32%、大卒では23%に増えている。('00.6)

「統一目指す」南北合意

韓国の金大中大統領は平壌を訪問し、史上初めての金正日・労働党総書記との首脳会談に臨み、「統一の自主解決」など5項目からなる南北共同宣言に合意し、正式署名した。('00.6.15)

総選挙　与党安定多数は確保

第42回総選挙は25日、全国300の小選挙区と11ブロックの比例区(総定数180)で投票、即日開票された。自民、公明、保守の与党3党は、合計で選挙前から大きく後退したものの、衆院の全常任委員会で委員長を占め、過半数も取れる絶対安定多数(269議席)を確保し、森首相の続投が決まった。民主党は大都市の小選挙区で躍進し、勢力を大きく伸ばした。('00.6.26)

ビジネス特許　米が圧倒

情報技術(IT革命)の勝敗を握ると言われるビジネスモデル(BM)特許の日米成立件数は、300件対5,000件で圧倒的な格差が生まれた。('00.6.27)

覚せい剤・大麻の摘発、拡大続く

覚せい剤や大麻など不正薬物の密輸が急増している。1999年に全国の税関が水際で摘発した量は2,186キロと前年の約2.5倍に達し過去最高だった。2000年に入ってからも昨年と同じような水準で摘発が増えており、当局は警戒を強めている。('00.6)

ヒトゲノム「解読終了」

日米欧が公的資金で進めてきた人間の全遺伝子情報（ヒトゲノム）を解読する「国際ヒトゲノム計画」は26日、ヒトゲノム配列の概要の解読を終了したと発表した。('00.6.27)

日本マクドナルド　日商20億円突破

日本マクドナルドは26日、先週末24日、25日の1日の売上高が同社として初めて20億円を突破、過去最高を2日連続で更新した。更新記録はハンバーガーなどの購入者に限って販売している「ハローキティぬいぐるみ」に人気が集まったもの。('00.6.27)

TOEIC受験者100万人突破へ

英語能力を測定するTOEICの受験者が急増している。1999年度は87万人と95年度の1.5倍に拡大、2000年度は初めて百万人を突破する見通しだ。99年度、世界での受験者は150万人で日本での受験者が半分以上を占めた。('00.6)

「SOHO」 スモール・オフィス・ホーム・オフィス

SOHOと一口に言っても中身は多様だ。頂点にはフリーのデザイナーやコンサルタントなど一握りの高額所得者がいる。ベンチャーも創業当時にはSOHOの形式をとることが多い。日本でも、この新しいライフスタイルに100万人が携わっているが、一般の会社員に比べて地位は不安定だ。('00.7.2)

東京ディズニーランド

1983年4月にオープンした東京ディズニーランド（千葉県浦安市）の入場者数が14日、開園以来2億5,000万人に達した。2億5,000万人目の入場者は東京の主婦。認定証や巨大なミッキーマウスのぬいぐるみを記念に贈られた。('00.7.15)

NTT接続料下げ

日米規制緩和協議は18日、最大の懸案となっていたNTTの接続料引き下げ問題で合意した。引き下げ幅は2000年末から3年間で22.5%、そのうち最初の2年間で20%の引き下げを前倒しして実施するというもの。('00.7.19)

2000円札　お目見え

ミレニアム（千年紀）事業の一つとして政府が発行を決めた2,000円札がきょうから市中銀行に配布される。新紙幣は偽造防止対策も万全で、まさにハイテクお札だ。('00.7.19)

サミット2000

主要国首脳会議（沖縄サミット）は経済のグローバル化を受けた構造改革の必要性をうたい、情報技術（IT）格差や感染症への対策を盛りこんだ首脳宣言を採択し、閉幕した。主要8カ国が今後国際社会に対してどのような針路を示し続けられるのか。重い課題を背負ってサミットは21世紀へと進む。（'00.7.24）

中東和平交渉が決裂

クリントン大統領は25日、中東和平首脳会談は「合意しなかった」と発表した。連日の徹夜交渉にもかかわらず、エルサレム主権問題では妥協は不可能だった。（'00.7.26）

ルイ・ヴィトン　ほくほく

仏ルイ・ヴィトン社の日本法人、ルイ・ヴィトン・ジャパンは27日、今年上半期（1月～6月）の売上高が494億円と前年同期比27%増になったと発表した。今年は1,000億円の大台を超える勢い。（'00.7）

日経平均終値1万6,000円割れ

28日の東京株式市場では日経平均株価が3日続落した。前日の米店頭株式市場（ナスダック）の総合指数の急落が嫌気され、外国人や個人投資家の売りが先行した。（'00.7.29）

これで安心！？　新500円硬貨

日銀は1日、新500円硬貨を各金融機関に払い出した。初回は約2億枚で年度内では約8億枚を市中に流通させる。デザインは現在の500円とほぼ同じだが偽造・変造防止のため、周辺に斜めに刻みを入れるなどの工夫が施されている。('00.8.1)

フィルムカメラ→デジカメ
デスクトップ→ノートPC

インターネットを使って電子メールや写真の送受信を家庭で楽しむ人が増え、ノート型PCやデジカメ市場が急速に拡大している。業界は今月、ノート型PCやデジタルカメラが、デスクトップ型やフィルムカメラ市場を追い抜いたと発表した。ノート型PCの平均価格は1997年度初めには約27万8,000円だったのに対し、今では20万2,000円まで下落している。('00.8.5)

猛暑、景気を後押し

気象庁の予測では8月、9月も暑い日が続きそうでエアコン、ビールなど夏物商品の売れ行きが好調だ。ちなみにエアコンの今年度の国内出荷台数は3年ぶりに700万台に達する見込み。ビールなども大手4社がそろって前年を10%前後上回る見通しだ。('00.8)

世代格差くっきり

経済企画庁がまとめた1999年度の消費者意識調査によると、インターネットを利用した経験をもつ人が10代（18歳、19歳）では98.3%とほぼ全員に近いことが分かった。一方、60歳以上では15.4%にとどまり、世代間格差が浮き彫りになった。('00.8.13)

国境超える合併・買収

米経営コンサルタント大手が15日まとめた統計によると、2000年1月～6月に発表された国境を超える企業の合併・買収（M&A）の総額が6,433億ドル（約70兆円）にのぼり、過去最大の規模となった。通信分野の大型合併が相次いだためだが、日本企業のからむM&Aは前年同期比で40.4%減。('00.8.17)

ゼロ金利解除

日銀は11日、1年半にわたって続けてきたゼロ金利政策の解除を決めた。不良債券処理など構造改革の遅れる産業中心の経済運営から脱却し、わずかでも金利機能を生かした経済正常化へと舵を切った。('00.8.18)

コメ電子市場開設へ

関西を中心とするコメの販売業者や生産農家540社が、インターネット上にコメの電子取引市場を開設する。新システムの最大のメリットは流通経費の大幅削減だ。('00.8.21)

シドニー五輪開かれる

第27回オリンピック大会が、9月15日から10月1日まで、オーストラリアのシドニーで開催される。今世紀最後の五輪となるシドニー大会には、史上最多の199カ国・地域の代表と、東ティモールが個人資格で参加した。('00.9)

ユーゴ新大統領就任へ

ユーゴスラビアで7日午後5時半（日本時間8日午前零時半）連邦議会が招集され、コシュトニツァ氏が正式に新大統領に就任した。13年間、ミロシェビッチ体制におかれてきたユーゴスラビアは、民主国家としての新たな一歩を踏み出した。('00.10.8)

白川英樹氏にノーベル化学賞

スウェーデン王立科学アカデミーは10日、2000年のノーベル化学賞を、導電性高分子の発見と開発で功績のあった白川英樹筑波大名誉教授、アラン・ヒーガー米カリフォルニア大教授、アラン・マクダイアミット米ペンシルベニア大教授の3氏に授与すると発表した。('00.10.11)

ノーベル平和賞　金大中氏に

ノルウェーのノーベル賞委員会は13日、韓国の金大中大統領に2000年のノーベル平和賞を授与すると発表した。受賞の理由は朝鮮半島の平和実現への貢献、民主化への努力、さらに日本との関係改善など。韓国人としては初のノーベル賞受賞。('00.10.14)

Ⅲ. 新聞各紙の情報を読む／理解確認練習

＊2ページにわたるものは右ページから左ページへ

ど、Eメールのなかで生まれつつある文体もそれに近い。明治期の〝言文一致〟が、コミュニケーションの効率化を第一の目的にしていたのに対して、ここでいう〝言文一緒〟は、効率化で失われてしまった言葉の〝場〟を、〝声〟を、つまり言葉の酸素を、書き言葉に取り戻すことが最大のねらいだと言っていいだろう。

それにしても、〝一億総送り手時代〟のなかのいまの日本語は、まるでバベルの塔のような混乱状態にある。だからこそ、「日本語練習帳」が売れたりもするんだろうが、そんないまの日本語のなかから、果たして新しい何かが生まれてくるかどうか。正直言って、そのへんはよくわからないが、日本語が元気にならないかぎり、この国の元気も回復しないということだけは、はっきり言えそうな気がする。

1999年10月1日付　読売新聞

I．文を完成させなさい。

(1)　今のような言葉の洪水の発生源の第一は________________で、日本の総人口に占める________________は、ほぼ40%だ。電話は、________________から________________に一変した。発生源の第二は________________で、2003年には________________の世帯がパソコンを持つようになると見られている。携帯とEメールは洪水発生源の________________と言える。

(2)　________________と________________の関係は携帯電話やEメールで大きく崩れ、そのことが________________を大きく変えている。たとえばEメールの中で生まれつつある言葉は、________________と________________を一緒にした"言文一緒体"に近い。

言葉の洪水のなかで

天野祐吉（あまの ゆうきち）

〝一億総送り手時代〟に

言葉の洪水のなかを、ぼくらはいま、アップアップしながら泳いでいる。日本列島の上に、こんなにたくさんの言葉があふれかえった時代は、いままでになかったんじゃないだろうか。

洪水の発生源は、第一に携帯電話である。PHSを含めると、八月末に、その加入台数は五千百二十六万台をこえた。日本の総人口に占める普及率はほぼ四〇％、電話なんかに用のない赤ちゃんたちを除くと、日本の国民の二人に一人が、歩きながら「モシモシ」をしている勘定になる。

その「モシモシ」も、むかしは簡潔をムネとした。が、いまは違う。電話は実用の道具から遊びの道具に一変した。ヒマな人の計算によると、いまの女子高生は一日に三十分くらい電話をしているという。一人のしゃべる分を半分の十五分として計算すると、年間文字数にして約六千字、年間二百十九万字分の言葉を電話でしゃべっていることになる。平均的な新書判で、ざっと二十冊の分量だ。

洪水発生源の第二は、Eメールである。インターネットの利用者は、もう千五百万人をこえた。四年後の二〇〇三年には、過半数の世帯がパソコンを持つようになると見られているから、インターネットの利用者も、そしてEメールで行き交う言葉の量も、どんどんふえつづけていくに違いない。

Eメールのアドレスを、名刺に印刷している人も多くなった。この調子でいくと、いまに住所はアドレスに駆逐され、「港区南青山○丁目×番地」なんて地名がないと困るのは、宅配便や牛乳配達の人たちぐらいになってしまうんじゃないだろうか。

ほかにも、発生源はいろいろある。が、携帯電話とEメールは、①両方とも十年前にはほとんどこの世になかった②その発生量があまりにも膨大である③発信者の大半が言葉のプロ（送り手と言われてきた人たち）ではなく、ふつうの人たち（受け手と言われてきた人たち）である、といった点で、洪水発生源の双璧と言っていいと思う。

＊＊

送り手と受け手の関係は、長い間、固定していた。送り手はいつも送り手であり、受け手はもっぱら受け手だった。が、携帯電話やEメールで、その関係が大きく崩れ、だれもが簡単に送り手になるようになった。それが日本語を、いいにつけ悪いにつけ、大きく変えつつある、とぼくは見ている。

と言っても、携帯電話のほうは、まさか盗聴もできないから、電話のなかで日本語がどう変わりつつあるのか、ぼくにはまだわからないが、おそらくそこでは、女子高生たちを中心にして、新しい世間話の話法や話術が、「いまでとわア」「違うカタチでエ」、少しずつ生まれつつあるのではないかという気がする。

それにくらべると、Eメールのほうは、自分のところへくるメールを見ているだけでも、いろいろ具体的な発見があって面白い。ここで例をあげているゆとりはないけれど、一口で言ってしまえば、Eメールを通して、新しい文体が生まれつつあるのではないかということだ。

以前、コピーライターの土屋耕一さんが、「書き言葉と話し言葉をいっしょくたにした文体」を〝書文一緒体〟と名付けたことがあったけれ

い日本語を教えるべく日本語教育の体系を築くことである。そして彼らの母国語を保障すること、さらに我々日本人も彼らの言語の一端に触れるよう努力することなのだ。

中途半端な英語を鼻にかけ、アジア各国の言語を一等下に見る者に柔軟な思考と豊かな発想を期待することはできない。

もちろん、英語を必要とする人たちのために今より強力な制度を導入することには賛成である。同様に、英語以外の言語を選択する人たちも大いに奨励すべきである。外国語の選択を英語一辺倒にして世界の友人を得ることはできない。

世界の歴史をみても、一国の言語だけが未来永劫同じ地位を保ち続ける保証はない。古代から、超大国・中国に隣接していた日本は中国語にそっくりそのまま飲み込まれたであろうか。否である。

我々の祖先は中国から漢字を借用したものの、そこから長い年月をかけて万葉仮名、ひらがな、カタカナと変形し工夫をこらして、中国語と語順も全く異なる日本語を見事に創造してきたではないか。

かゆいところに手が届く表現としての日本語、歴史のある豊富な語いをもつ日本語があればこそ、日本人独自の文学、哲学、技術の花は開くだろう。日本人のアイデンティティーは日本語にあるといえる。英語の公用語化によって、それが脅かされてはならないと思う。

（元外資系石油会社社員、東京都在住　＝投稿）

2000年3月25日付　朝日新聞

Ⅰ．筆者の考えと同じものに○、違うものに×をつけなさい。

(1) 世界には数えきれないほどの言語が存在し、それに匹敵する数の独自の文化がある。(　　)

(2) 英語は日本だけでなく、アジアの他の国々でも重要な言語だ。(　　)

(3) 日本でも早く英語を公用語にすべきだ。(　　)

(4) 英語を公用語にしても、社会生活に混乱は起きない。(　　)

(5) 現代はすべての日本人にとって、英語は不可欠だ。(　　)

(6) 英語を重要視することと、公用語にすることは別問題だ。(　　)

(7) 日本人のアイデンティティーは日本語にあるので、日本語を軽くみる風潮を招くようなことをしてはならない。(　　)

(8) 日本での問題は、国際ビジネス、マスコミおよび国際的センスを問われる政治に携わる人たちの英語力が低いことだ。(　　)

(9) 日本に必要なことは、外国人労働者に対しての日本語教育の体系を築くことだ。(　　)

(10) 英語は永久に世界の共通語としての地位を保つはずだ。(　　)

論壇

日本の言語に今必要なこと

小田（おだ）　利久（としひさ）

世界には数えきれないほどの言語が存在し、それに匹敵する数の独自の文化がある。

今日、世界の言語の中で英語は、超大国・米国の経済力と軍事力を背景に、国際ビジネスと政治の面で世界の共通語としての地位を得るまでになった。

私は外資系企業に約三十年間勤め、日常的に英語を使う機会が多かった。国際語としての英語の重要性を肌で感じていたが、日本語と違って伝えたいことが表現しきれない歯がゆさを覚えることもあった。

しかし、英語はもともと英語圏でないアジアにおいてもその重要性を増しており、シンガポールやフィリピンでは、複数ある公用語の一つに英語を採用している。

翻って日本はどうか。方言差はあっても全国的に日本語という単一言語が使われているため、これまで法的に公用語を規定する必要はなかった。小渕恵三首相の私的諮問機関「二十一世紀日本の構想」は英語の第二公用語化を打ち出しているが、なぜ日本において英語を公用語にするのか。

公用語というからには、法律などの公文書や役所への届け出書類のほか、裁判なども日本語と英語が使われることになる。そこから生ずる混乱と膨大な行政費用の増大は言うに及ばず、英語が出来る者と出来ない者との格差が即、生活面に影響を落とすだろう。

生き馬の目を抜く国際ビジネス社会や国際政治の舞台で活躍しようという強い動機づけを持つ人たちにとって英語は不可欠であろう。従って、英語教育を改め一昔前の訳読文法中心から音声重視の実践的教育に力を入れることは良いことだ。しかし、このことと、英語を公用語として日本国民に教育すること、つまり日本という独立国家が国語政策として英語を日本語と同様に扱うとなると話は別である。

英語の公用語化論者が何といおうと、それは日本語を軽んじる風潮を招きかねない。そんなことまでしたところで、国際的に通用し得る英語に熟達した人間はごく少数しか生まれないのではないか。

今日、我が国で問題なのは、英語を滑らかに話さなければならない人たち、すなわち国際ビジネス、マスコミおよび国際政治に携わる人たちが、実はそうでないことなのである。

今むしろ、日本に必要なことは、将来増大するであろう外国人労働者に備えて、彼らに簡明で分かりやす

グラメーニヤ大使の「青山墓地」

スイス大使館ケーニヒ文化担当の「明治神宮」

I．1～3の中から適当なものを選んで＿＿＿の上に番号を入れなさい。

(1) 「にっぽん－大使たちの視線1999」の写真を撮影したのは＿＿＿たちである。
　1 学者　　2 プロの写真家　　3 外交官

(2) この写真展は今年で＿＿＿の開催である
　1 初めて　　2 2回目　　3 3回目

(3) グラメーニヤ大使は、写真は＿＿＿の格好の手段だと思っている
　1 自己表現　　2 日本語学習　　3 伝統文化の学習

(4) 写真展の企画は、＿＿＿を巻き込めることが今までと大きく違う点だ
　1 プロの写真家　　2 一般の日本人　　3 日本に住む外国人

(5) グラメーニヤ大使が実感したのは＿＿＿ということだ
　1 写真が世界の共通語になる　　2 スポーツは外交に役立つ
　3 プロでなければよい写真は撮れない

大使らが写したにっぽん

グラメーニヤ駐日ルクセンブルク大使が呼びかけ

「私が好きな場所」に33カ国43人応募

各国の駐日大使などの外交官が、「私が好きな場所」をテーマに、日本の風景を撮影した。日本人が気づかないような、日常の様々な風景が並ぶ。三十三カ国四十三人から応募があり、選ばれた約七十点が、「にっぽん―大使たちの視線一九九九」と題した展覧会で、七日から銀座で公開される。呼びかけ人のピエール・グラメーニヤ駐日ルクセンブルク大使(四二)＝写真＝は、「写真が世界の共通言語になることを実感した」と話している。

「日本語がうまくないんでね」というグラメーニヤ大使にとって、写真は格好の自己表現の手段だ。展覧会を思いついたのは、ほかの大使や外交官たちにもあてはまるのではないかと思ったからだ。

展覧会は今年で二回目。昨年の倍を超える三十三カ国四十三人から応募があった。五百点余りの作品の中から、プロの写真家や外交官で構成さ

きょうから銀座で展覧会

れた選考委員によって選ばれた七十一点が展示される。

今回のテーマは、「私が好きな場所」。自宅近くの小さな公園、浅草・かっぱ橋の道具屋の店先、たこ焼きの屋台など、日常生活の何げない場面が目立つ。

グラメーニヤ大使が選んだ「好きな場所」は、自転車で週一回は行くという青山霊園だ。春は花見、夏は木陰で避暑、秋はお彼岸や紅葉見物、冬はジョギング。

「世界には嘆き悲しむだけの墓地があるが、ここは、人々の生活にとけ込んでいるのがとてもいい」と話す。亡くなった人が眠る場所だが、行くたびにエネルギーを受けるような感じがするという。

「写真を見て、私のこの街に対する愛情を感じてもらえたら」と語る。

在日スイス大使館の文化担当レグラ・ケーニヒさん(四七)の出品作は、対照的な姿をした女性たちの顔だ。角隠し姿の花嫁の横顔と、長いつめにマニキュアを塗り派手な衣装と髪飾りを身につけた女性の横顔。どちらも明治神宮付近で撮影した若い女性だが、伝統的なものと現代的なものの対比が面白かったという。

「この派手な衣装の女性も結婚式では、着物を着るかもしれませんね」。古い建物と新しい建物が混在している東京の町並みにも通じ、興味をひかれるという。

来日して十八年。伝統がありながら、遊び心で楽しんでいるのが、東京の面白さだと話す。いつもコンパクトカメラを持ち歩き、多いときは週にフィルム十本分、普段でも月に約二十本分撮る。

これまで、外交官たちの交流というと、テニスやゴルフなどが多かった。「この写真展の企画は、一般の日本の人たちを巻き込めることに大きな違いがあるんです」とグラメーニヤ大使は話す。

「私たちは小さな国だが、中立的な立場で調整役を務められたらうれしい」。全国各地での開催も検討中だ。

「来年もやりたい。すでに企画は話しきれないほど考えています」

同展は、中央区銀座三丁目のプランタン銀座本館七階のギャルリィ・ドゥ・プランタンで、十六日まで。無料。

1999年10月7日付　朝日新聞

Ⅰ．次の言葉はどう読みますか。

	a	b	c
(1) 景観	a．けかん	b．けいかん	c．けいがん
(2) 泣き所	a．なきしょ	b．なきところ	c．なきどころ
(3) 客車	a．きゃくしゃ	b．かくしゃ	c．きゃっしゃ
(4) 敬遠	a．けえん	b．けいおん	c．けいえん
(5) 青天井	a．あおてんしょ	b．あおてんじょう	c．せいてんじょ

Ⅱ．イギリス式にA、フランス式にBを入れなさい。

(1) プラットホームと客車の床が同じ高さになっている。(　　)
(2) 英仏海峡を渡り入国の際、パスポートにスタンプを押さない。(　　)
(3) プラットホームから3段登って列車に乗る。(　　)
(4) 駅舎を美術館に変身させた。(　　)
(5) 入国時に「チャネル・タネル」のスタンプを押す。(　　)

Ⅲ．正しいものを一つ選びなさい。

(1) ヨーロッパの汽車旅行が楽しいのはなぜですか。

a．海底トンネルを通ることができるから。
b．自然の景観が近くに見られるし、土地の人々と交流ができるから。
c．どの駅でも通過記念スタンプが押してもらえるから。
d．荷物を持たずに遠くに行けるから。

(2) 駅のフレンドリー化とはどんなことですか。

a．乗客にゆっくりと時間をかけて旅行をしてもらうこと。
b．隣国に入る時、パスポートの提示を強制しないこと。
c．乗客が満足できる電車や駅舎、システムを整えること。
d．駅に美術館をつくること。

あすへの話題

乗客フレンドリー

内林政夫

ヨーロッパの旅行は時間さえあれば汽車に乗るのが楽しい。自然の景観が手に取るところにあるし、土地の人たちとじかに接することができる。時間がゆっくり流れてくれる。

その汽車旅行に一つ泣き所がある。日本から行く場合、当然のことながらスーツケースが重い。客車に乗るときに、これをさげて、踏み段を二、三段登らなければならない。これがなかなかの筋肉労働となる。別にあずける方法もあるが、面倒で敬遠される。

ところがイギリスにゆくと、少なくとも大きい駅ではプラットホームが客車の床と同じ高さであるので、乗客は水平に客車に乗れる。日本もこのイギリス方式を明治時代にならったようである。

英仏海峡に懸案の海底トンネルができて、列車が走るようになった。パリの北駅では案のじょう、荷物をもちあげて三段登って客車に入った。ロンドンのウオータルー駅に着くと、段差なしにスーと降りてしまった。イギリス式、日本式は乗客フレンドリーである。

このトンネル通過には、フレンドリー・システムの検証の他に、もう一つ目的があった。フランスに入国するときにはパスポートに入国スタンプを押さない。イギリスはスタンプを押す。トンネル通過記念にスタンプがほしかったので、パリ発ロンドン着の方向にした。そして首尾よく「チャネル・タネル」と押してもらった。

ヨーロッパの主要な駅では、駅舎の屋根が駅全体をおおっている。日本では、線路の部分が青天井である。雨や風のとき、乗客は不愉快なおもいをする。全面を屋根でおおうのは、費用がかさむということだろうか。駅のいっそうのフレンドリー化も願いたい。

パリの駅舎は美術館に姿を変えたが、日本の駅は、そのような変身はできない。

（武田科学振興財団理事長）

2000年4月19日付　日本経済新聞

Ⅰ．次の言葉はどう読みますか。

(1) 経由　a．けいゆ　b．けいゆう　c．けゆ
(2) 手段　a．しゅだん　b．しゅうだん　c．てだん
(3) 感傷的　a．かんじょうてき　b．かんしょてき　c．かんしょうてき
(4) 人道主義　a．にんどうしゅぎ　b．じんどしゅぎ　c．じんどうしゅぎ
(5) 根差す　a．ねさす　b．ねざす　c．こんさす

Ⅱ．①～③の中から適当なものを選んで＿＿＿の上に番号を入れなさい。

(1) 寒気団の南下で、気温が零下20度＿＿＿記録した。
① を　② に　③ で

(2) 温暖化が進んでいると＿＿＿、今年の冬は寒かった。
① いわれたとおり　② いわれながらも　③ いわれたからには

(3) 気候が温暖な地域では、＿＿＿氷点下にはならない。
① ときどき　② たまに　③ めったに

(4) 日本は四方を海に＿＿＿いる。
① 囲まれて　② 包まれて　③ 臨まれて

Ⅲ．本文の内容と同じものに○、違うものに×をつけなさい。

(1) 筆者はミュンヘンで零下40度を体験したことがある。（　）
(2) 今年のニューヨークは温暖化の影響で暖かかった。（　）
(3) 大多数の日本人は、ヨーロッパのような厳寒の冬に直面したことがない。（　）
(4) 北極の寒気を受けるヨーロッパ内陸の都市では、建物の構造は、壁が厚く窓も二重、三重になっている。（　）
(5) 筆者は寒気の中でヒューマニズムと気候・風土の関係を考察した。（　）
(6) 厳しい気象条件のもとでは、人々は感傷的になるようだ。（　）

あすへの話題

零下二〇度

篠田正浩

温暖化が進んでいるといわれながらも、厳しい寒気が今年もやってきた。ビールの生産地としてミュンヘン、サッポロ、ミルウォーキーと寒い都市が並べられるが、ミュンヘンはドイツの南にあり、首都ベルリンはずっと北である。私はこの土地で零下三〇度という寒さを体験したことがある。建物の壁は頑丈な石に守られ、窓は三重にさえなっていた。北極の寒気を真正面に受けるヨーロッパ大陸の内奥に存在する都市の冬の底冷えは強烈である。

今年の私の冬の旅はパリに始まり、ベルリンを経由してニューヨークに向かった。いずれも氷点下の旅であった。なかでもニューヨークは強烈な寒気団の南下で日中でも体感温度（ウインド・チル）が零下二〇度を記録し、五分も町中を歩行するのが苦しかった。

その寒気のなかで、私はヒューマニズム成立の歴史については彼我の間に大きな違いがあるのではないかと思った。首都に君臨する西欧の権力は、零下二〇度の市民生活を保証する能力や手段を所有しなければ、たちまち民衆に打倒されてしまうのではないか。

西欧ヒューマニズムは決して感傷的な人道主義から生まれたものではあるまい。ペテルスブルグ、パリ、ワルシャワ、プラハ、ブダペストと世界史を揺るがす民衆暴動の核に零下二〇度の都市生活者の厳しさがあったのではないだろうか。この意識がまず軍隊が民衆防衛の基礎であるとして、敗戦後ドイツがナチスの贖罪（しょくざい）に悩みながらも国防軍を再建した背景ではなかったか。

それは、アジアモンスーンの温暖な気象と四方を海に囲まれてめったに零下の厳しさに直面しない大多数の日本人の人道主義が、非常に優しい心情に根差していることと対照的ではないかと思われる。トルコ大地震の難民のために送られた日本の仮設住宅が他国のそれに比して非常にみすぼらしく見えたという新聞記事に、私はその証拠を見たような気がする。

（映画監督）

2000年2月4日付　日本経済新聞

Ⅰ．次の言葉はどう読みますか。

	a	b	c
(1) 賢い	a. かたい	b. すごい	c. かしこい
(2) 一流	a. いちりゅ	b. いりゅう	c. いちりゅう
(3) 人相	a. じんそう	b. にんそう	c. にんそ
(4) 黙る	a. だまる	b. もくる	c. たまる
(5) 利口	a. りこ	b. りこう	c. りくち

Ⅱ．①～③の中から適当なものを選んで＿＿＿の上に番号を入れなさい。

(1) 学者といっても、賢い顔が多い＿＿＿。
① わけがある　② わけではない　③ わけだ

(2) 賢さは顔には反映されないもののようだ。＿＿＿、世間には賢い顔に対する一定のイメージがある。
① だから　② それでいて　③ そのため

(3) 学長たちが発言したときや他人の話に＿＿＿表情には、さすがに知識人らしさを感じる。
① 耳をふさぐ　② 耳をうたがう　③ 耳をかたむける

Ⅲ．本文の内容と同じものに○、違うものに×をつけなさい。

(1) 会議には国公立と私立大学の学長が出席した。(　　)
(2) 日本の国立大学は全部で99校ある。(　　)
(3) 会議に集まった人々は、一流の学者たちだった。(　　)
(4) 会議に集まった人々は、みな黙っていても賢そうだった。(　　)
(5) 一般に利発な子供には共通の顔つきがあると思われている。(　　)
(6) 子供の時に優等生だった人は、大人になると知識人になる。(　　)
(7) 利口な子どもはみな鉄腕アトムのような顔をしている。(　　)
(8) 賢いことと利口なことは、同じではないようだ。(　　)

あすへの話題

賢い顔

石毛直道

年に一度、国立大学長会議というものがある。全国に九九の国立大学があるが、その学長たちの集会である。それにオブザーバーとして、大学共同利用機関の長たちも参加する。国立民族学博物館は大学共同利用機関なので、わたしも出席することになった。

おおくの場合、国立大学の学長は、それぞれの大学の教授のなかから、選挙でえらばれる。学者として一流の業績をあげた人々が学長になるのが普通だ。そうしてみると、国立大学長会議は、おおげさにいえば、日本の頭脳が一堂に会す機会である。一〇〇人以上の賢い顔をした人々が集まったら壮観だろうと思っていた。

ところがである。集まった学長たちの人相を見ると、とりわけ賢そうな顔立ちがおおいわけではない。どこにでもいる、ただのオッサンたちの顔である。商店街の寄り合いや、PTAの役員会などのメンバーとおなじような、ありふれた顔つきの人々である。学長たちが発言したときや他人の話に耳をかたむける表情には、さすがに知識人らしさを感じるが、黙っていても賢そうに見える顔は案外すくない。

「人格は顔に表現される。四〇歳を過ぎたら自分の顔に責任をもて」といわれるが、賢さは顔には反映されないもののようだ。

それでいて、子どもを、「賢そうな顔をしている」とほめるように、世間には賢い顔にたいする一定のイメージがある。利発な子どもに共通する顔つきが存在すると思っているのである。

目玉がくりくりっとして、口もとの引きしまった「目から鼻にぬけるような顔」や、鉄腕アトムのような子どもの顔が、利口な顔つきとされることがおおい。

してみると、賢いことと、利口なことはちがうことのようだ。利口で子どものとき優等生だった人が、大人になったら賢人になるというわけではなさそうである。

（国立民族学博物館長）

2000年1月18日付　日本経済新聞

Ⅰ．次の言葉はどう読みますか。

	a	b	c
(1) 奇跡	a．きぜき	b．きせき	c．きっせき
(2) 復興	a．ふっきょう	b．ふっこ	c．ふっこう
(3) 著しく	a．いちじるしく	b．いちじしく	c．いちしく
(4) 明らか	a．あけらか	b．あきらか	c．あからか
(5) 携わる	a．かかわる	b．たずさわる	c．そなわる

Ⅱ．①～③の中から適当なものを選んで＿＿＿の上に番号を入れなさい。

(1) 戦後の食糧難の時代には、子供たちも＿＿＿思いをした。
① ひもじい　② 貧しい　③ なつかしい

(2) 終戦後、アメリカから技術や資本が＿＿＿され、産業の復興のために使われた。
① 吸収　② 追求　③ 導入

(3) 米国には、日本製品に市場を開いた結果、＿＿＿した産業もある。
① 復興　② 壊滅　③ 発展

(4) 国家が自己の利益を追求するのは当然であるが、米国の＿＿＿は著しく寛大であった。
① 援助物資　② 占領政策　③ 平和調印

(5) 戦勝国側が日本に苛酷な講和条件を課そうとしたとき、米国が＿＿＿それを押さえ込んだか忘れないでほしい。
① 大まかに　② いかに　③ 過分に

(6) 平和条約調印50周年に際し、日本人として＿＿＿に占領時代をふりかえってみたい。
① 主観的　② 達観的　③ 客観的

あすへの話題

日本の占領と米国

斉藤邦彦

終戦の時私は十歳だった。戦後の生活は厳しく、私の家が特に貧乏だったわけではないが、時々ひもじい思いをした。

このような時に、米国は食糧、衣料などの大量の援助物資を日本に送り込んだ。私も米国から来た粉ミルクやバターを食べた記憶がある。その後、技術や資本も、その多くが米国から導入された。また、例外はあるものの、米国は日本製品にその市場を開き、日本の輸出を吸収した。日本からの輸入の結果壊滅した産業もある。米国のこのような態度がなかったら、日本の戦後の奇跡的復興はありえなかった。

もちろん、米国は自己の利益、戦略のためにこのようなことをやったのであって、何も親切心からやったわけではないという人はいるし、それは間違いではないであろう。およそ国家は、純粋に利他的に行動することはあり得ず、自己の利益を追求するのが当然であるからである。

しかしながら、世界の占領の歴史を見るとき、特に戦後のソ連の占領地域やいわゆる衛星諸国における行動を見るとき、米国の占領政策が著しく寛大であったことは明らかである。占領者の米国として、もっと日本人の自尊心を踏みつけにし、もっと直接的短期的に自己の物質的利益を追求するような政策もとり得たはずである。それをしなかったのは、やはり理念を尊ぶ米国人の姿勢と心の広さによるのではなかろうか。

四十年ほど前私は、サンフランシスコ平和条約締結交渉に条約局長として携わった人から、「君たちは、（欧州の）××国がいかに日本に過酷な講和条件を課そうとし、米国がいかにそれを押さえ込んだか忘れないでもらいたい」と言われたことがある。来年には、平和条約調印五十周年を迎える。日本人として、客観的に占領時代の歴史を振り返る良い機会である。

（前駐米大使）

2000年3月27日付　日本経済新聞

Ⅰ．次の言葉はどう読みますか。

	a	b	c
(1) 治癒力	a．ちゆりょく	b．じゆりょく	c．ちゆうりき
(2) 呼吸	a．こきゅ	b．こっきゅう	c．こきゅう
(3) 説く	a．どく	b．とく	c．わく
(4) 高齢化	a．これいか	b．こうれか	c．こうれいか
(5) 授かる	a．さずかる	b．もうかる	c．うかる

Ⅱ．①～⑤の中から適当なものを選んで＿＿＿の上に番号を入れなさい。

エンジンには吸気口と排気口とが別々にある。＿＿＿、人間の肺は吸気口も排気口も同じで、口と鼻につながる気道がひとつ＿＿＿ない。＿＿＿、エンジンに比べて吸排気の効率が悪い。

① だけ　② しか　③ しかし　④ もし　⑤ だから

Ⅲ．筆者の考えと同じものに○、違うものに×をつけなさい。

(1) 健康食品や栄養剤はどんどん利用すべきだ。(　　)
(2) 健康のために、なるべく歩いたほうがよい。(　　)
(3) 東洋医学は自然治癒力を高めるために役に立つ。(　　)
(4) 近代科学で解明されていないものは、効果はない。(　　)
(5) 気持ちのもち方は病気の治り具合に影響する。(　　)
(6) もっとも頼りになるのは現代医学だ。(　　)

Ⅳ．あなたが健康によいと思うのはどれですか。

(1) 栄養のバランスを考えた食事をとる。
(2) 毎日、スポーツクラブでトレーニングをする。
(3) 鍼や灸、漢方薬などの東洋医学の治療法を取り入れる。
(4) 毎日規則正しい生活をする。
(5) 高価な栄養剤を飲む。
(6) ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

あすへの話題

自然治癒力

中川勝弘

ずいぶん前のことで、人間の肺と自動車のエンジンを比較して、呼吸の大事さを説いた小冊子を読んだことがある。

エンジンには吸気口と排気口とが別々にある。

しかし、人間の肺は吸気口も排気口も同じで、口と鼻につながる気道が一つしかない。だから、エンジンに比べて吸排気の効率が悪い。全部吐き出す前に息を吸ってしまうから、当然全部が新しい空気に入れ替わらずに、汚れた炭酸ガスが肺に残る。したがって、呼吸で大事なのは、できるだけ多くの炭酸ガスを吐き出すことである。ミゾオチをへこませ下腹に力を入れて精いっぱい息を吐くことが大事だ。

また呼吸は寝ていても無意識にしているが、意識的にやろうと思ってもできる便利な仕組みになっているから、意識的に呼吸をやるべきである。大略こんな説明だったと思う。

高齢化社会が進み、健康法について関心を持つ人が増え、またいろいろな健康食品や栄養剤が溢（あふ）れている。しかし、考えてみると天から授かった人の体は実に良くできているのだから、その授かった機能を十分に発揮させることがまず大事である。歩くことが健康の基本といわれるが、二本足で歩くことができるという人間にしか与えられていない機能を、近いところでもタクシーに乗ったりして、ないがしろにしているとしたら、これは由々しきことと反省しなければならぬ。

東洋医学では「病気を治すのは、薬でも手術でもなくて、体のもつ自然治癒力だ」ということらしい。鍼とか、気功とか、近代科学ではよく解明されていないが、この自然治癒力を高める手伝いをしているということだろう。ぎっくり腰には鍼が一番だし、気功療法も私には具合がよい。

病は気からともいう。確かに気がしっかりしているといないとでは、病気の治り具合も違う。現代医学やバイオケミストリーがいくら発展しても、つまるところ最後に頼りになるのは自然治癒力ということだろうか。

（東京海上火災保険顧問）

1999年11月25日付　日本経済新聞

Ⅰ．次の言葉はどう読みますか。

	a	b	c
(1) 触れ合う	a．ゆれあう	b．すれあう	c．ふれあう
(2) 老婆心	a．ろうぼしん	b．ろうばしん	c．ろうばあしん
(3) 巡る	a．まわる	b．めぐる	c．とめる

Ⅱ．正しいものを一つ選びなさい。

(1)「今の若者をうらやましく思う」とあるのはなぜですか。

a．海外でショッピングや観光が楽しめるから。
b．昔と違って、今は自由に気楽に海外に行けるから。
c．外国の若者と自由に交流できるから。
d．ゴールデンウィークの休みを利用して旅行ができるから。

(2) 筆者が海外旅行に出かける若者に望むことは何ですか。

a．高価な土産を買うこと。
b．有名な観光地を巡ること。
c．人間のコアの部分で共通する何かを見つけること。
d．欧米のネットワークのシステムを学んで来ること。

(3) 住みやすい社会を育てるために必要なのは何ですか。

a．コンピューター産業などでの世界統一基準を作ること。
b．心やマナーのグローバルスタンダードを築くこと。
c．世界の国々をネットワークで結ぶこと。
d．欧米社会の考え方や精神を定着させること。

Ⅲ．あなたは海外旅行でどんなことを学びたいですか。

あすへの話題

海外旅行で何を学ぶか

中邨　秀雄

　今年もたくさんの人々がゴールデンウィークを海外で過ごす。初めて海外旅行を経験する若者も大勢いるだろう。私たちの若いころには考えられなかったことだが、彼らは実に自由に、気楽な気分で荷物も手軽にして、日本を飛び立っていく。今の若者をうらやましく思う。頭が柔軟な若い時代に行ってこそ、異文化と触れ合い、楽しみながら多くのことが吸収できるというものだ。

　ただ一つ、老婆心ながら言わせてもらえば、ぜひ異国の文化や価値観を吸収して帰ってきてほしい。有名な観光地を巡るのもいい。ショッピングを楽しむのもいいだろう。しかし、そればかりでは心の肥料にはならない。様々な価値観に触れ、それらを自分の中で消化してこそ、海外旅行経験は大きな財産となる。

　たとえばマナー一つをとってみてもそうだ。特に欧米社会では老人に席を譲ったり、あるいは女性の荷物を男性が持ってあげたりというのは、ごく当たり前の行為である。こうしたマナーが社会的に定着している。

　この考え方や精神を、ぜひ多くの若者たちが日本に持ち帰って欲しい。その積み重ねが住みやすい社会を育てるのではないだろうか。ブランド品よりも何よりも、価値のある土産であることは間違いない。

　世界がネットワークで一つに結ばれる日はそう遠くはない。そのためにコンピューター産業などでは、グローバルスタンダードを作る方向に向いている。おそらく様々な産業の中にも、この世界統一基準が生まれてくるだろう。

　しかし物やシステムにばかり目を向けるのではなく、心やマナーのグローバルスタンダードを築いて行くべきだ。システムが通じるよりも、心が通い合うことの方がより大切である。

　言葉や文化は違っても、人間のコアの部分で共通するものは何か。その何かを探すために、海外へと飛び立って欲しい。

（吉本興業社長）

1999年5月1日付　日本経済新聞

I．次の言葉はどう読みますか。

	a	b	c
(1) 細かい	a．こまかい	b．きめかい	c．ほそかい
(2) 招き	a．まなき	b．まにき	c．まねき
(3) 主張	a．しゅっちょう	b．しゅちょう	c．しゅうちょ
(4) 亡命	a．ぼうみょう	b．ぼめい	c．ぼうめい
(5) 拠点	a．きょてん	b．こてん	c．ぎょてん

II．①～③の中から適当なものを選んで＿＿＿の上に番号を入れなさい。

(1) 英国のスーパーで遺伝子組み換え食品を見つけるのは難しい。それは＿＿＿のが原因とみられている。

① GMジャガイモの実験結果が波紋を広げた
② GM作物の商品化が中止になった
③ GMの研究が遅れている

(2) プシュタイ氏の研究が発表されると＿＿＿から抗議が相次いだ。

① 各国の科学者　② 企業　③ 日本の消費者

(3) プシュタイ氏の日本での講演やインターネットでの訴えに対して、人々からは＿＿＿が多く寄せられた。

① 確認　② 声明　③ 賛同

III．プシュタイ氏の考えと同じものに○、違うものに×をつけなさい。

(1) 遺伝子組み換え食品は、安全性が確かめられなくても商品として売ってもいい。(　　)
(2) 遺伝子組み換え食品の研究は税金で行なうべきである。(　　)
(3) 市民をモルモットにしてはならない。(　　)
(4) 税金を使って行なわれるGM食品の研究結果は、社会に発表する義務がある。(　　)
(5) 無害のレクチンを使ったので、ラットに影響はないはずだ。(　　)
(6) 遺伝子組み換え食品は薬品と同じレベルで実験をすべきだ。(　　)

遺伝子組み換え作物の
流通凍結を訴える

Arpad Pusztai
アーパド・プシュタイさん

英国のスーパーで、遺伝子組み換え（GM）食品を見つけるのは難しい。スコットランドにある研究所にいた一九九八年、テレビで明らかにしたGMジャガイモの実験結果が、波紋を広げたのが大きな原因とみられている。

殺虫効果がある植物たんぱく質レクチンの研究で世界的な権威だ。

害虫に強いジャガイモに改良するため、レクチンをつくるマツユキソウの遺伝子を組み込んだジャガイモをラットに食べさせたところ、内臓の成長阻害や免疫力の低下があったという発表内容だった。「市民をモルモットにすることは許されない」と訴えた。

GM作物の商品化を進める企業などから、抗議が相次いだ。逆に、各国の科学者二十人が研究を支持する声明を発表し、安全性をめぐって論争になった。日本の消費者が不安を抱く震源にもなった。

研究所の所長に発表の了承をとっていたが、発表後には「実験は不完全。社会を混乱させた」と非難された。実験の細かいデータを収めたコンピューターへの接続を許されなくなり、三十五年勤めた研究所を去った。

「無害のレクチンを使ったので結果は予想外だった。研究費は税金だから、国民に知らせる義務があった」

GM食品などの国際基準をつくろうと三月中旬に千葉市で開かれた国際会議に合わせて、市民団体の招きに応じて来日した。

「現在の組み換え技術は未熟。薬品と同程度の実験をし、安全が確かめられるまでは、市場流通をやめるべきだ」と主張する。講演やインターネットでの訴えに対して、賛同の電子メールは五千通を超えたという。

故郷はハンガリー。四十四年前、自由と民主主義を求めて亡命した。研究の拠点を失った科学者は、今度は安全性の確認を訴えて、国境を越える。

文・写真　岡本　峰子

「組み換え稲も遠くない。コメ主食の日本人が考えないと」。69歳。

2000年3月20日付　朝日新聞

すぺくとる

「植物バイオ」に本腰を

昔、「医療と食糧と、どっちが重要かといったら食糧だ。食べものがなければ病気になる前に死ぬ」と言っていた植物バイオの専門家がいた。日本では植物に取り組む分子生物学者が少なすぎるというのだが、こうした状況は今もほとんど変わっていない。

東京テクノ・フォーラム21（代表=堀川吉則・読売新聞社編集主幹）が若手科学者に贈る「ゴールド・メダル賞」の今年の受賞者の一人に、農水省国際農林水産業研究センター主任研究官の篠崎和子さんが選ばれた。遺伝子組み換え技術により、乾燥や塩分、低温など劣悪な環境に強いスーパー植物を開発したのが受賞の理由。その篠崎さんも「日本は植物バイオ、とくに品種改良への応用が弱い」と話していた。

米国では大企業をバックにした植物バイオベンチャーが基礎から応用まで着実に研究を進め、数百人規模の研究所が相次いで設立されている。日本では遺伝子操作した作物（GMO）の安全性論議のあおりで、植物の遺伝子研究で実績のある有力企業までが研究を縮小している。「企業イメージに傷がつく」ということらしい。

しかし、植物バイオを軽く見ていると、将来、そのツケは必ず回ってくる。

環境、資源などの米シンクタンク「ワールドウォッチ研究所」は、二十一世紀の早い時期に、人口増などにより世界で5億トン以上の穀物が不足すると予測している。

年間450万トンも食べ残す日本人にはピンとこないが、食糧は今も足りない。国連食糧農業機関（FAO）日本事務所長の高橋梯二さんによれば、日本のような飽食の国がある一方、世界では8億人以上が食糧不足による栄養不足の状態だ。

食糧増産の切り札の一つとして期待されているのが植物バイオである。最近公表された経済協力開発機構（OECD）の世界農業に関する年次報告でも、植物バイオの有用性は大きいと評価している。篠崎さんが取り組む耐乾、耐塩作物による耕地面積の拡大など十分、実現可能ではないか。

日本がいつまでも飽食の国でいられる保証はない。安全性に配慮しつつ、国も植物バイオに本腰を入れて取り組むべきだ。

（科学部長・平山 定夫）

2000年5月8日付　読売新聞

1．日本の場合にA、米国の場合にBを入れなさい。

(1) 植物に取り組む分子生物学者が少ない。(　　)

(2) 遺伝子組み換え技術により、劣悪な環境に強いスーパー植物が開発された。(　　)

(3) 大規模なバイオ研究所が相次いで設立されている。(　　)

(4) 品種改良への応用が弱い。(　　)

(5) 大企業が植物バイオベンチャーを支援している。(　　)

(6) 植物バイオベンチャーは着実に研究を進めている。(　　)

(7) 企業イメージを考えて、有力企業はGMOの研究を縮小している。(　　)

「ルイ17世生存伝説」に幕

【パリ19日橋本晃】フランス革命で処刑されたルイ16世とマリー・アントワネットの子で、王党派により「ルイ17世」に擁立された少年ルイ・シャルルが、監獄から脱出して生き延び、子孫を残したという「ルイ17世生存伝説」が19日、専門家のDNA鑑定で否定された。フランス史上、最大のなぞの一つをめぐる論争は一応の決着をみた。

DNA鑑定で 10歳病死確認

正史によると、ルイ・シャルルは両親の処刑後、ルイ17世となったが、1795年、パリのタンプル監獄で10歳で病死した。遺体からは心臓が摘出され、スペイン・ブルボン家などを経て、歴代フランス王家の墓所であるパリ北郊サンドニの大聖堂に納められた。しかし、この心臓を別人のものとみる生存伝説が根強く残り、直系子孫を自称する人物が19世紀を中心に100人以上も現れた。生存伝説をめぐり800点を超える書物も出版された。

ベルギー、ドイツの専門家らによるDNA鑑定は、この心臓の断片組織とマリー・アントワネットの遺髪や親類の子孫で生存する人物のDNAとを比較。獄中で死去したルイ17世がマリー・アントワネットの子供だと断定し、別人説は否定された。

2000年4月21日付　毎日新聞

I．①～③の中から適当なものを選んで＿＿＿の上に番号を入れなさい。

(1) フランス革命で処刑されたルイ16世とマリー・アントワネットの子供が、監獄から脱出して＿＿＿という伝説がDNA鑑定で否定された。

①生き返った　　②生き延びた　　③生き別れた

(2) 正史＿＿＿、このルイ・シャルルはルイ17世となったが、1795年に監獄内で病死している。

①によって　　②にとって　　③によると

(3) ルイ17世の生存伝説は＿＿＿残り、直系子孫を自称する人物が19世紀を中心に100人以上も現れた。

①根強く　　②根気よく　　③力強く

(4) 生存伝説を＿＿＿800点を超える書物が出版された。

①まわって　　②めぐって　　③かねて

Ⅰ. 次の言葉はどう読みますか。

(1) 大量　a. たいりょう　b. だいりょう　c. たりょう
(2) 日進月歩　a. にっしんげっぷ　b. にっしんげっぽ　c. にしんげっぽう
(3) 苦手　a. へた　b. くしゅ　c. にがて
(4) 思惑　a. しわく　b. おもわく　c. おもい
(5) 足元　a. そくもと　b. そくげん　c. あしもと

Ⅱ. ①～③の中から適当なものを選んで______の上に番号を入れなさい。

(1) インドのIT産業は、同じ英語圏という事情に加えて______の存在が米国企業を引きつけた。
① 経済力　② 優秀な技術者　③ 高度情報教育

(2) 日本のIT産業は、海外との交流を深めないと、国際競争力を失い______。
① かねない　② がちだ　③ かける

(3) 日本のソフト業界には「米国に次ぐ規模の日本市場は、日本企業だけが独占したい」との______があるようだ。
① 指示　② 反省　③ 思惑

Ⅲ. 記事の内容と同じものに○、違うものに×をつけなさい。

(1) 米国とインドのIT産業交流は進んでいる。(　　)
(2) 日本はインド人技術者のビザ規制を緩和する方針を示した。(　　)
(3) インドのコンピューターソフトの対日輸出比率は、60パーセントを超えている。(　　)
(4) 日本はインドのコンピューターソフトを少しは輸入している。(　　)
(5) 通産省はインドとのIT産業の交流拡大を希望している。(　　)
(6) 日進月歩の技術動向を知るには、インドとの提携が必要だ。(　　)
(7) 日系企業のインドへの進出は進んでいる。(　　)

窓　論説委員室から

IT鎖国

情報技術（IT）産業をめぐる日米両国の成長力の差は、インドとのつきあい方の差にも出ているようだ。

インドのIT産業の成功の背景に、米国企業の大量進出があるのはよく知られている。同じ英語圏という事情に加えて、優秀な技術者の存在が米国企業を引きつけた。

インド政府も高度情報教育に力を入れるなど、「情報技術立国」をめざしてきた。

通信網に乗って、大量で安価なインド製ソフトが流れる。最近訪印したクリントン大統領が、ビザ規制を緩和する方針を示したのは、米国の繁栄をインド人技術者が支えているとの認識があってのことだろう。

これに対して、日本とインドとのIT交流はか細い。

インドのコンピューターソフト輸出統計（一九九八年度）を見ると、米国向けが六三・五％なのに対して、日本向けは四・五％しかない。欧州や東南アジア向けの輸出増によって、対日輸出の比率は減っている。

通産省は先月、ニューデリーでの協議で、IT産業の交流拡大策を初めて提示した。

日本市場を紹介する研修の実施や、許認可申請をインターネットで受けつける「電子政府」づくりなどが対策の柱だ。

「インドと提携することで、日進月歩の技術動向を知ることができる。海外との交流を深めないと、日本のIT産業は国際競争力を失いかねない」と、同省の担当者は言う。

日系企業の対印進出は進んでいない。日本人は、英語によるコミュニケーションも苦手だ。ソフト開発業界には、「世界第二位の規模の日本市場は日本企業だけが独占したい」との思惑も見え隠れしている。

分厚い壁を壊すのは容易ではない。しかし、IT産業の将来のためには、足元の鎖国状況を何としても打ち破る努力が必要ではないか。　〈脇〉

2000年4月5日　朝日新聞

Ⅰ. 次の言葉はどう読みますか。

(1) 追放　a. ついほう　b. ついほう　c. つうほう
(2) 募る　a. とる　b. つのる　c. あげる
(3) 唯一　a. ゆいち　b. ゆういつ　c. ゆいいつ
(4) 映す　a. うつす　b. しるす　c. はやす

Ⅱ. ①～③の中から適当なものを選んで＿＿＿の上に番号を入れなさい。

(1) 古代ギリシアのオストラキスモスは、追放したい者の名を記入して投票し、一定数に達すると追放になる＿＿＿である。
① 運動　② 予言　③ 制度

(2) アテナイは直接民主主義である。＿＿＿民意の反映は十分ではなかった。
① そのままで　② それでも　③ それで

(3) 日本でも、先ごろ韓国で市民団体が大規模に展開した「落選運動」を繰り広げようという＿＿＿が出てきた。
① 可能性　② 動き　③ 努力

(4)「落選運動」は、選挙という唯一の道に大きな＿＿＿を与える可能性をもっているようだ。
① 影響　② いらだち　③ 行使

Ⅲ. 記事の内容と同じものに○、違うものに×をつけなさい。

(1)「落選運動」は韓国の総選挙で成果がなかった。(　　)
(2) 民意の行使は選挙に頼るほかはない。(　　)
(3) 民主主義はそのままで完璧な制度である。(　　)
(4) 日本の政治には、必ずしも民意が反映されているとは言えない。(　　)
(5) 民主政治は民意を正しく反映させる努力が必要だ。(　　)

筆洗

古代ギリシャにオストラキスモスというのがあった。訳して陶片追放。追放したい者の名をオストラコン（陶片）に記して投票し、一定数に達すると追放になる制度である。民主政治の発祥地の民意表現の一つ▼現代の日本。解散、総選挙が近づく中、「落選運動」というのを繰り広げようという動きが出てきた。先ごろの韓国の総選挙で市民団体が大規模に展開して「戦果」を得たあれである。問題のある候補者名を全国から募り、市民団体の委員会で検討の上、落選させたい候補者のリストを公表する▼形の上での数合わせで必ずしも民意を反映しない永田町政治へのいらだちは、確かにある。代議政治の常として、民意の行使は、選挙に頼るほかはないが、ほかに方法はないものだろうか。「落選運動」は、選挙という唯一の道に大きな影響を与える可能性を持っているようだ▼古代ギリシャの都市国家、アテナイは直接民主主義である。それでも民意の反映は十分ではなかった。オストラキスモスは民主政治の一種の堕落ともみられるが、それほどに、民意の「正しい」反映は難しい▼古代ギリシャの哲学者、プラトンは対話編『国家』において、政治形態に順位をつけた。哲人政治が最も優れ、貴族政治、民主政治がこれに次ぎ、民主政治は僭主政治に堕すると▼民主主義は金科玉条視されているが、そのままで完璧な制度なのではない。民意を正しく映すものとして絶えざる努力を必要とする。与えられるものでなく、つくり上げるものなのだ。「落選運動」が、この努力に一石を投ずることができるだろうか。

2000年4月20日付　東京新聞

Ⅰ．次の言葉はどう読みますか。

	a	b	c
(1) 穀物	a．こくぶつ	b．こくもつ	c．ごくもつ
(2) 飽食	a．ほうしょく	b．ぼうしょく	c．ほしょく
(3) 解く	a．きく	b．かく	c．とく
(4) 備え	a．そなえ	b．たくわえ	c．そろえ
(5) 爆発	a．ばっぱつ	b．ばくはつ	c．ぼうはつ

Ⅱ．①～③の中から適当なものを選んで______の上に番号を入れなさい。

(1) 日本の穀物の______は27パーセントで世界178カ国中130番目である。
① 自給率　　② 輸入率　　③ 備蓄率

(2) 現代人は______データを豊富に持っていても、将来への備えには鈍感になったようだ。
① 科学的　　② 歴史的　　③ 政治的

(3) 作家の野坂氏は、昭和20年ごろの体験を______と表現している。
① 破滅寸前　　② 餓死寸前　　③ 発病寸前

(4) 本来、島国は自給自足の仕組みが成り立って______こそ、人間、生物が棲みつける。
① いたら　　② いると　　③ いれば

Ⅲ．記事の内容と同じものに○、違うものに×をつけなさい。

(1) 食物があふれている今の日本で「飢え」の実感はない。（　　）
(2) 日本の食卓を支えている輸入食品は、将来も途絶えない。（　　）
(3) 日本はもともと自給自足の国だ。（　　）
(4) 人口が減少している日本は、食糧難の心配はない。（　　）
(5) 人口爆発の地球に、食糧危機は必ず来ると言われている。（　　）
(6) 過去に飢餓体験を持つ人は、日本にはもういない。（　　）

筆洗

笑って見過ごせない話である。わが国の米や小麦などの自給率は二七％。世界百七十八カ国の百三十番目。三十年後、世界で五億トンの穀物不足が恒常的になるといわれるのに▼今、飽食の日本で「飢え」の実感はない。けれど、豊かな食卓を支えているのは海外からの大量の輸入食品である。この輸入が未来永劫、途絶えないという保証はない▼旧約聖書の創世記に出てくるヨセフは、古代エジプトの王、ファラオの夢を解き、大飢饉の到来を予言することで国を救った。現代人は、科学的なデータを豊富に持っていても、将来への備えには鈍感であるようだ▼作家の野坂昭如さんが『かくて日本人は飢死する』（PHP研究所刊）というショッキングな題の本を出した。「ぼくの飢餓体験は昭和二十年夏あたりから、二十二年暮れまで、最後のころは餓死寸前だった」と書き出す▼「今の日本は、いつ、あの列島住民、明けても暮れても、食うことばかり念頭にあった状態に堕ちこんでも不思議はない。本来、島国は食いものについて自給自足の仕組みが成り立っていればこそ、人間、生物が棲みつける。わが国のありようは、この本来の姿と、まるでかけ離れてしまった、地球で抜きん出た食いもの輸入大国」▼人口爆発の地球に飢えの恐怖がしのびよるとき、日本は本来自給自足の国だということを思い起こさねばならないだろう。

「飢え」の実感を持つ人が少なくなってしまった今、飢餓体験を持つ人の言は、戦争体験のように耳を傾ける必要があると思われる。

2000年6月13日付　東京新聞

Ⅰ．次の下線のところの意味に相当するものを選びなさい。

(1) いつもヒョンなことから次が決まっていくだけだった。
　a．非常に困った
　b．偶然の

(2) よくもあんなところで生物の研究ができたものだが、当時は研究室とはこんなものだと思っていた。
　a．古くて入り口の戸がない部屋
　b．倉庫のようなところ

(3) 渡辺先生の人柄も加わってのことだが、上下関係などなしの自由な話し合いで呼びさまされた知的興奮の快さは忘れられない。
　a．眠っていた状態から起こされた
　b．大声で名前を呼ばれた

Ⅱ．文を完成させなさい。

(1) 建物が古い＿＿＿＿＿＿＿＿実験機器も＿＿＿＿＿＿＿＿かった。

(2) 機械を借りにあちこち歩いたおかげで、＿＿＿＿＿＿＿＿を知った。

(3) お互いに話し合って問題点を明らかにし、＿＿＿＿＿＿＿＿を探っていく討論は、常に考えるという＿＿＿＿＿＿＿＿と組合わさっており、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿行為だ。

(4) ＿＿＿＿＿＿＿＿のある科学者を育てたいなら、若い時に、討論して考えることの＿＿＿＿＿＿＿＿を味わわせることだ。

ＪＴ生命誌研究館副館長　中村　桂子　▶▶9

誕生したての分野　忘れ得ぬ知的興奮

ふり返ってみて、いつもヒョンなことから次が決まっていくだけで、どうも信念や決意に欠けるが、好奇心と人への敬愛だけは持っていたと思う。就職の声もかからないしということで入った分子生物学の道だったが、ここが好奇心をそそる話題に満ち、尊敬できる方がたくさんいる分野だったのは本当に幸いだった。

まず、大学院入学をお願いするためにお会いした渡辺格先生が面白そうな方だったので、数日後に研究室を訪れたら、「先生は海外出張だけれど、面白そうな女の子が来るから入れとけよと言い残していった」と聞かされた。さすがに、私も先生を面白そうと思ったとは言えなかったが、このめぐり合いは思い出に残っており、ありがたいことに今もこの関係は続いている。

ところで、渡辺研究室なるものは倉庫のようなところだった。床はコンクリートの打ちっ放し、入り口の戸も窓もガタピシしており、大腸菌とはいえ、よくもあんなところで生物の研究ができたものだが、当時は研究室とはこんなものだと思っていた。今となっては、誕生したてでまったく評価されていない分野を象徴するようなあの建物が妙になつかしい。

というのも、その中での生活は、生まれたてであるがゆえの楽しさに溢れていたからだ。新しい分野なので、先生も勉強が必要だ。それまでは、先生とは教えて下さるものと思っていたのに、一緒に勉強し、しかも一番面白そうに誰の言うことにも耳を貸している。もちろんそれは、御自分のことを私のような新入生にまで〝格さん〟と呼ばせた渡辺先生の人柄も加わってのことだが、上下関係などなしの自由な〝話し合い〟で呼びさまされた知的興奮の快さは忘れられない。

建物が古いだけでなく、実験機器も乏しかった。私のテーマは、たんぱく質合成の材料であるアミノ酸を運ぶ二十種の小さなRNAを分離することだった。それには超遠心分離機で必要な試料を手に入れなければならないが、そんな高価な機械はない。先輩格の技官、北村とも子さんについて機械を借りによく出かけた。あちこち歩いたおかげで異分野の人を知ったことは、後でとても役に立った。

その頃、遺伝子によるたんぱく合成の調節の仕事で世界中の若者を興奮させたパストゥール研のジャコブが最近の著書で「当時は少し分野の異なる二人の共著論文が次々と出た。二人の徹底的な討論で創造的な研究が生まれた輝きのある時代だった」と言っている。討論（ディスカッション）の重要性は声を高くして言いたい。最近テレビでもそれらしい番組があるが、その多くは、話し合いになっていない。多くは言いっ放し、よくて論争（ディベート）、自分の立場を主張して相手を打ち負かすものだ。お互いに話し合って問題点を明らかにし、解決策を探っていく討論は、常に考えるという作業と組合わさっており、新しいものを産み出す行為だ。

理科離れを防ごうとして面白実験で子供を惹きつけたりしているが、それはそれ。創造性のある科学者を育てたいなら、若い時に討論して考えることの面白さを味わわせることだ。生物学も表舞台に引き出されて大型プロジェクトが動いており、忙しくて討論の余裕が消えているのが気になる。いや科学に限らない。時代の変わり目である今、必要なのは、考える人を育てることだと思う。

2000年5月27日付　日本経済新聞

スウェーデン副首相
レーナ・イェルムヴァレーン

少子高齢化への挑戦で論議を

スウェーデンは日本と同様、少子高齢化の問題に直面しており、日本での対策を知るため、このほど、日本の福祉施設などを視察しました。

日本では一九九二年の来日の際、健康を害して東京の郊外の病院に入院したことがありました。わずか四日間でしたが、日本の人と親しくなることができ、日本を知るのにとても役立ちました。今回は、特別養護老人ホームが併設されている東京都中央区の晴海保育園、晴海中学校を訪れ、子どもたちと高齢者の触れ合いを見学しましたが、スウェーデンでは同様の試みはうまくいっていないこともあって、たいへん参考になりました。

スウェーデンには、だれもが等しく、医療や教育、介護を受けられる制度があり、国民も大多数がこれを支持しています。

しかし、少子高齢化の問題は大きな課題になっています。

少子高齢化問題は、国の経済に重大な影響を及ぼすだけに、労働力を今後どう確保していくかが問題です。そこでスウェーデンでは、二十歳から六十四歳までの労働力人口の人口全体に占める割合を二〇〇四年には現在の七四%から八〇%に増やす方針を打ち出し、すでに七八%まで増加させました。

しかし、目標達成には、女性の労働時間の延長が必要で、男性の家庭での役割もそれだけ大きくなります。また、移民の雇用機会の増大も課題。さらに問題なのは、定年の延長です。スウェーデンでは、働いた期間に応じて年金が支払われる新しい制度を導入し、高齢者の勤労意欲を高めることに努めていますが、そのためには高齢者が健康で活力ある生活を送ることができる社会と家庭を築くことが何よりも大切でしょう。

日本では四月から介護保険が始まったと聞いています。新たな世紀に向け、こうしたスウェーデンの挑戦は、きっと日本にも参考になり、今後、両国間での論議に役立つものと期待しています。

（篠山　実）

2000年4月21日付　産経新聞

I．①～③の中から適当なものを選んで＿＿＿の上に番号を入れなさい。

(1) スウェーデンは日本と同様、少子高齢化の問題に＿＿＿している。
　① 対面　　② 直面　　③ 影響

(2) 少子高齢化問題は、国の経済に重大な影響を及ぼす＿＿＿、労働力を今後どう確保していくかが問題だ。
　① からは　　② ように　　③ だけに

(3) スウェーデンでは、働いた期間に＿＿＿年金が支払われる新しい制度を導入し、高齢者の勤労意欲を高めるようにしている。
　① 向けて　　② 応じて　　③ まとめて

(4) 21世紀に向けたスウェーデンの＿＿＿は日本にも参考になるはずだ。
　① 挑戦　　② 支持　　③ 論議

特派員メモ ◆ローマ

いまカーニバルの真っ最中だ。イタリアでは、ベネチアの祭りが有名だが、子供たちにとっては、仮装を楽しむ時期になる。

五歳になる長男も、妻と買い物に出かけ、ナポレオンの衣装を買ってきた。五万リラ（三千円弱）だが、勲章のついた外とうやブーツ、帽子、剣までそろっていて本格的だ。さっそく変身し、勇んで幼稚園に向かった。

昼すぎに戻ってきた息子に聞いてみると、友達も、怪傑ゾロやシンデレラ、キャプテンクックなど、みな思い思いの衣装で来たらしい。担任の先生もピエロの格好だったという。

その日の夕方、余勢を駆って、仮装姿の息子と街に出た。

童心いつまでも

すると、結構いるいる。同じような家族連れが歩いているのだ。

おもしろかったのが周りの反応だ。「やあ、ナポレオン」「ナポレオンさん、ちょっと失礼」などと、見ず知らずの人が声をかけてくる。背広を着込んだサラリーマン風の男性が、ナポレオンにうやうやしく道を譲ってくれたことも。老若男女、みな一緒に楽しんでいる、という風情だ。

イタリアは、社会全体が子供に優しく、子育てがしやすい。少子化や親子のきずなの強さが背景にあるとされる。だが、人々が子供のような心を持ち続けているということもあるように見える。

（藤谷　健）

2000年3月8日付　朝日新聞

Ⅰ．次の言葉はどう読みますか。

(1) 格好
a. かっこう
b. かくこう
c. こうこう

(2) 譲る
a. あげる
b. ゆずる
c. わたる

(3) 風情
a. ふじょう
b. ふうぜい
c. ふぜい

(4) 優しく
a. やさしく
b. おとなしく
c. ゆうしく

(5) 子育て
a. こそたて
b. こそだて
c. こそだって

Ⅱ．記事の内容と同じものに○、違うものに×をつけなさい。

(1) カーニバルで、仮装するのは大道芸人たちだ。(　　)
(2) カーニバルの時は、仮装姿の子供を連れた家族が楽しそうに街を歩いている。(　　)
(3) イタリアの社会は子育てがしにくい。(　　)
(4) イタリア人は大人になっても、童心をもち続けているようだ。(　　)
(5) イタリアで子供を大切にする背景には、少子化や親子のきずなの強さがある。(　　)

メキシコがまず第一に好きだからです。この国はだれに対しても、人それぞれの生き方を許し、認める「アイ・デ・トード」の国だからです。まあ、人生、世の中、いろいろあらあさとでも訳したら、いいのでしょうか。それが、気候から風土、考え方まで何でも通じるのです。日本の戦後が目指してきたものの対極にありながら、「アイ・デ・トード」の中から人生哲学を教えられたようで、学校を作るなら、メキシコと決めていました。

―アカデミアの今後は。還暦後の人生については。

種をまき、芽が出て、花も咲きました。音楽が嫌いになる生徒を一人も作らなかったことも誇りの一つです。これまでずっと走り続けてきたので、25周年のコンサートは教え子に任せたい。今後はお金持ちでなく〝時間持ち〟になりたい。これまで読めなかった本を読み、見られなかった映画も見たい。もちろん教え子たちから相談を受ければ、喜んで助言も。これも一つの還暦後の姿でしょ。

2000年5月20日付　毎日新聞

I．正しいものを一つ選びなさい。

(1) バイオリニスト黒沼ユリ子さんが、子供のための音楽学校を始めたのはなぜですか。

a. 演奏活動で世界中を飛び回るのをやめたいと思ったから。
b. 時間もお金もメキシコのために使いたいと思ったから。
c. 人生の証(あかし)として、自分の持っているものを伝えたいと考えたから。

(2)「アカデミア・ユリコ・クロヌマ」の記念コンサートに出演するのはどんな人ですか。

a. 世界で有名なバイオリニスト。
b. 黒沼ユリ子さん自身。
c. アカデミアを巣立った日墨の子供たちと友人。

(3) 黒沼さんはなぜメキシコが好きですか。

a. 人それぞれの生き方や考え方を認める国だから。
b. 国民は競争心が強くて仕事熱心だから。
c. 経済大国になろうとしているから。

日墨の懸け橋　数百人が巣立った

「アカデミア・ユリコ・クロヌマ」20年

9月に記念コンサート　黒沼ユリ子さんに聞く

バイオリンを通じて日本とメキシコの懸け橋を築こうと、子どもたちの音楽教育を続けるメキシコ在住のバイオリニスト、黒沼ユリ子さんの「アカデミア・ユリコ・クロヌマ」（黒沼ユリ子音楽院）が誕生して今年で20年。「アカデミア」からは数百人の子どもたちが巣立った。この20年の節目を機に9月2日、メキシコ市にあるメキシコ国立自治大学のコンサートホールで、日墨の子どもたちを中心にした記念コンサートが開かれる。黒沼さんも今年、還暦を迎える。人生の最終楽章をメキシコで、と考えている黒沼さんに、音楽、学校、これからの人生などを聞いた。【沢田　猛】

―資金難やメキシコ大地震などを乗り越え、20年を迎えるわけですが。

30代までは演奏活動で世界を飛び回り、バイオリンを教える機会はあまりありませんでした。30代後半になって、人生を生きてきた証、つまりバイオリンを弾くことを志す子どもたちに、私の持っているものを伝える、〝種まき〟をしなければ、と思うようになりました。「アカデミア」を開校したのは40歳のときでした。当初、5年ぐらい続けばと思っていたのが、10年、15年と続き、20年を迎えることになりました。これもメキシコや日本などからの熱心な応援が支えにもなりました。

―記念コンサートはどんな内容になるのですか。

「アカデミア」に在籍、もしくはアカデミアを巣立ったメキシコ人やメキシコとかかわりのある日本人、それに若いころ、私が留学したチェコのプラハ時代の友人たちによる弦楽器による演奏会です。クライスラーやドボルザーク

「熱心な応援に支えられ　いい生徒にも恵まれました」

などの約10曲を100人を超える出演者によって行います。これまでの20年間のアカデミアの成果の〝報告〟という意味もあります。この間、アカデミアからはメキシコと日本合わせて10人以上がプロとして巣立ちました。いい生徒に恵まれました。

―アカデミアの拠点をなぜメキシコに。

通訳奮戦記

日中、予想上回る人的交流

神崎　多実子

数年前のある会議の時、会場で中国側から「同時通訳に」と渡された発言原稿の「実質的な交流」という言葉から「実質的」がことごとく削られ、ただの「交流強化」に直されていた。日本の地方自治体などと実益のある交流を望む中国側が、多分現実にはさほど容易ではないことを会議を通して察知し、その結果トーンを下げたようだった。

確かに「実質的な交流」といっても双方の立場の違いなどにより一挙に進めるのは難しいと思うが、こと人的交流についていえば、ここ数年予想をはるかに上回る勢いで進んでいるように感じられる。

中国語通訳界をみても、例えば一昨年江沢民主席が訪日し、仙台を訪れた際に開かれた歓迎レセプションで、各テーブルの通訳を務めたボランティア通訳者十数人は、ほとんどが中国語を母語とする人たちで、留学生や地元で働いている中国人または日本人と結婚した人たちだった。中国の若い人たちが異郷で通訳を務め、自国の指導者を迎え入れることができたのは、特別の思い出になるに違いない。だが私はふと、ごまんといる日本の中国語学習者はどうしたのかな、仮に日本の首相が中国の地方都市などを訪れたとしても、これと逆の現象は起きないだろうなと思った。

さらに今春、私が教えている中国語通訳養成学校の上級クラスでは、初めて母語を中国語とする人の数が日本人を上回った。そして互いに通訳をめざして仲良く勉強し、切磋琢磨（せっさたくま）している。どうもこれからは私も日本語教師としての努力をする必要がありそうだ。

そういえば、時折我が家を訪れる日本在住十年ほどになる中国の友人のお子さんたちが、日本語はもちろん、発想までも日本人的なので「将来は日本人になるのかしら?」と言ったら、「これからの時代、なにも国籍などにこだわる必要はないのでは」という答えが返ってきた。どうやらいま私たちはボーダーレス時代の渦中で、揺れ動いているようである。

2000年5月17日付　日本経済新聞

I．正しいものを一つ選びなさい。

(1) 江沢民主席の歓迎レセプションで通訳を務めた人はだれですか。

a. 中国から派遣された人。

b. 日本人と中国人が半分ずつ。

c. 日本に留学している学生や地元で働いている中国人。

(2) ボーダーレス時代というのはどんな意味ですか。

a. パスポートやビザがいらない時代。

b. 国籍にこだわらないで広く物事を考える時代。

c. 日本語通訳は、日本語を母語とする人だけで行なう時代。

通訳奮戦記

治安良いが人間関係は…

横田　佐知子

二、三年前と比べ最近の東京は歩くのが苦痛になってきた。

広い歩道を歩いていると後ろからドシンと突き当たり、そのまま去っていく人。横の空間は十分あるし、こちらも結構急ぎ足で歩いていた。どう考えても「追突」される理由がない。無言で何事もなかったように遠ざかる人物はその後もひたすらまっすぐ突き進み、また別の歩行者にぶつかっている。南米に暮らしていたころ狂犬病がはやったことがあった。学校で「一直線にまっすぐ歩く犬に特に注意するように」と言われたことを思い出し、思わず犬の姿を重ねてしまう。

自転車も同じだ。通行量の多い通りの歩道では後からくる自転車の音など聞こえないのに歩行者が悪いとばかりにののしりながら通過していく。そもそも本来歩道上では自転車を押して歩くのがルールと承知している。せめて声をかけるかベルを鳴らせば良いものをちょっとした「手間」を惜しむ。見知らぬ者同士それなりのコミュニケーションは必要だし、それが街での人間関係を円滑にするのではないか。

東京は世界の大都市のなかでも治安が良い部類に入る。スペイン語圏のほとんどの大都市は残念ながら治安に問題がある。治安が悪いと日常生活でも緊張を強いられる。手荷物ひとつでも日本のように気安くその辺に置くわけにいかない。しかし、そこに住む人は、というとちょっとしたことでも「ごめんなさい」「ありがとう」がすぐ口をついて出てくる。まるで口のなかであめをころがしているようにころした言葉が常に準備万端整えられていつでも「出動」できるようになっているかのようだ。

治安は良くても街ではギスギスした人間関係に不快な思いをし、ストレスをためる日本の都市。ラテン系の都市では自分の身の安全に神経を使いながらも行動ぶりは決して「ひとを見たら泥棒と思え」式のそれには見えない。この違いのもとは何だろう。

2000年4月19日付　日本経済新聞

I．正しいものを一つ選びなさい。

(1) 筆者は東京の街を歩いてどのように思いましたか。

a．身の安全に神経を使いながらも人間関係が円滑である。

b．治安はいいが、人間関係がギスギスしていてストレスがたまる。

c．すぐに見知らぬ人同士が話し出す。

(2) 筆者は街の人間関係を円滑にするものは何だと考えていますか。

a．見知らぬ人にはあまり話しかけないこと。

b．ちょっとした手間を惜しまず、コミュニケーションをとること

c．歩行中は無言でひたすら突き進むこと。

読めば 読むほど

「こだわり」にこだわる

「こだわりの一品」「味にこだわる」。テレビや週刊誌によく現れる表現です。「妥協しないで、とことん追求する」（「大辞泉」1998年発行）という肯定的な意味で使われることが最近は多いようですが、元来は否定的な意味合いが強い言葉でした。

「日本国語大辞典」（74年発行）によると、①すらすらと行かないで、ひっかかったり、つかえたりする②気にしなくてもいいようなことが、心にかかる。気持ちがとらわれる。拘泥する③故障をいいたてる。わずかのことに理屈をつけて文句をいう。なんくせをいう——などとあり、決してよい意味で使われたのではありません。

「花は桜木、人は武士」。パッと咲いて、パッと散る。潔さが美徳とみなされた日本人の心情に照らすと、一つの事柄にいつまでも「こだわる」のは、未練がましく、みっともないという受け止め方が一般的でした。「賤しい根性は自然此間にこだはって居た」（巌谷小波「当世少年気質」）、「後は何等のこだわりを私の頭に残さなかった」（夏目漱石「こころ」）といった具合です。

「こだわる」の意味が大きく転換したのは、いつごろからでしょう。経済水準が上がり、生活が快適になった半面、生きることの意味や目的が分かりにくくなってきた現代の日本人。生きる証しを求めて、たとえささやかであっても、一つの事柄に"自分らしさ"や、心のよりどころを求めたい。そんないじましいまでの心情が「こだわる」の意味を逆転させた理由でしょうか。【松崎 仁紀】

校閲インサイド

2000年4月25日付　毎日新聞

Ⅰ．次の文の中で、肯定的な意味合いのものにA、否定的意味合いのものにBを入れなさい。

(1) 彼の欠点は、金銭にこだわりすぎるところだ。(　　)
(2) ウデのいい料理人は、食材にもこだわりをみせる。(　　)
(3) モネは、太陽の光の変化にこだわった名作を数多く残した。(　　)
(4) 課長は、部下の小さいミスにいつまでもこだわる。(　　)
(5) 無農薬野菜にこだわって、割高でも生産者から直接購入する人が増えている。(　　)

Ⅱ．①～③の中から適当なものを選んで______の上に番号を入れなさい。

(1) 経済水準が上がり、生活が快適になった______、生きることの意味や目的が分かりにくくなってきた。
　① 半面　　② 以上　　③ からには

(2) ______ささやかであっても、一つの事柄に自分らしさを求めたい。
　① わずか　　② たとえ　　③ たとえば

Ⅰ．次の言葉はどう読みますか。

(1) 掃除	a．そじ	b．そうじ	c．そうじょ
(2) 手伝い	a．てづたい	b．てつだい	c．てつたい
(3) 希薄	a．きはく	b．きぼく	c．きっぱく
(4) 深刻	a．じんこく	b．しんこ	c．しんこく

Ⅱ．次の文の中から正しいものを選びなさい。答えは一つとは限りません。

(1) 文部省が調査した3項目はどれですか。

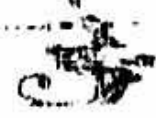
a．家でどのくらい勉強をするか。
b．うそをつかないように親に言われるか。
c．父親がいるか。
d．友達同士のいじめを注意するか。
e．家の掃除や整頓を手伝うか。

(2) 調査によってわかった日本の特徴はどんなことですか。

a．外国に比べ子供に対する親のしつけが甘い。
b．父親は英国の父親よりもよく子供を叱っている。
c．親は子供に家の仕事をよく手伝わせている。
d．親はしつけを大事にしている。
e．父親が子供を叱ることがない。

(3) 筆者はどのように思っていますか。

a．日本の子供は自由な生活ができて幸福だ。
b．不自由を知らない日本の子供は不幸だ。
c．日本の親が子供に甘いのは仕方がない。
d．日本の親は子供にもっと厳しくすべきだ。
e．学校でのしつけを厳しくすべきだ。

放射線

不自由を知らない子供たち

文部省の「子供の体験活動に関する国際比較調査」を読んだ人たちは、なるほど、そうだろうな、仕方がないなと思ったか、これは大変、どうにかしなくちゃと思ったか、前者が多いように思うのだがどうだろう。

日本と韓国、米国、英国、ドイツの小学五年生と中学二年生の六千六百十七人を対象に、家の中の掃除や整頓を手伝うこと、いじめを注意したこと、うそをつかないように、と両親から言われるかどうかの三項目についての調査であるが、いずれの項目でも日本は最下位である。

家の中の手伝いはほとんどがしていない、いじめを注意することもまずない、うそをつかないように両親に言われることもあまりない。これは何を意味するのか。親のしつけが甘いこと、友だち同士の仲も希薄だということである。

父親が子供を叱ることがないのが日本の場合特徴的である。「弱いものいじめはしていかん」と英国の父親の三四%が言うのに、日本の父親はわずかに九%である。いつからか、父親がいる家庭でさえ父親不在になっている。

文部省は調査結果を「深刻に受け止め、各家庭でしつけを大事にする施策を進めたい」というが、これほどむずかしいことはない。いま、子供たちは飢えることがない。欲しいものはたいてい手に入る。友だちがいなくてもゲームで遊べる。両親は何をしても、何もしなくても、うるさくない。となると自由で楽しいことばかりである。

不自由を知らない子供たちは不幸であることを、親たちは家庭の緊急事態として認識すべきではないだろうか。きちんとしつけをしていたら、その娘は満員電車の中で大声で電話をかけ、食事をし、化粧まですることはないに違いない。

（長谷川　智恵子＝日動画廊副社長）

2000年3月25日付　東京新聞

Ⅰ．次の言葉はどう読みますか。

(1) 取得　　a. しゅとく　　b. しゅうとく　　c. しゅっとく
(2) 衣食住　　a. いいしょくじゅ　　b. いしょくじゅう　　c. いじきじゅう
(3) 交わる　　a. かかわる　　b. かわる　　c. まじわる

Ⅱ．正しいものを一つ選びなさい。

(1) 外国人が日本国籍を取得した場合、日本人は何を望みますか。

a. 人権を尊重すること。
b. 自国の生活習慣を失わないこと。
c. 日本人になりきること。

(2) 日本人は国家をどう考えていますか。

a. 強制力を持つ強い存在。
b. 様々な人種が一緒につくっていくもの。
c. 生まれた国であり、自分で選ぶことができないもの。

(3) アメリカが国家として、日本と根本的に違っている点は何ですか。

a. 憲法をもっていないこと。
b. 世界中から移民や亡命者を受け入れて国をつくったこと。
c. 社会主義の国であること。

Ⅲ．①～⑥の中から適当なものを選んで______の上に番号を入れなさい。

日本は内政外交両面で重要な______を迫られていながら、依然として状況に______だ。日本人は今こそ______の呪縛から自分を解放し、自己革新の方法を______しなければならない。

① 亡命国家　　② 体得　　③ 消極的　　④ 追随的
⑤ 選択　　⑥ 自然国家

放射線

日本人と自然国家

日本人ほど「選び選ばせる」ことを苦手とし、「なりならせる」ことを好む国民はないと思う。

たとえば外国人が亡命や移民、国籍取得の形式で日本国を自分の国家として選び、永住を望む時、日本人は何よりその人が日本人になり切るよう求め、しかるのち初めてその選択を認める傾向を示す。衣食住すべてに日本人と変わらない生活スタイルを身に付け、さらに血統までも日本人と交わるまで、その選択を認めることを欲しない。「なりならせる」を、まず先行させ、その後「選び選ばせる」のである。

小錦、曙の国籍取得の事例はこうした日本人の特性を示して余りある。私自身、天安門事件の数年後、中国の民主活動家の趙南氏が日本への政治亡命を求めた際、その裁判をいささか手助けした経験から実感を強くした。

日本人にとって国家は選び取ったものではない。生来自身の存在と切り離せない自然のものであり、いわば「自然国家」なのだ。

自由に自分の国籍を離脱し、世界に新たな永住地や国籍を求める諸国民がいることを知ると不思議な思いにとらわれる。海外華人を世界中に抱える中国人はその代表例だ。むろん一大移民国家にして亡命国家でもある米国も、日本国家とは根本的に性格を異にする。

問題は時代状況の変化にともない、今日の日本が内政、外交両面で自覚的な選択を迫られる事態が増大していながら、容易に選択をなし得ないでいる点にある。警察や金融、医療など国家に深く結びついた諸機構が根本から腐敗し、これを造り替える必要を自覚し、外交面でも冷戦後世界の流動する状況下に、重要な選択を迫られながら、依然、状況に追随的で有効な選択をなし得ずにいる。

この意味で日本人は「自然国家」の呪縛（じゅばく）から自分を解放し、真に「選び選ばせる」自己革新の方法を今こそ体得しなければならない。（加々美光行＝愛知大学現代中国学部長）

5月2日付　東京新聞

んは作品についてのべている。「電車のなかの時間や空間はそこに置きざりにされたままである。おたがいに無関心であり、無関心をよそおい、無関心であることを強要される」。そんな状況で「わたしは面をつけ、名札をつける。それらは私たちが顔や名前をもつことによって特定のだれかになることをあらわすジェスチャーである」。それによって、ふだん無意識におこなっている自己を演じるという日常の行為の真実をみようとしたという。

それにしても、かの女がつくった仮面が自分の顔に似ているのがおかしい。人は演技しながらも、自己自身からのがれられないのだろうか。

（国立民族学博物館教授）

2000年4月19日付　日本経済新聞

I．山口さんの行動にA、日本の乗客の行動にBを入れなさい。

(1) 赤い帽子をかぶって胸に名札をつけた。(　　)
(2) スケッチをしながら画用紙をつないでいった。(　　)
(3) カバンをかかえたまま居眠りをした。(　　)
(4) サイン入りの自分の写真を座席に残して電車を降りた。(　　)
(5) 新聞をひろげて読みふけるふりをした。(　　)
(6) 素知らぬ顔で乗ったり降りたりした。(　　)

II．次の質問に答えなさい。

(1) 電車の中の出来事にも、ほかの乗客にも無関心という日本の車内風景をあなたはどう思いますか。

(2) あなたの国では、ストリート・ミュージシャンや物乞いが乗ってきたら、乗客の中にはお金をあげる人がいますか。

(3) あなたは、見知らぬ人でも車内で目が合えばにっこりしたり、ちょっと話しかけたりしますか。

しぐさの人間学

野村　雅一

電車内はひたすら無関心

多くの日本人が毎日かなりの時間を電車ですごす。たいていは短ければ短いほどいいような空白の時間。

そんなとき、学生風の若い女性が乗ってくる。座席にすわると、仮面をつけ、赤い帽子をかぶり、名札を胸にとめて、ひざの上のプラスティックのカバンからおもむろに紙をとりだし、なにやらスケッチしはじめたとしたらどうだろう。

じつはこれが、今春、山口明香さんが京都市立芸術大に提出した卒業制作のビデオアートの主題である。

かの女がそんな格好をしてすわって、筒状のオブジェを描きはじめても、隣席の乗客は横目でちらりとみるだけで、ぴくりともうごかない。

かの女は自分の車中のそのような情景を友人にビデオにおさめてもらう。画用紙を何枚もセロハン・テープでつないでオブジェを長くしていく。紙は床にたれていく。それでもビデオにうつった隣の席では、男女がまるで素知らぬ顔で乗降する。ビデオカメラにとられているのがわかってか、新聞をひろげて読みふける（ふりをする）人もいる。

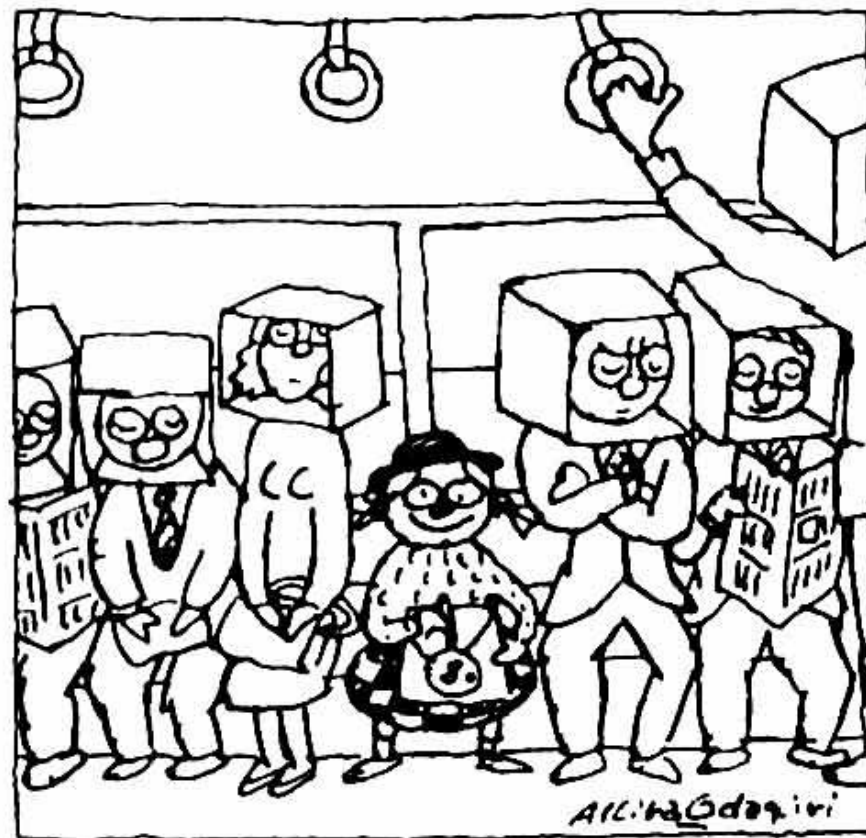
そのうちかの女は紙をふたたびカバンにしまいこんで、かわりに一葉のセルフポートレートをとりだし、サインして座席にのこして降りていく。隣の男性はしばらく間をおいてから、そのカードを遠目にみるようにみつめている。しかし、手にとろうとはしない。

どうみても奇妙におもえる女性にからだを接するほど近くすわりながら、カバンをひざの上にかかえて居眠りしている男性もいる。

これはいかにも現代日本的な光景ではあるまいか。

ヨーロッパの、たとえばパリやローマやブダペストの地下鉄には、ストリート・ミュージシャンや物乞（ご）いが乗ってくる。と、ほかの乗客が金をやったりして反応するやりとりが生じる。しかし、日本の電車ではみんなたがいにおよそ無反応なのだ。

絵・小田桐　昭

山口明香さ

Ⅰ．次の言葉はどう読みますか。

(1) 著書　a. ちょうしょ　b. しゃしょ　c. ちょしょ
(2) 人権　a. にんけん　b. じんけん　c. にんけん
(3) 落胆　a. らくだん　b. らくたん　c. らったん
(4) 摘発　a. てきはつ　b. てっぱつ　c. てきばつ
(5) 触れる　a. ゆれる　b. さわれる　c. ふれる

Ⅱ．①～③の中から適当なものを選んで______の上に番号を入れなさい。

(1) 筆者は人権問題で知られる田中教授の講義を受講できるのが楽しみだった。______、授業の初日、教室に入って驚いた。
　① ちょうど　② ところが　③ ついでに

(2) 日本のマスコミは、マジョリティー（多数派）の関心に______情報を流し勝ちだ。
　① 向かって　② 対して　③ 合わせて

Ⅲ．本文の内容と同じものに○、違うものに×をつけなさい。

(1) 田中教授は日本外交史の研究で知られている。(　　)
(2) 筆者は講義に出るまで、田中教授の著書を読んだことがなかった。(　　)
(3) 外国人の人権に関する講義には学生が集まらない。(　　)
(4) 男女同権をテーマとした人権論の講義には学生が集まる。(　　)
(5) 筆者は、日本国内の外国人に関するマスコミ報道がかたよっているとは思っていない。(　　)
(6) 外国人の不法就労者の存在は、日本社会の閉鎖性と関連がある。(　　)
(7) 一般の日本人は、在日外国人の人権問題に関心が高い。(　　)
(8) 日本では、外国人は「英語の練習台」としか見られないことが多い。(　　)
(9) 筆者は、日本人が日本国内の外国人の置かれた状況に関心をもってほしいと思っている。(　　)

外国人の人権にも関心を

LOOK にっぽん

私の通う大学で、四月から外国人の人権研究で知られる田中宏教授の講義が始まった。先生の著書は読んだことがあるので、受講できるのが楽しみだった。ところが、授業の初日、教室に入って驚いた。百人は入れる教室に集まった学生はわずか数人で、たくさんのレジュメを用意してきた先生は落胆した様子だった。

最近、人権について盛んに論じられているが、人権を扱った大学の授業はなぜ人気がないのか。大学で男女同権をテーマとした別の人権論を担当する先生に聞くと、こちらは教室がいっぱいになるほど学生が集まるという。

確かに、日本ではこのところ、女性の人権について話題になることが多い。私の大学でも、新入生に配られる書類一式の中に「セクハラは犯罪だ」などと書かれた冊子が入っているほどだ。

しかし、これとは対照的に、外国人の人権について語られることは少ないように思う。私はマスコミ報道の影響もあると考えている。日本のマスコミは、マジョリティー（多数派）の関心に合わせて情報を流し勝ちで、時には日本在住の外国人を悪者扱いする傾向もあるように思う。

マスコミが報道する外国人は、日本語がわからず、日本人と考え方が違うといった点ばかりが強調され、不法就労の摘発対象などとして登場することが多い。外国人が、日本人の嫌がる仕事を支えていることや、不法就労者を生んでしまう日本側の閉鎖性などに触れた切り口はあまり見られない。

このため、一般の日本人は国内の外国人に対する認識が低いように思える。新入生を見ていると、外国人を「英語の練習台」程度に見ている人も多く、外国人の人権問題にはほとんど関心がないようだ。

日本にやってくる外国人の何倍もの日本人が外国に出かけている。今後、日本と外国の交流は深まっていくだろうが、中身のある双方向の交流にしていくためには、まず日本国内にいる外国人が置かれた状況を正しく理解することが必要ではないか。意識の変革を求めたい。

（龍谷大大学院留学生　J・A・T・D・にしゃんた　スリランカ）

2000年4月22日　読売新聞

働く女性には悩みが多そう

留学生　オイ　ションゴウ（東京都大田区　28歳）

来日して三年がたった私は、友達の紹介で東京のある会社でマレーシア語を教えている。生徒は全員が女性で、週一回夜二時間の授業です。三カ月を経て、同じ女性として日本の働く女性の現状が分かってきた。

彼女らは、たまに夜十時か十一時まで残業せざるを得なくて授業に出られなくなること、週末は一日中寝たりすること、仕事を続けたいために出産を延期していることなど、苦情は山ほどだ。それでも、彼女らはとても自信を持って生活し、学習意欲も盛んだ。

日本女性の働く姿を見ると、戦後五十五年のうちに女性の生きがいが非常に変化してきていることを感じる。しかしながら、制度はその変化に対応していないように思われる。現在、一部の日本企業で性による分業の意識が希薄になってきて、総合職の女性もかなり増加している。

それでも、高学歴女性に対する採用・昇進がいまだに出産・育児で左右されている事実は、国にとって人材資源を無駄にしていることにほかならないのではないか。だからこそ、日本は少子高齢化の問題に直面しているのだろう。

仕事や生産は元来、人間のより良い生活のために行われてきたものである。だから、日本の長時間労働には問題がある。長時間労働では、だれもが仕事人間になってしまう。また、時代にふさわしくない慣習、例えば、社員が有給休暇を取りにくいことや、育児休暇を取った女性社員が将来の昇進で不利になることなどは理不尽なことである。

自立を求める日本女性の直面する葛藤（かっとう）や社会的制約を改めて考えさせられた。

2000年3月31日付　朝日新聞

Ⅰ．本文の内容と同じものに○、違うものに×をつけなさい。

(1) 筆者は東京のある会社で、フランス語を教えている。（　　）
(2) 筆者が教える女性たちは、忙しすぎて学習意欲がない。（　　）
(3) 日本の社会は、女性の意識の変化に制度が対応していないようだ。（　　）
(4) 一部の企業では、性による分業の意識が希薄になった。（　　）
(5) 日本の企業では、総合職につく女性がいない。（　　）
(6) 出産や育児によって、女性の昇進が左右されることはない。（　　）
(7) 仕事人間と長時間労働は、切っても切れない関係にある。（　　）

Ⅱ．オイ　ションゴウさんが同じ働く女性として日本女性に同情するのはどんな点ですか。

男子高校生が「なりたい職種」として挙げた職業。リクルート社が全国の高校2年生約1000人を対象に実施した「高校生進路総研REPORT」の結果。集計数は約300人。国家公務員に続き地方公務員10%▽ゲームクリエーター9%▽プログラマー8%など。女子は1位がフライトアテンダントで9%、心理カウンセラー9%▽医師8%、看護婦8%など。

なりたい理由は、国家公務員、地方公務員が「安定している」「リストラされない」。女子のフライトアテンダントは「あこがれている」「うらやましがられる」など。医師や心理カウンセラーは「人の役に立てるから」と社会に貢献したい気持ちもうかがえる。

一方、「特になりたくない職種」は、男女ともに1位が政治家、2位が営業。理由は「お金のことしか考えていない」「悪いことばかりしていそう」（政治家）、「やりがいもなくキツそう」「ノルマがあり人に頭を下げてばかり」（営業）というイメージが挙げられた。

2000年4月15日付　毎日新聞

I．正しいものを一つ選びなさい。

(1) 男子高校生が公務員になりたいと考える理由は何ですか。

a. やりがいがなくてもラクそうだから。
b. リストラがなく安定しているから。
c. あこがれているから。

(2) 特になりたくない職種の1位が政治家だった理由は何ですか。

a. キツそうだから。
b. お金のことしか考えていないから。
c. 人に頭を下げなければならないから。

(3) 医師や心理カウンセラーになりたいと思う理由は何ですか。

a. うらやましがられるから。
b. 給料が高いから。
c. 人の役に立てるから。

連休明けて……

“痛勤”再び　お疲れ様

ゴールデンウイーク明けの八日、JR東京駅では朝のラッシュ風景が戻り、都心のオフィス街では、あくびをかみ殺しながら通勤を急ぐサラリーマンの姿もあった。首都圏ではこの日朝、ターミナル駅の周辺にも雑踏が戻ったが、二十度を超える初夏並みの陽気に、上着を手に出勤する光景も。

一方、東京・西新宿の高層ビル街でも、会社員やOLたちが、連休中の家族サービスやレジャーの疲れからか、目をこすったり、交差点で背伸びをしたりして足早に会社へ向かっていた。

GWの人出　6千800万人

ゴールデンウイーク期間中（先月二十九日―今月七日）の全国の主な行楽地への人出は約六千八百十万人で、期間が二日間短かった昨年より約千四百三十万人多かったことが八日、警察庁のまとめで分かった。

行楽地別では、福岡の「博多どんたく港まつり」が最も多く、二百二十万人余で五年連続でトップ。次いで広島の「ひろしまフラワーフェスティバル」百四十一万人、青森の「弘前さくらまつり」百三十六万人、横浜の「みなとみらい地区」百十二万人――などとなっている。

2000年5月8日付　読売新聞

Ⅰ．次の言葉はどう読みますか。

	a	b	c
(1) 戻る	a. かえる	b. まわる	c. もどる
(2) 雑踏	a. ざとう	b. ざっと	c. ざっとう
(3) 足早に	a. そくばやに	b. あしばやに	c. あしはやに
(4) 行楽地	a. ぎょうらくち	b. こうらくち	c. ごうらくじ

Ⅱ．人出の多かった順に番号を入れなさい。

(1) 「弘前（ひろさき）さくらまつり」（　　）

(2) 「ひろしまフラワーフェスティバル」（　　）

(3) 「みなとみらい地区」（　　）

(4) 「博多（はかた）どんたく港まつり」（　　）

I．次の言葉はどう読みますか。

(1) 浮沈　a．ふじん　b．ふうちん　c．ふちん
(2) 打開　a．だかい　b．たかい　c．だっかい
(3) 頼る　a．すがる　b．たよる　c．よる
(4) 達成　a．たせい　b．たっせい　c．たっせ

II．①～③の中から適当なものを選んで＿＿の上に番号を入れなさい。

(1) アジアは1997年に通貨危機に＿＿＿、急激な経済悪化に直面した。
①見込まれ　②見舞われ　③見切られ

(2) 99年になると、香港を＿＿＿NIES諸国・地域は経済の回復が鮮明になった。
①除く　②取る　③含む

(3) 通貨危機といっても、アジア諸国にとってはいつか来た道に＿＿＿という考えのようだ。
①足りない　②及ばない　③過ぎない

(4) アジアの企業経営者は身を＿＿＿ながら嵐のときを過ごし、次の飛躍のチャンスを待つしたたかさを併せ持つ。
①のばし　②かくし　③すくめ

III．記事の内容と同じものに○、違うものに×をつけなさい。

(1) アジア経済は、筆者の予想に反して景気回復が早い。（　）
(2) アジアが経験した経済危機は、今回が初めてではない。（　）
(3) 通貨危機をもたらした根本的原因は、すべて解決された。（　）
(4) アジア経済は今後、10%以上の経済成長を達成するだろう。（　）
(5) 日本の経済回復には企業経営者の方向転換が必要だ。（　）

十字路

アジアの景気回復

アジアは一九九七年に通貨危機に見舞われ、急激な経済悪化に直面した。被害の軽い国で三年、影響が深刻な国で七年ほど時間がかかると判断した。しかし、三年もたたないうちにアジア全域で景気回復が進んでいる。自らの不明を恥じるとともに、回復の原動力を考える必要があろう。

香港を除く新興工業経済群（NIES）諸国・地域は九九年初から回復が鮮明になった。東南アジア諸国連合（ASEAN）でもタイ、マレーシアはほぼ同じころに立ち上がり始めている。インドネシアも夏ごろ上向きに転じ、香港も秋に入ると力強い回復を示し始めた。そのためか現地企業の経営者の意識は意気軒高にある。通貨危機といえども、浮沈を繰り返してきたアジア諸国にとっていつか来た道に過ぎないという考えのようである。いや、大変だと嘆息するより、打開策をまず打つという意識が先行している。

また、通貨危機を打開するうえで、宮沢構想など日本からの金融支援と日系企業の輸出拡大による早期立ち直りが力強い援護になったともいう。政府など他を頼らない企業の自助努力がアジアの危機打開を達成したと考えられる。もっとも、通貨危機をもたらした根本的な原因がすべて解決したわけでもない。本来の姿に戻るにはまだ時間が必要である。いや、これを契機により望ましい姿に変えるべき努力が重ねられよう。

今後のアジア経済を考えると、かつてのような一〇%を超える高度成長は難しいとしても、六、七%の経済成長は達成することができよう。アジアの企業経営者は身をすくめながら嵐（あらし）のときを過ごし、次の飛躍のチャンスを待つしたたかさを併せ持つ。我が国はこの十年そうしたしたたかさを失い、活力をなくした様な気がする。二〇〇〇年に入り、ようやく新たな動きが始まった。企業の経営者が方向転換したとき、我が国経済も力強い回復を示すこととなろう。

（東海総合研究所顧問　高木　夏樹）

2000年6月9日付　日本経済新聞

I．次の下線のところの意味に相当するものを選びなさい。

(1) 今回の会談は、平和条約について実質的な交渉をする場ではなかった。
 a．相互のつっこんだ話し合い
 b．ロシア側の意見聴取

(2) 会談が信頼関係を築いただけで終わったとしたら、成果は不十分だ。
 a．交渉の結果は満足できるものではない。
 b．交渉は成功したと言える。

(3) 当初、プーチン氏は次の訪日の時期について明言を避けた。
 a．はっきり示さなかった。
 b．日本側にまかせた。

(4) プーチン氏は、対日交渉で少々腰が引けているのではないか。
 a．リーダーシップをとろうとしている。
 b．消極的な態度をとっている。

(5) 98年11月にエリツィン大統領は、領土問題の解決を棚上げした上での条約の締結を提案した
 a．中止する。
 b．あとにのばす

(6) 日ロ両国は、幅広い関係が必要であることは言をまたない。
 a．言うまでもない。
 b．断言できない。

(7) 日ロ関係は領土問題が全てではないが、日本側は今後も要求の正当性を真正面から訴え、交渉していくべきだ
 a．正正堂堂と
 b．世論をテコに

社説

日ロ平和条約交渉に新たな息吹を

サンクトペテルブルクで森喜朗首相とウラジミル・プーチン次期大統領が会談、足踏みを続けていた日ロ平和条約交渉を再始動させることを決めた。五月七日に大統領に正式就任するプーチン氏はざん新で強力な指導者になると期待され、実際にそのように行動してきた。対日交渉でも強い指導力を発揮し、交渉に新たな息吹を吹き込むよう期待する。

今回の会談はもともと平和条約について実質的な交渉をする場ではなかったが、最低必要なことは確認しなければならなかった。

森首相、プーチン次期大統領は、両国首脳がこれまで重ねてきた合意を確認したが、それは何も目新しいものではない。イワノフ外相が今年二月に訪日した際、そのことを言明している。そうは言っても、この時期に両首脳が領土問題を解決して二〇〇〇年中に平和条約を結ぶため全力を尽くすと認め合ったことには、それなりの意味はある。

「ヨシ」「ワロージャ」と愛称で呼び合うとの合意も個人的な信頼関係を築くことに寄与するだろう。

だが、会談がそうしたことだけで終わったとしていたら、成果は不十分だった。年内の平和条約締結に全力を尽くすというのであれば、次の日ロ首脳会談の時期を決めることは至極当然のことである。

プーチン次期大統領は会談では当初、訪日時期の明言を避けた。しかし森首相の粘り強い働きかけで二十九日夜（現地時間）になってようやく八月末の訪日を受け入れた。プーチン次期大統領は対日交渉で少々腰が引けているのではないか。

二〇〇〇年とは今年である。時間はあまりない。八月末の本格的な首脳会談でまず問題となるのは、ロシア側からの提案への回答である。九八年四月に橋本首相が川奈で国境画定を柱とする条約案を提示、これに対し九八年十一月にエリツィン大統領が領土問題の解決を棚上げした上での中間条約の性格を持つ条約の締結を提案したとされている。日本側はこれにまだ回答していない。

だが、このロシア側の提案は領土問題を解決して平和条約を結ぶとの両国間の合意を事実上修正するものであり、受け入れられない。

日ロ関係は領土問題がすべてではない。幅広い関係が必要であることは言をまたない。しかし、領土問題については、日本側は今後とも要求の正当性を真正面から訴え、粛々と交渉していくべきである。

2000年5月1日付　日本経済新聞

Ⅰ．次の言葉はどう読みますか。

		a	b	c
(1)	本番	a. ほんばん	b. もとばん	c. ほんぱん
(2)	先輩	a. せんぱい	b. せんばい	c. せんはい
(3)	親元	a. しんげん	b. せんもと	c. おやもと
(4)	貧富格差	a. ひんふかくさ	b. ひんぷかくさ	c. ひんぷうかくさ
(5)	横柄	a. よこがら	b. おうへい	c. よこえ

Ⅱ．次の下線のところの意味に相当するものを選びなさい。

(1) いかにアメリカと日本の文化が違うかは口酸っぱくいわれてきた。
a. 批判的に
b. 繰り返し

(2) 米国では日本お得意の一夜漬けは嫌いなようだ。
a. 本番直前にしっかり練習すること。
b. 本番まで時間をかけて丁寧に練習すること。

(3) 米国の教育ではいかに子供たちを早く自立させるかが眼目のようだ。
a. 困っている問題
b. 大切な目標

Ⅲ．演説、演奏、スポーツ競技などで「本番」に強くなるために、あなたが必要だと思うのはどれですか。

(1)「本番」が最大の楽しみだと思うこと。
(2) できるだけたくさん練習をしておくこと。
(3) たくましい精神力を持つこと。
(4) 鎮静剤のようなものを飲むこと。
(5) ごく自然で身構えないこと。
(6) 本番まで緊張していること。
(7) ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

「本番」に強いアメリカ人

大軒　護

言葉だけでなく文化、風習など、いかにアメリカと日本が違うかは口酸っぱくいわれてきた。しかし、ここで取り上げるのは、もっと具体的な日米の違い、「本番」に対する違いである。実戦向きかどうか、と言い換えてもいいだろう。

ことし五月二十七日付本紙夕刊「世界の街」で、私が団員として参加しているマクリーン交響楽団を取り上げ、「日本では練習をいかにしっかりやるかが大事で、その成果が本番に出るというのが一般的。こちら米国では本番が最大の楽しみ。何事にも本番に強いといわれるのは案外、こんなところにあるかも」と書いた。これについて、ワシントン勤務が長かった先輩記者から「全くその通り。私もなぜ日本がこれほど本番に弱くてアメリカが強いのか考え続けてきた。もっと詳しく知りたい」との注文をいただいた。

日米のアマチュア・オーケストラの違いの典型は、本番直前の取り組みだろう。日本では本番直前のリハーサルを最低二時間はみっちりやる。米国では本番並みの練習は前日まで。当日は二、三十分間の音慣らしだけ。当然ながら本番でハプニングも多いが、「練習でくたくたに疲れるのはまっぴらごめん」という風情だ。日本お得意の〝一夜漬け〟は嫌いなようである。ごく自然で身構えない演奏会の数も多い。

大統領選のエネルギーのすごさにはあらためて驚いている。ゴア・民主党、ブッシュ・共和党らの候補が名乗りを上げてから本番の十一月七日までのレースは、一年以上の長期戦。その間、候補者の全人格が〝まな板〟に載せられ、私生活もすべてさらされる。ブッシュ候補がアジアのリーダーの名前を答えられなくて〝失点〟したのも、この一つだ。

米国の教育も日本と随分違う。わが家の二人の娘は前回の勤務のとき、こちらの中、高校に通ったが、中学から科目は自分で選択し、いきなり大学に入ったような感じ。大学に入ると親元を離れるのが通例。いかに子供たちを早く「自立」させるかが眼目のようだ。

半面、落ちこぼれに伴う学力低下、離婚率の高さなど家庭内問題、貧富格差の拡大、それに銃犯罪など「病めるアメリカ」が深刻なのは否定できない。

それにしても日本から伝わる相次ぐ少年犯罪はひどい。その背景には、いじめがあることが多く、加害者は強者でなく弱者のようにみえる。「窮鼠（きゅうそ）、猫をかむ」たぐいだ。

アメリカでよく聞かれるのは、「あなたの信仰は何か」。宗教と縁のない生活をしているので返答に窮するが、言い換えれば「精神的なよりどころは何か」という問いかけだろう。

道徳教育を持ち出すつもりは全くない。しかし、日本に一番欠けているのは何事にも負けない強靭（きょうじん）な精神力、物おじしないたくましさではなかろうか。ときに横柄にみえるアメリカ社会は、日ごろから「本番」で鍛えられているような気がする。

（アメリカ総局）

2000年7月10日付　東京新聞

けいざい 潮流

高感度なリーダーを

これまでわが国の経済を引っ張ってきたリーダーは、目的達成意欲の高い、管理型人間だという。「なぜ会社は変われないのか」の著者、柴田昌治氏の意見だ。そういえば社長や管理職にはこのタイプが多い。

実績があるだけに自信たっぷりで、人の話にあまり耳を貸さない。管理・統制にウエートを置く自分のこれまでのやり方が一番だと思っているし、確かにそれでうまくやってきたのだ。

しかし、これからはそうはいかない。経済のグローバル化、情報革命が著しく進むと予想される時代だ。こういう組織を一人で担う強腕型のリーダーは、むしろ警戒しなければならないのだ。

やり手といわれる人ほど一般的に変化への弾力性が乏しい。

本人は柔軟なつもりでいるが、たいてい口ほどではない。はっきり言って、組織の風土改革の障害になりやすい存在といっていい。

今後の人材登用には、発想の転換が必要だ。柴田氏が推奨するリーダーのタイプは、柔軟に頭が切り替わり、フットワークよく自在に行動できる高感度人間だ。

感性が豊かで、小さな変化にも気付き、アイデアに富み、人の心が分かる。権威やこだわりを持たない実現型とでもいうべきタイプ。

そういう資質を備えた人材を多く確保した組織が、二十一世紀には生き延びるということだろう。

（顯）

2000年4月20日付　東京新聞

Ⅰ．①～③の中から適当なものを選んで＿＿＿の上に番号を入れなさい。

(1) 管理型リーダーは実績があるだけに自信たっぷりで、人の話にあまり＿＿＿を貸さない。

① 目　　② 耳　　③ 顔

(2) これからは経済のグローバル化、情報革命が進むと＿＿＿される。

① 予報　　② 予想　　③ 予知

(3) 強腕型リーダーは、組織の風土改革の＿＿＿になりやすい存在だ。

① 理想　　② 障害　　③ 権威

Ⅱ．これまでのリーダーの型にA、これからのリーダーの型にBを入れなさい。

(1) 感性が豊かで小さな変化にも気付き、アイデアに富んだ人。(　　)
(2) 目的達成意欲が高い管理型。(　　)
(3) 柔軟に頭が切り替わり、フットワークよく自在に行動できる人。(　　)
(4) 人の心がわかり、権威やこだわりをもたない実現型。(　　)
(5) 管理、統制にウエートを置くリーダー。(　　)
(6) 実績も自信もあって、自分のやり方が一番だと思うタイプ。(　　)
(7) 組織を一人で担おうとする強腕タイプ。(　　)

けいざい
潮流
企業の文化は変わる

リストラで早期に退職していく中高年を大学生、高校生たちも見ている。終身雇用を前提に企業に忠誠を誓っても生涯の採算は合わない。こう結論している。

でも就職に際しては従来通り大企業を志望する学生が多い。これを見て結局、学生は変わらないと判断すると間違う。

大企業にくるのは終身雇用を目指してではない。大企業ほど海外ビジネススクールへの留学など研修制度が整っていて、将来の転職オプションが広がると考えているからだ。

大企業の側は、まだ昔ながらの終身雇用を完全には捨て切れていない。幹部候補生は内部で育成すると考えている。

となれば、国際化がさらに進展する下で、海外留学などの研修制度を捨て去ることはできない。すると、海外留学から帰国後、もし外資系などに転職する人間が出てきたら、留学費用の返還訴訟でも起こすことになるのか。

従来でも転職するケースは見られたが、ごく少数であった。しかし、これからは多数になろう。若手社員から見て生涯安泰と判断できる企業の数は大幅に減っている。

ここで、企業経営者は幹部も中途採用で調達するか、あるいは幹部は内部昇進とし、海外留学など市場で評価される資格は奨励しないかの決断を迫られる。

前者以外に選択肢はないであろう。であれば、日本企業の文化は変わらざるを得ない。

（未来）

2000年5月2日付　東京新聞

Ⅰ. 正しいものを一つ選びなさい。

(1) 学生たちは就職に際してどのように考えるようになりましたか。

a. 大企業に就職すれば、終身雇用で安定した人生がおくれる。
b. 終身雇用を前提に企業に忠誠を誓っても、生涯の採算は合わない。
c. 国際化が進む下では、はじめから外資系に就職したほうがよい。

(2) 今後どのような社員が増えると予想されますか。

a. 留学経験などを生かして、有利に転職できる社員。
b. 海外研修等の後で、その国に定住してしまう社員。
c. 終身雇用を目指す社員。

(3) 日本企業の考え方は今後どう変わるべきですか。

a. 幹部も中途採用で調達する。
b. 幹部は内部昇進だけにする。
c. 海外留学を奨励しない。

金属行人

最近、産業界ではISO14001の認証取得に動く企業が増えている。環境保全への意識が高まっているのは良いことだが、一方で問題も出ている▼ある特殊鋼問屋で聞いた話。メーカーから入荷した段ボール箱入りの精密鋳造品をそのまま納入すると、製品を需要家が用意したパレットに詰め替えさせられたうえで、空箱は持ち帰らされていると言う。需要家が産業廃棄物を削減するための身勝手なやり方でISOの精神にもそぐわないと思えるが「詰め替えのための人件費、空箱の処理費用は全てこちら持ちではたまったものではない」とぼやく▼同様の問題は商品の疵防止のための梱包が要求されるコイルセンター、ステンレス、非鉄金属などの業界でも起き始めていると言われる。これらの業界ではメーカーから出荷されてくる製品の梱包材は、切板などの加工品を出荷する際の梱包材として再利用するなどできるだけ廃棄物化させない工夫はしている。しかし、納入先から梱包材を引き取らされるようになると、その処理のための負担はますます大きくなる。厳しい販売競争の中で需要家との力関係からそうした要求を簡単には断れないのが実情で、即コストアップにつながる由々しき問題だ▼こうした情勢に対応して、ある大手コイルセンターでは独自の専用パレットを開発している。また、全日本特殊鋼流通協会が開発した共通通い箱も有効なツールになりそうだ。梱包材の引き取りを慣習化させないようにする個々の企業努力と同時に、業界全体の課題として梱包材を少なくする方策を研究することも必要ではないか。

2000年6月2日付　日刊鉄鋼新聞

1．①～③の中から適当なものを選んで＿＿＿の上に番号を入れなさい。

(1) 産業界ではISO14001の認証取得に＿＿＿企業が増えている。
①動く　　②行く　　③対する

(2) ダンボール箱入りの製品を納入すると、需要家の用意したパレットに＿＿＿られた上で、空き箱を持ち帰らされたケースもある。
①取り替えさせ　　②詰め替えさせ　　③作り変えさせ

(3) ある業界では出荷されてくる製品の梱包材は＿＿＿するなど、できるだけ廃棄物化させない工夫をしている。
①再生産　　②再開発　　③再利用

(4) 梱包材の＿＿＿を慣習化させないように、個々の企業も業界全体も努力することが必要だ。
①引き落し　　②引き返し　　③引き取り

※ＩＳＯ14001：ISO14001 environmental-standards code

付：戦後の主な出来事—日本を中心として
提出文型及び副詞・接続表現、慣用句一覧表
理解確認練習解答

戦後の主な出来事 ―― 日本を中心として

1945	8. 6	広島に原爆投下	昭和20
	8. 9	長崎に原爆投下	
	8.15	日本降伏、第二次世界大戦終わる。	
		・東欧に社会主義国家成立	
1946	11. 3	日本国憲法公布	21
1947	5. 3	日本国憲法施行	22
1948	8.15	大韓民国成立	
	9. 2	朝鮮民主主義人民共和国成立	
1949	10. 1	中華人民共和国成立	24
1950	6.25	朝鮮戦争勃発（53年7月休戦協定調印）	25
1951	9. 4	サンフランシスコ講和会議	26
		対日平和条約調印（48カ国）	
	9. 8	日米安全保障条約調印	
1952	4.28	対日講和条約と日米安全保障条約が発効。日本は独立を達成。	27
			30
1956	12.18	国連総会が日本の国連加盟を可決	31
1957	10. 4	ソ連人工衛星打ち上げ（宇宙時代の幕開け）	32
1960	1.19	新日米安保条約調印	35
1962	10.22	キューバ危機	37
1963	11.22	米ケネディ大統領暗殺	38
1964	10. 1	東海道新幹線開業、東京－新大阪が4時間。（65年11月から3時間10分に）	39
	10.10	第18回オリンピック大会東京で開催	
1965	7. 1	名神高速道路全線開通	40
		・対米貿易が初めて黒字になる	
1966	8. 1	中国、プロレタリア文化大革命についての決定を採択。	41
1968	5. 8	富山県神通川流域のイタイイタイ病を公害病と認定	43
1969	5.26	東名高速道路全線開通（346.7 km）	44

1969	7. 16	アポロ11号宇宙船（米）打ち上げ。20日、人類が初めて月に立つ。	44
1970	3. 14 ～9. 13	大阪で日本万国博覧会（77カ国参加。6,421万8,770人入場。）	45
	3. 31	よど号ハイジャック事件	
	11. 25	三島由紀夫割腹自殺	
1971	8. 15	ニクソン米大統領、金ドルの交換一時停止・ドル防衛策発表（ニクソン・ショック　1ドル＝308円）	46
	10. 10	NHK総合テレビが全カラー化	
1972	5. 15	沖縄の施政権返還。沖縄県発足。	47
	6. 17	ウォーターゲート事件	
	7. 7	第1次田中角栄内閣成立	
1973	1. 28	ベトナム戦争停戦発効	48
	7. 9	水俣病補償交渉で合意成立	
	10. 23	第1次石油危機始まる	
1975	4. 30	南ベトナム政権無条件降伏。ベトナム戦争終結。	50
	11. 15	第1回主要先進国首脳会議（サミット）開催	
1976	4. 25	ベトナム社会主義共和国成立	
	7. 27	ロッキード事件で田中前首相逮捕	51
	9. 9	毛沢東中国共産党主席（82歳）死去	
1978	5. 20	新東京国際空港（成田）が開港	53
	8. 12	日中平和友好条約調印。23日条約発効。	
1979	1. 17	第2次オイルショック	54
	12. －	国連で「女子差別撤廃条約」採択。日本批准は85年。	
1980	9. 9	イラン・イラク戦争勃発	55
		・ソ連でゴルバチョフによるペレストロイカ・グラスノスチ（政治・経済・社会の再構築）	
1984	4. 7	日米農産物交渉が決着。協定4年、日本が牛肉・オレンジ輸入を増やす。	59
1985	3. 17	「科学万博・つくば'85」開幕	60
	8. 12	日航ボーイング747ジャンボ機、群馬県御巣鷹山に墜落。520人死亡、4人生還。	
	9. 22	米・英・西独・仏・日の5カ国蔵相・中央銀行総裁会議（G5）でプラザ合意。ドル高時代から円高時代へ。	

1986	4. 26	ソ連のチェルノブイリ原子力発電所で大規模な事故	61
	8. 20	東京外国為替市場で円が急騰、一時1ドル＝152円55銭の戦後最高を記録。	
	9. 20	ウルグアイで開いた関税貿易一般協定(ガット)閣僚会議が新ラウンドの開始宣言を採択（ウルグアイラウンド）	
1987	4. 1	JR民営化	62
	10. 19	ニューヨーク株式市場で大暴落。下落率22.6%で1929年の大恐慌を上回る。東京株式市場も大暴落。過去最大。	
1988	6. 18	リクルート事件	
	6. 20	日米農産物交渉妥結。牛肉・オレンジの輸入自由化が決まる。	63
1989	1. 7	昭和天皇死去。87歳。	64/
	4. 1	消費税実施（税率3％）	平成1
	6. 3	天安門事件	
	11. 9	ベルリンの壁崩壊 ・東欧革命	
1991	1. 17	湾岸戦争勃発	3
	12. 26	ソ連、消滅を宣言。（ソ連の解体）	
1992	6. 5	PKO法案成立	4
	8. 18	東証平均株価終値、1万4309円41銭に。バブル景気の終焉。	
1993	1. 1	EC統合市場が発足。世界最大の単一市場。	5
	12. 15	GATTのウルグアイ・ラウンドが最終協定案を採択	
1994	9. 4	関西国際空港開港	6
1995	1. 17	阪神大震災（M.7.2）	7
	3. 20	地下鉄サリン事件	
1996	4. 12	沖縄・普天間飛行場の返還で日米が合意	8
	8. 29	薬害エイズ事件で、前帝京大副学長、ミドリ十字前社長を逮捕。	
	10. 20	小選挙区比例代表並立制による初選挙	
1997	2. 23	英国で、クローン羊「ドリー」誕生。	9
	4. 1	消費税の税率を3％から5％に引き上げ	

	5. 1	英国労働党トニー・ブレア党首首相に就任	9
	6. 11	改正男女雇用機会均等法成立	
	7. -	タイ通貨が暴落、アジア金融危機始まる。	
	7. 1	香港、イギリスから中国に返還。	
	11. 17	北海道拓殖銀行、都銀初の経営破綻。	
	11. 24	山一證券自主廃業	
1998	5. 11	インドが24年より2度目の地下核実験	10
	5. 28	パキスタンが初の核実験	
	8. 31	北朝鮮が弾道ミサイル「テポドン」を発射	
1999	1. 1	EU（欧州連合）の単一通貨ユーロが仏独など11カ国に導入	
	4. 1	米包括通商法スーパー301条、大統領令により復活。	
	8. 9	国旗・国歌法成立	
	9. 30	茨城県東海村の民間ウラン加工施設JOCで国内初の臨界事故	
	10. 12	世界人口が60億を突破	
	11. 27	円急騰。1ドル＝101円台。	
	12. 20	マカオ、ポルトガルから中国に返還。	
2000	4. 4	日朝国交正常化交渉が8年ぶりに再開	12
		小渕内閣総辞職	
		介護保険制度スタート	
	4. 5	森連立（自民党、公明党、保守党）政権発足	
	5. 7	プーチン大統領就任	
	7. 21	九州・沖縄サミット	
	9. 15	第27回オリンピック大会シドニーで開催	

提出文型及び副詞・接続表現、慣用句一覧表

提出文型及び副詞・接続表現

な

に

に

ね

慣用句

理解確認練習解答

"1億総送り手時代"に（P.122）

Ⅰ.（1）携帯電話　普及率　実用の道具
遊びの道具　Eメール　過半数　双璧
（2）送り手　受け手　日本語　書き言葉
話し言葉

日本の言語に今必要なこと（P.124）

Ⅰ.（1）○（2）○（3）×（4）×（5）×（6）○（7）○
（8）○（9）○（10）×

大使らが写したにっぽん（P.126）

Ⅰ.（1）③（2）②（3）①（4）②（5）①

乗客フレンドリー（P.128）

Ⅰ.（1）b（2）c（3）a（4）c（5）b
Ⅱ.（1）A（2）B（3）B（4）B（5）A
Ⅲ.（1）b（2）c

零下20度（P.130）

Ⅰ.（1）a（2）a（3）c（4）c（5）b
Ⅱ.（1）①（2）②（3）③（4）①
Ⅲ.（1）×（2）×（3）○（4）○（5）○（6）×

賢い顔（P.132）

Ⅰ.（1）c（2）c（3）b（4）a（5）b
Ⅱ.（1）②（2）②（3）③
Ⅲ.（1）×（2）○（3）○（4）×（5）○（6）×（7）×
（8）○

日本の占領と米国（P.134）

Ⅰ.（1）b（2）c（3）a（4）b（5）b
Ⅱ.（1）①（2）③（3）②（4）②（5）②（6）③

自然治癒力（P.136）

Ⅰ.（1）a（2）c（3）b（4）c（5）a
Ⅱ.　③　②　⑤
Ⅲ.（1）×（2）○（3）○（4）×（5）○（6）×

海外旅行で何を学ぶか（P.138）

Ⅰ.（1）c（2）b（3）b
Ⅱ.（1）b（2）c（3）b

遺伝子組み換え作物の流通凍結を訴える（P.140）

Ⅰ.（1）a（2）c（3）b（4）c（5）a
Ⅱ.（1）①（2）②（3）③
Ⅲ.（1）×（2）×（3）○（4）○（5）×（6）○

「植物バイオ」に本腰を（P.142）

Ⅰ.（1）A（2）A（3）B（4）A（5）B（6）B（7）A

「ルイ17世生存伝説」に幕（P.143）

Ⅰ.（1）②（2）③（3）①（4）②

IT鎖国（P.144）

Ⅰ.（1）a（2）b（3）c（4）b（5）c
Ⅱ.（1）②（2）①（3）③
Ⅲ.（1）○（2）×（3）×（4）○（5）○（6）○（7）×

オストラキスモス（P.146）

Ⅰ.（1）b（2）b（3）c（4）a
Ⅱ.（1）③（2）②（3）②（4）①
Ⅲ.（1）×（2）○（3）×（4）○（5）○

飽食日本（P.148）

Ⅰ.（1）b（2）a（3）c（4）a（5）b
Ⅱ.（1）①（2）①（3）②（4）③
Ⅲ.（1）○（2）×（3）○（4）×（5）○（6）×

誕生したての分野　忘れ得ぬ知的興奮（P.150）

Ⅰ.（1）b（2）b（3）a
Ⅱ.（1）だけでなく　乏し　（2）異分野の人
（3）解決策　作業　新しいものを産み出す
（4）創造性　面白さ

少子高齢化への挑戦で論議を (P.152)

Ⅰ. (1) ② (2) ③ (3) ② (4) ①

童心いつまでも (P.153)

Ⅰ. (1) a (2) b (3) c (4) a (5) b

Ⅱ. (1) × (2) ○ (3) × (4) ○ (5) ○

「アカデミア・ユリコ・クロヌマ」20年 (P.154)

Ⅰ. (1) c (2) c (3) a

日中、予想上回る人的交流 (P.156)

Ⅰ. (1) c (2) b

治安良いが人間関係は・・・(P.157)

Ⅰ. (1) b (2) b

「こだわり」にこだわる (P.158)

Ⅰ. (1) B (2) A (3) A (4) B (5) A

Ⅱ. (1) ① (2) ②

南国の豆腐は固かった (P.159)

Ⅰ. (1) ③ (2) ② (3) ①

不自由を知らない子供たち (P.160)

Ⅰ. (1) b (2) b (3) a (4) c

Ⅱ. (1) b d e (2) a e (3) b d

日本人と自然国家 (P.162)

Ⅰ. (1) a (2) b (3) c

Ⅱ. (1) c (2) c (3) b

Ⅲ. ⑤ ④ ⑥ ②

電車内はひたすら無関心 (P.164)

Ⅰ. (1) A (2) A (3) B (4) A (5) B (6) B

外国人の人権にも関心を (P.166)

Ⅰ. (1) c (2) b (3) b (4) a (5) c

Ⅱ. (1) ② (2) ③

Ⅲ. (1) × (2) × (3) ○ (4) ○ (5) × (6) ○ (7) ×
(8) ○ (9) ○

働く女性には悩みが多そう (P.168)

Ⅰ. (1) × (2) × (3) ○ (4) ○ (5) × (6) × (7) ○

国家公務員13% (P.169)

Ⅰ. (1) b (2) b (3) c

自由競争怖い……でも平等主義イヤ (P.170)

Ⅰ. (1) a (2) b (3) b

Ⅱ. (1) ○ (2) ○ (3) × (4) ○ (5) × (6) ○ (7) ○

連休明けて……“痛勤”再び お疲れ様 (P.171)

Ⅰ. (1) c (2) c (3) b (4) b

Ⅱ. (1) 3 (2) 2 (3) 4 (4) 1

アジアの景気回復 (P.172)

Ⅰ. (1) c (2) a (3) b (4) b

Ⅱ. (1) ② (2) ① (3) ③ (4) ③

Ⅲ. (1) ○ (2) ○ (3) × (4) × (5) ○

日ロ平和条約交渉に新たな息吹を (P.174)

Ⅰ. (1) a (2) a (3) a (4) b (5) b (6) a (7) a

「本番」に強いアメリカ人 (P.176)

Ⅰ. (1) a (2) a (3) c (4) b (5) b

Ⅱ. (1) b (2) a (3) b

高感度なリーダーを (P.178)

Ⅰ. (1) ② (2) ② (3) ②

Ⅱ. (1) B (2) A (3) B (4) B (5) A (6) A (7) A

企業の文化は変わる (P.179)

Ⅰ. (1) b (2) a (3) a

金属行人 (P.180)

Ⅰ. (1) ① (2) ② (3) ③ (4) ③